大学番号:公立009

[平成30年度設置]

計画の区分: 大学の設置

注1



公立小松大学

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学 令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 総務課

電話番号 0761-23-6600

(夜間) 0761-23-6600

F A X 0761-48-3248

e — mail soumu@komatsu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

• 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

7. その他全般的事項

生産	システム科学部		
<生	産システム科学科>	^ °-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	3
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	15
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	17
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	29
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	31
保健	医療学部		
<看	iii	^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	35
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	39
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	49
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	50
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	51
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	67
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	70
<監	ā床工学科>	^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	74
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	78
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	88
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	89
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	90
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	104

106

国際文化交流学部

<国際文化交流学科>

1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	114
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	126
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	127
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	128
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	142
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	145

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

- (2) 大 学 名 公立小松大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921 石川県小松市土居原町10-10 〒983-8511 石川県小松市四丁町ヌ1-3

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(イシダ ヒロト)		
理 事 長	石田 寛人		
	(現職就任30年4月)		
	(ヤマモト ヒロシ)		
学 長	山本 博		
	(現職就任30年4月)		
	(キムラ シゲオ)		
学 部 長	木村 繁男		
	(現職就任30年4月)		
	(キムラ シゲオ)		
学科長等	木村 繁男		
	(現職就任30年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 <u>を追加してく</u>ださい。
 - 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科 の分野		設 置 時		備	考	
名称 (学位)		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	17用	15
生産システム科学部 生産システム科学科 学士 (工学)	工学関係	4年	80人	年次 一	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定員		備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1
			80人 —	80人 —	80人 —			
A 入学定員	(—)	(-)	(—) [—]	(—)	(—)			
志願者数	(-) (-)	(-) (-)	400 (_) (_) [_] [_]	422 (_) (_) [_] [_]	369 (_) (_) [_] [_]			
受験者数	(-) (-)	(-) (-)	305 (—) (—) [—] [—]	240 (–) (–) [–] [–]	183 (–) (–) [–] [–]	1.01倍	— 倍	
合格者数	(-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	193 (—) (113 (-) (-) [-] [-]	112 (-) (-) [-] [-]			
B 入学者数	(-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	08 (-) (-) [-] [-]	83 (—) (—) [—] [—]	80 (_) (_) [_] [_]			
入学定員超過率 B/A	_	_	1	1. 03	1			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
 - <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 <u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期		.,								
		_	_	_	_	80	_	83	_	80	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(—)	(-)	(-)	(-)	(-)		
				_		1	-	79	_	83	-		
	2 年次			[-]	[-]	[_]	[-]	[_]	[-]	[_]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						_	_	_	_	79	_		
	3年次					[_]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
						(—)	(—)	(-)	(-)	(—)	(-)		
								_	_	_	_		
	4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]		
								(-)	(-)	(-)	(-)		
						8	0	10	62	24	42		
	計	[-	-]	[-	_]	[-	_]	[-	_]	[-	-]		
		(–	-)	(–	-)	(–	-)	(–	-)	(–	-)		

- ・令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。

 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)							
対象年度			入学した年度	~.	うち留学生数								
平成28年度	一 人	一 人	平成28年度	一人	一人								
平成29年度	— 人	_ 人	平成28年度	一人	一人								
平成29年度	_ ^	_ ^	平成29年度	一人	一人								
			平成28年度	一 人	一 人								
平成30年度	80 人	1 人	平成29年度	一 人	- 人								
			平成30年度	1 人	0 人	・その他(一身上の都合)(1人)							
			平成28年度	一 人	一 人								
令和元年度	162 人	0 人	0 人	0 人	0 人	平成29年度	— 人	- 人					
								平成30年度	0 人	0 人			
			令和元年度	0 人	0 人								
			平成28年度	一 人	一 人								
		0 人		0 人	0 人	_			-	平成29年度	一 人	一 人	
令和2年度	242 人						平成30年度	0 人	0 人				
				令和元年度	0 人	0 人							
			令和2年度	0 人	0 人								
合 計		1人		1 人	0 人								

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・ 就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 永 の他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	- = -		=	#VALUE! %
【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	- = _		=	#VALUE! %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	_ =	1 80	=	1.25 %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	_ =	0 162	=	0 %
【令和2年度】				
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	_ =	<u>0</u> 242	=	0 %

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生産システム科学部 生産システム科学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区	日分	授業科目の名称	当年:	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	1	ト ロラニ*#* ハ.	次	修 1	択	由	授 1	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 I	1前	'			'					
		アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								14
	導入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			13	4		2		
	科	情報処理基礎	1前	2			2	3				1
	目	南加賀の歴史と文	1後	2								1
		化										-
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	0	16
		哲学	1前		2							1
	_	心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科目	日本の伝統芸能	1前		2							1
	~	人文地理学	1後		2							1
	人間	文化人類学	1後 1後		2							1
	力	医療と文化 文章表現法	1後		2							1
	~	ス早表現法 言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	- 12	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史	1前	Ť	2	-	4	_	_		_	
	_	自然資源と環境問題	1前		2							1
	般	経済学	1前		2							2
	科品	政治学	1後		2							2
	目(社会学	1後		2							1
ш	社	公共政策論	1後		2							1
共通	会力	社会福祉論	1後		2							1
教	<u> </u>	日本国憲法	1前		2							1
育科		小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9
目	_	データ科学と社会	1前		2		3					
	般科	情報処理応用A	1後		2			2				
	科目	情報処理応用B クリティカルシン	1後 1後		2							1
	科	キング										
	学	統計学 現代科学技術論	1前		2		1					1
	カ	現代科学技術論 小計(6科目)	1前	0	12	0	5 7	2	0	0	0	3
		健康と体の科学	1前		2		Ė					2
	_	スポーツ演習	1前・ 後		1							1
	般	(バレーボール) スポーツ演習	_饭 1前		1							1
	科 目	(硬式テニス)	נימי		'							ı' l
		スポーツ演習	1前・		1							1
	健康	(フットサル)	後									
	ځ	スポーツ演習 (卓球)	1後		1							1
	体力	スポーツ演習	1前・		1							1
	<u></u>	(バドミントン)	後									Ė
		小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3
		英語Ia	1前	2								5
		英語 I b	1前	2								3
	英	英語Ⅱa	1後	2								3
	語科	英語Ⅱb	1後	2								4
	目	英語皿	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		英会話Ⅱ	1後		2							1

【令和2年度】

			配	È	单位数	ţ	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区:		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 I	1前	1			1					
		アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								14
	導	テーマ別基礎セミ	1後	2			13	4		2		
	入科											
	目	情報処理基礎 南加賀の歴史と文	1前	2			2	3		2		1
		代 化	1後	2								1
		小計(5科目)	1	8	0	0	13	4	0	2	0	16
		哲学	1前		2							1
	_	心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科口	日本の伝統芸能	1前		2							1
	目 (人文地理学	1後		2							1
	人	文化人類学	1後		2							1
	間力	医療と文化	1後		2							1
)	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後	_	2	_	•	•	•	•	_	2
		小計(9科目) 日本産業史	- 1前	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		自然資源と環境問題	1前		2		4					1
	般	経済学	1前		2							2
	科	政治学	1後		2							2
	目(社会学	1後		2							1
	社	公共政策論	1後		2							1
共通	会力	社会福祉論	1後		2							1
教)	日本国憲法	1後		2							1
育科		小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9
目	_	データ科学と社会	1後		2		3					
	般科	情報処理応用A	1後		2			2				
	目	情報処理応用B クリティカルシン	1後		2							1
	科	キング	1後		2							1
	学	統計学	1後		2		1					1
	カ	現代科学技術論 小計 (6科目)	1前	0	2 12	0	5 7	2	0	0	0	3
		健康と体の科学	1前		2		,		0	0	-	2
	_	スポーツ演習	1前・		1							1
	般	(バレーボール)	後		'							'
	科目	スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1							1
	<u> </u>	スポーツ演習	1前・									
	健康	(フットサル)	後		1							1
	水と体	スポーツ演習 (卓球)	1後		1							1
	カ 〜	スポーツ演習 (バドミントン)	1前・ 後		1							1
		小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3
		英語 I a	1前	2								6
		英語 I b	1前	2								3
	英語	英語 Ⅱ a	1後	2								4
	語科	英語 Ⅱ b	1後	2								5
	Ħ	英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		英会話 Ⅱ	1後		2							1

科	В		配当年	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
区		授業科目の名称	次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			134	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		実用英語 I	1前・ 後 1前・			2						1
	英語	実用英語Ⅱ	· 削· · 後 · 1前·			2						1
	科	実用英語皿	· 6 1前・			2						1
	目	実用英語Ⅳ	後									
		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	11
共		中国語I	1前		2							1
通数		中国語Ⅱ	1後		2							1
教育	そ	フランス語 I フランス語 II	1前 1後		2							1
科	の他	ドイツ語 I	1前		2							1
目	外	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	国	ロシア語 I	1前		2							1
	語科	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
	目	スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5
	<u> </u>	応用数学 I	1前	2			1					
		工業数学	1前	2			1					
		応用物理学	1前	2			1					
		工学力学	1後	2			1					
草	草	プログラミング Ι	1後	2			1	1				
月 基	月 甚	材料力学及び 演習	2前	2			1					
研 利 目	4	工業熱力学及び 演習	2前	2			1					
		流れ学及び演習	2前	2			1					
		電気回路及び演習	2前	2			1					
		振動工学及び演習	2後	2			1					
		小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0	0
		数値解析	2後	2			1					
		技術英語 I	2後	2								1
		技術者倫理	2後	2			2					
		機械設計製図I	2後	2			2	1		1		
		生産工学	3前				1	4				
		ロボット機構学 技術英語 II	3前	2			1	1				,
		技術央譜Ⅱ 機械設計製図Ⅱ	3前 3前	2			2			2		1
		機械工作実習	3削	1			3	1		2		
		機械電気工学	3前	1			5	2		2		
草	卓	実験Ⅰ	נימט	'			3	2		_		
	ŧ	生産技術	3後	2			1					
禾	五 斗	課題探求 プロジェクト	3後	1			13	4		2		
	Ⅎ	技術英語演習 I	3後	1								1
		機械電気工学	3後	1			4	3		1		
		実験 Ⅱ 学外技術体験 実習A	3前・ 後		1		1					
		学外技術体験 実習B	3前・ 後		2		1					
		課題研究 ゼミナール	4前	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅲ	4前	1								1
		卒業研究	4通	8			13	4		2		
		小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0	1

£il	·目		配当	Ĺ	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼 任
	分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		I	1前・	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	١	実用英語I	· 前· / 後 / 前·			2						1
	英語	実用英語Ⅱ	後 1前・			2						1
	科	実用英語皿	後 1前・			2						1
	目	実用英語Ⅳ	後			2						1
		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	10
共		中国語 I	1前		2							1
通		中国語Ⅱ	1後		2							1
教育	そ	フランス語 I	1前		2							1
科	の	フランス語Ⅱ	1後		2							1
目	他外	ドイツ語 I	1前		2							1
	国	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	語科	ロシア語 I ロシア語 II	1前		2							1
	目		1後		2							1
		スペイン語 I スペイン語 II	1前		2							1
		小計(10科目)	1後	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		応用数学 I	- 1前	2	20	U	1	U	U	U	U	5
		工業数学		2			1					
		応用物理学	1前 1前	2			1					
		工学力学	1後	2			1					
١,	卓	プログラミング I	1後	2			1	2				
F		材料力学及び	11次				l '	-				
	<u></u> *	演習	2前	2			1					
	楚 斗 目	工業熱力学及び 演習	2前	2			1					
		流れ学及び演習	2前	2			1					
		電気回路及び演習	2前	2			1					
		振動工学及び演習	2後	2			1					
		小計(10科目)	Ī	20	0	0	8	2	0	0	0	0
		数値解析	2後	2			1					
		技術英語I	2後	2								1
		技術者倫理	2後	2			2					
		機械設計製図I	2後				2	1		1		
		生産工学	3前				1					
		ロボット機構学	3前	2			1	1				
		技術英語Ⅱ	3前									1
		機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
		機械工作実習	3前	1			3	1		2		
I	卓	機械電気工学実験	3前	1			5	2		2		
F ‡	ๆ も	生産技術	3後	2			1					
Ŧ	通 斗 目	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2		
	-	技術英語演習I	3後	1								1
		機械電気工学 実験 Ⅱ	3後	1			4	3		1		
		学外技術体験 実習A	3前· 後		1		1					
		学外技術体験 実習B	3前・ 後		2		1					
		課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅲ	4前	1								1
		卒業研究	4通	8			13	4		2		
<u> </u>		小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0	1

		配业	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	当年									任・
区分	区本行口 ジョッ・	次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
	応用数学Ⅱ	1後		2		1					
	複素解析	1後		2		1					١.
	化学入門	1後		2		١.					1
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス 概論	2前		2		1					
	プログラミング II	2前		2		1					
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と 開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
専	応用電磁気学	2後		2		1					
門	環境適合技術論	3前		2		1					
科目	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データーマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流 体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント 生産システム	4前		2		1					
	小計(26科目)	_	0	52	0	11	3	0	0	0	1
<u></u>	合計(110科目)			134	8	13	4	0	2	0	45
	n (11014 p)		69	דיטו	υ	13	4	U		U	40

卒業要件及び履修方法

- 1 共通教育科目(計38単位以上)
- 1)導入科目 必修8単位
- (2) 一般科日

- (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上
- 2 専門科目(計86単位以上)
- (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上
- (3)専門科目(コース別)
 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、
- コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上

- 【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択

【知能機械コース選択者】

- 【ルルで版本」 一へ近れる】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人口知能」「センサと通信」
- 選択科目から24単位以上を選択
- 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上
- 3 履修単位の登録の上限
- 48単位(年間)

科目		配当	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
	応用数学Ⅱ	1後		2		1					
	複素解析	1後		2		1					
	化学入門	1前		2							1
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス概 論	2前		2		1					
	プログラミング Ⅱ	2前		2		1	1				
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と 開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
専	応用電磁気学	2後		2		1					
門 科	環境適合技術論	3前		2		1					
目	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データーマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流 体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント生 産システム	4前		2		1					
	小計(22科目)	_	0	52	0	11	3	0	0	0	1
合	計(106科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	45

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計38単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位
- (2) 一般科目

- (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上
- 2 専門科目(計86単位以上)
- (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上
- (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、
- コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上

【牛産機械コース選択者】

- コース必修科目8単位
- 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択

【知能機械コース選択者】

- 【AIRIOMAI ― へ送が有】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人口知能」「センサと通信」
- ・選択科目から24単位以上を選択
- 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上
- 3 履修単位の登録の上限
- 48単位(年間)

【平成30年度】

兼任 配当年次 単位数 専任教員等の配置 科目 授業科目の名称 必 選 白 准 謹 助 兼担 キャリアデザイン・ 1前 1 1 チーム論 I アカテ゛ミック・スキルス゛ 1前 14 テーマ別基礎ゼミ 1後 2 13 4 2 科 情報処理基礎 2 1前 2 3 南加賀の 1後 2 1 歴史と文化 小計(5科目) 8 16 0 13 4 0 2 0 0 哲学 1前 2 心理学 1前 2 1 人間の発達と心 1前 2 1 日本の伝統芸能 1前 2 1 科 目 人文地理学 1後 2 1 文化人類学 1後 2 1 問 医療と文化 1後 2 1 力 文章表現法 1後 2 1 言葉と文化 1後 2 2 小計(9科目) 0 18 0 0 0 0 0 0 8 日本産業史 1前 4 2 目然資源と 環境問題 1前 2 経済学 1前 2 2 科 政治学 1後 2 2 社会学 1後 2 1 社 公共政策論 1後 2 1 社会福祉論 1後 2 カ 通 日本国憲法 2 教 小計(8科目) 9 16 0 4 0 0 0 0 0 育 データ科学と 科 2 3 , 社会 目 般 情報処理応用A 1後 2 2 情報処理応用B 1後 2 1 目 クリティカルシン 1後 2 1 科 キング 学 統計学 2 1 1 力 現代科学技術論 1前 2 5 小計(6科目) 0 7 2 0 0 12 0 0 3 健康と体の科学 1前 2 2 スポーツ演習 1前・ 1 (バレーボール) スポーツ演習 1前 目 (硬式テニス) スポーツ演習 1 1 (フットサル) 後 康 スポーツ演習 ے 1後 1 1 (卓球) 体 カ スポーツ演習 1前· 後 1 (バドミントン) 小計(6科目) 3 0 7 0 0 0 0 0 0 英語Ia 1前 2 5 英語Ib 1前 2 3 英語Ⅱa 1後 2 3 語 英語Ⅱb 1後 2 4 英語Ⅲ

1後

1後

1後

2

2

目

英会話 I

英会話Ⅱ

【令和元年度】

			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		1 = **! * 6:	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 I	1前	1			1					
	導	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								14
	入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			13	4		2		
	科目	情報処理基礎	1前	2			2	3		2		1
	П	南加賀の 歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	0	16
		哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科	日本の伝統芸能	1前		2							1
	目(人文地理学	1後		2							1
	人	文化人類学	1後		2							1
	間力	医療と文化	1後		2							1
)	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後	_	2							2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史	1前		2		4					
	般	自然資源と環境問題 経済学	1前		2							1
	科	政治学	1前		2							2
	目 (社会学	1後 1後		2							2
	社	公共政策論	1後		2							1
#	会力	社会福祉論	1後		2							1
共通)	日本国憲法	1後		2							1
教育		小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9
科		データ科学と	1後		2		3					
目	般	社会 情報処理応用A	1後		2		Ŭ	2				
	科目	情報処理応用B	1後		2							1
	0 (クリティカルシン	1後		2							1
	科学	キング										
	カ	統計学 現代科学技術論	1後 1前		2		1 5					1
)	小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	0	3
		健康と体の科学	1前		2							2
	一般	スポーツ演習 (バレーボール)	1前・ 後		1							1
	科目	スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1							1
	(健康	スポーツ演習 (フットサル)	1前・ 後		1							1
	及と体	スポーツ演習 (卓球)	1後		1							1
	カ 〜	スポーツ演習 (バドミントン)	1前・ 後		1							1
		小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3
		英語Ia	1前	2								6
		英語Ib	1前	2								3
	英語	英語Ⅱa	1後	2								3
	科	英語IIb	1後	2								4
	目	英語Ⅲ 英会話 I	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		大太前 11	1後		Z							1

1

1

科	·目		配当	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任
	分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	· 兼 担
		実用英語 I	1前・	修	択	由	授	授	師	教	手	ഥ
	英	実用英語Ⅱ	後 1前・									
	語	実用英語皿(未開講)	後 1前・			2						1
	科目	実用英語Ⅳ(未開講)	後 1前・			2						1
	_	小計(11科目)	後 -	8	6	8	0	0	0	0	0	11
		中国語 I	1前		2							1
共		中国語Ⅱ	1後		2							1
通教	7	フランス語 I	1前		2							1
育	その	フランス語 Ⅱ	1後		2							1
科目	他	ドイツ語 I	1前		2							1
	外国	ドイツ語 Ⅱ	1後		2							1
	語	ロシア語 I	1前		2							1
	科日	ロシア語 II	1後		2							1
	目	スペイン語 Ι	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5
	•	応用数学 I	1前	2			1					
		工業数学	1前	2			1					
		応用物理学	1前	2			1					
		工学力学	1後	2			1					
	亨	プログラミング Ι	1後	2			1	1				
1	児 基	材料力学及び 演習	2前	2			1					
Ŧ	~ 斗 目	工業熱力学及び 演習	2前	2			1					
		流れ学及び演習	2前	2			1					
		電気回路及び演習	2前	2			1					
		振動工学及び演習	2後	2			1					
		小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0	0
		数値解析	2後	2			1					
		技術英語 I	2後	2								1
		技術者倫理	2後	2			2					
		機械設計製図I	2後	2			2	1		1		
		生産工学	3前	2			1					
		ロボット機構学	3前				1	1				
		技術英語Ⅱ	3前	2								1
		機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
		機械工作実習	3前	1			3	1		2		
	卓	機械電気工学実験		1			5	2		2		
	آ +	生産技術	3後	2			1					
ű	共 通	課題探求 プロジェクト	3後	1			13	4		2		
	<u>ት</u>]	技術英語演習 I	3後	1								1
		機械電気工学 実験 Ⅱ	3後	1			4	3		1		
		学外技術体験 実習A	3前・ 後		1		1					
		学外技術体験 実習B	3前・ 後		2		1					
		課題研究 ゼミナール	4前	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅲ	4前	1								1
		卒業研究	4通	8			13	4		2		
		小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0	1

			配	ì	单位数	\$tr	亩	(4 数	日生	の配	罟	兼
	目	授業科目の名称	当		—							任・
×	分		年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		実用英語 I	1前・	修	択	由	授	授	師	教	手	担 1
	英	実用英語Ⅱ	後 1前・									1
	語	実用英語皿(未開講)	後 1前・			2						1
	科目	実用英語IV(未開講)	後 1前・			2						1
		小計(11科目)	後 -	8	6	8	0	0	0	0	0	12
		中国語 I	1前		2		Ť	_	_	_		1
共		中国語Ⅱ	1後		2							1
通教		フランス語 I	1前		2							1
育	その	フランス語Ⅱ	1後		2							1
科目	他	ドイツ語 I	1前		2							1
H	外	ドイツ語 I	1後		2							1
	国語	ロシア語 I	1前		2							1
	科	ロシア語 I	1後		2							1
	目	スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		応用数学 I	1前	2			1					
		工業数学	1前	2			1					
		応用物理学	1前	2			1					
		工学力学	1後	2			1					
	事	プログラミング Ι	1後	2			1	2				
1	児 表	材料力学及び 演習	2前	2			1					
Ŧ	定 斗 目	工業熱力学及び 演習	2前	2			1					
		流れ学及び演習	2前	2			1					
		電気回路及び演習	2前	2			1					
		振動工学及び演習	2後	2			1					
		小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0	0
		数値解析	2後	2			1					
		技術英語 I	2後	2								1
		技術者倫理	2後	2			2					
		機械設計製図I	2後	2			2	1		1		
		生産工学	3前	2			1					
		ロボット機構学	3前	2			1	1				
		技術英語Ⅱ	3前	2								1
		機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
		機械工作実習	3前	1			3	1		2		
	亨	機械電気工学実験		1			5	2		2		
	哼	生産技術	3後	2			1					
ú	美 通	課題探求 プロジェクト	3後	1			13	4		2		
	화 를	技術英語演習 I	3後	1								1
		機械電気工学 実験 Ⅱ	3後	1			4	3		1		
		学外技術体験 実習A	3前・ 後		1		1					
		学外技術体験 実習B	3前・ 後		2		1					
		課題研究 ゼミナール	4前	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅲ	4前	1								1
		卒業研究	4通	8			13	4		2		
		小計(19科目)	Ī	33	3	0	13	4	0	2	0	1

科目		配当	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
	応用数学Ⅱ	1後		2		1					
	複素解析	1後		2		1					
	化学入門	1前		2							1
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス 概論	2前		2		1					
	プログラミング Ⅱ	2前		2		1					
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と 開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
専	応用電磁気学	2後		2		1					
門 科	環境適合技術論	3前		2		1					
Ë	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データーマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流 体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント 生産システム	4前		2		1					
	小計(22科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1
合	計(110科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	45

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計38単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目
- (4) (1) ~(3) で履修した科目以外から5単位以上、健康と体力1単位以上 (4) (1) ~(3) で履修した科目以外から5単位以上

- 2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上
- (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、
- コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上

【生産機械コース選択者】

【知能機械コース選択者】

- コース必修科目8単位
- ・コース必修符日6単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人口知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択
- 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上
- 3 履修単位の登録の上限
- 48単位(年間)

科目		配当	<u>i</u>	单位数	t	専	任教	員等	の配	置	兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
	応用数学Ⅱ	1後		2		1					
	複素解析	1後		2		1					
	化学入門	1前		2							1
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス 概論	2前		2		1					
	プログラミング Ⅱ	2前		2		1	1				
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と 開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
専	応用電磁気学	2後		2		1					
門科	環境適合技術論	3前		2		1					
目	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データーマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流 体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント 生産システム	4前		2		1					
	小計(26科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1
合	計(110科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	46

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計38単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位(2)一般科目
- (4) 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3) 英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上

- 2 専門科目(計86単位以上)
- (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上

- (3) 専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、 コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上

【生産機械コース選択者】

【知能機械コース選択者】

- ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人口知能」「センサと通信」
- ・選択科目から24単位以上を選択
- 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上
- 3 履修単位の登録の上限
- 48単位(年間)

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) -②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更(授業科目表上は変更なし)。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- (30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当) ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「化学入門」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和元年度】

- ・専門科目「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」の担当教員として、専任教員の梶原 祐輔准教授を追加。

- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の史 金星助教を追加。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の朴 亨原助教を追加。

【令和2年度】

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

Ī				設置時	の計画						3	変更状	況				備考
	必作	必修 選択 自由 計(A)					4)	必修		選	択	É	由	計		1	
	36	科目	70	科目	4	科目	110	科目	36 [科目	70 [科目	4	科目	110 [科目	

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	スポーツ演習(硬式テ ニス)	1	1	一般	選択	前期のみ開講の科目であり、新型コロナ ウイルス感染症対策のため。代替措置は 無し。
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「スポーツ演習(硬式テニス)」そのものの代替措置は無いものの,同科目の属する科目区分『一般科目(健康と体力)』の卒業要件(1単位以上)については,前期に開講する「健康と体の科学」のほか,後期に開講する「スポーツ演習(バレーボール)」「スポーツ演習(フットサル)」等でも満たすことが出来るため学生の履修への影響は少ないものと考えられる。

学生へは,「スポーツ演習(硬式テニス)」が本年度不開講となる旨,学内掲示板および本学ポータ ルサイト『ユニバーサルパスポート』において周知した。

今後の新型コロナウイルスの収束状況によっては上記の科目も不開講とする可能性はあり得るもの の、原則として上記の科目を履修することにより学生が卒業要件を満たすことを想定している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 110 = 0.9 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内				容				備考
(1)		区	分		専	用	共	用		キ用する 学校等の				計	
+**		校舎	· 敷 坩	<u>t</u>		18, 962. 05 m²			mi		r	า๋	1	18, 962. 05 m	2 2
校		運動	場用地	ļ	,	14, 271. 00 m²			mi		r	า้	1	14, 271. 00 m	末広キャンパス 借用面積:3,676 ㎡
地		小	計		;	33, 233. 05 m²			mi		r	า้	3	33, 233. 05 m	借用期間:25年
等		そ	の他	ļ.		8, 251. 28 m²			m²		n	1 ²		8, 251. 28 m	î
₹		合	計	-		41, 484. 33 m²			m²		n	า๋	4	11,484.33 m	Î
					専	用	共	用		≒用する 学校等の				計	中央キャンパス賃貸借部 分増加(1階)に伴う校
(2) 校			舎		·	16, 395. 39㎡ 5. 95 ㎡)	(3, 64	(4.67 m²)	m [*]	4, 926. 4				16, 395. 39m 27. 09m²)	高 (名の) (2) ま広キャンパス 借用面積:930 m 借用期間:25年 中井田面積:4,107 m 借用期間:25年
				講	義室	演習	演習室 実験実習室 情報処理学習施設 語学学習施設								
(3) 教		室	等			0室 0室					_ 大学全体				
					23	8室	12室 18室 (補助職員 0 人) (補助職員 0 人)								
(4) 車	仁恕	(員研究	安			新設学部	新設学部等の名称 室 数								
(4) ਚ	江彩	く見いれ	±		生産シス	ステム科学部	生産シス・	テム科学科			20			室	
					図 書	学術	雑誌			- 視聴り	* 資料	機械・器	: 県	標本	
(5)	Ř	新設学部 の名和		〔う	ち外国書〕	〔うちタ	国書〕	電子ジャ	ーナル	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
	-	± \ ¬	- ,			m I	種	〔うちタ	、国書〕		点		点	点	i <u> </u>
図書		産シス 科学部 産シス	ß		558 (524) 667 (360)		6 (29) (810)		(29)		156		96	(
• 設		科学科		(15,	5259 [589]	(79	4 [785])	(78	3 [783])	133	-158	82		0	_
備		計			558 (524)		6 (29)		(29)		156		96		
				-(13,	558 (524)		(810)		(808)	13	33	82	64-	0	
(6) 図		書	館		面	積 		閲 覧 🛭	第一数		収	納可	能	冊 数	大学全体 末広キャンパス建築
(0) 🗵			Δb		909	. 83 m 876. 41	m [*]			118席				80, 000 ∏	に伴う図書館面積の 減少(2)
(7) h			ŵ.ch		面	積	体育館以外のスポーツ施設の概要								大学全体
(7) 体		育	館			960. 0)m²								
		経費	Σ	₹	分	開設年度	完成年度	区	分		前年度	開設年月	叓	完成年度	共通教育用の図書に ついては、国際文化
(8)			教員 1	人当り	研究費等	600千円	600∓	円図書	購入費	3, 6	91千円 58千円	13, 491=	千円	7, 594千円	て算定を行っている
経費の積り及	なび		共 同	研 :	究 費 等	6,000千円	6, 000 1	-円 設備	購入費		00千円 56千円	98, 000=	千円	3,000千円	改順の位置をについ
維持方の 概		学生 1			1年次	第2年次	第	3 年次	第 4 年	F次	第 5	年次		第6年次	てリースにて対応す ることとしたため (20)
		納付		市内	学生918千 円	636 T	円	636千円	6	36千円	_	千円		- 千円	→ (30) ∃ 設備購入費は大学全 → 体
	学生納付金以外の維持方法の概要 大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等											irt*			

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	公	立小	松大	学							備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度		
			人									
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	-	平成30	-		
生産システム科学科	4	80	-	320	学士	1. 01	1.00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1番地3		
<u>保健医療学部</u>	4	80	_	320	-	-	-	-	平成30	-		
<u>看護学科</u>	4	50	-	200	学士	1. 02	1. 02	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番 地1		
<u>臨床工学科</u>	4	30	-	120	学士 (臨床エ	1. 07	1.03	-	平成30	同上		
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	_	-	-	平成30	_		
<u>国際文化交流学科</u>	4	80	-	320	学士 (国際文化学)	1. 02	1. 00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10		
大学全体	4	240	-	960	-	1. 02	1. 00	-	平成30	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<生産システム科学部 生産システム学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【平日	丸30	年度 】	【令和	口元年	度】	【令和	包2年	度】
専任·	1111		専任・			専任・	176-		専任・	14 Z T	<u>-</u>
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
由守	教授	木村 繁男 (67) 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国) キャリアデモ破ゼミ 現代科学技及で験了 現代科学技及で実験 I 課題探究でラント 課題研究でできまった。	專	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国) キャリア	青	教授	木村 繁男 (68) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国) キャリアデザイン・チーム論 I テーマ別基礎ゼミ 現代科学及び演習機械領気エ学ロジャント 課題研究でジョナール。	毒守	教授	木村 繁男 (69) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国) キャリアデ基礎ゼミ デーマ別基をできる。 現代科学学及び演習 現代科学学及び演習 課題研究・ロジェール 課題研究・ビミナール 課題研究・ビミナール 課題研究・ビミナール 課題研究・ビミナール 課題・アスルギーター
		卒業研究 山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士			卒業研究 山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士			エネルギー資源と開発 卒業研究 山田 外史 (69) <平成30年4月> 工学博士			卒業研究 山田 外史 (70) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	テース を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	教授	テース では、	専	教授	テース では、	専	教授	テロス では、
		山田 良穂 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士			山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士			山田 良穂 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士			山田 良穂 (69) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	テーマ 別基礎 ジョー 日本 経 ※ 接続 ※ 接続 ※ 実験 I 日本 産業 ※ 実験 I 以課題探求 ボース を	専	教授	テーマー マーマー マーマー マース できません アース を できる できます アース	専	教授	テース で	専	教授	テース マース マース マース マース で スタース アース アース アース アース アース アース アース アース アース ア
		安達 正明 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士			安達 正明 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士			安達 正明 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士			安達 正明 (68) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用学型学 大学力等 エッカラ エッカラ エッカラ エッカラ エッカラ エッカラ エッカラ エッシェクト 課題研究でミナール 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ現代科学技術論 現代科学技術論 水下東力学、エッカ学、エッカ学、エッカ学、エッカ学、エッカ学、エッティック・ 機械電探求プミナール 卒業研究 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎 ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用物理学 工業力等 エ学実験 I 機械電探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 産業研究を実施研究	専	教授	テース リング アース
		木村 春彦 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士			木村 春彦 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士			木村 春彦 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士			木村 春彦 (68) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	テータング データング データを発生を デ現代科学がデンタト 課題探求党ゼンム論 情報科学概ス デルゴ学概ス デエカタマ能 デーエカママ デーニング 卒業研究	専	教授	テーマ 別基礎 と は と は と な と な と な と な と な と な と な と な	専	教授	テーマ別基礎ゼミ デ現代科学と社会 ※ 課題類深究ゼント 課題が完立と 情報・ で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	専	教授	テーター マーダー マーダー マーダー マーダー マーダー マーダー マーダー マ
		川端 信義 (65) 〈平成30年4月〉 工学博士			川端 信義 (65) 〈平成30年4月〉 工学博士			川端 信義 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士			川端 信義 (67) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及で演習 機械電気、エディン・ 課題研究 ボビミナール 地球環境と環境流体 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎 ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び湾習 機械電気 エグラシェクト 課題研究 ゼ環境 地球環境と環境 本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	教授	テーマ 別基礎 ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び演習 機械電気工学実験 I 腰題研究 オプロジェクト 腰題研究 を 球球 で 地球環境と環境流体 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及気で演習 機械電探求ゼラスプリト 課題研究とプリント 地球環境と環境流体 卒業研究

		_	·		_			-			
専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ ・ ・ ・ ・ ・ 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		田村 博志 (65) 〈平成31年4月〉 理学博士			田村 博志 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士			田村 博志 (65) 〈平成31年4月〉 理学博士			田村 博志 (66) 〈平成31年4月〉 理学博士
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学技術論 ※ 広工業数学 I 工業数字 ボジェクト 課題探示空 I 原用教解析 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 就現代科学技術論 ※ 広工業数学 I 工業数学プロジェクト 課題研究学 I 実用教解析 産業研究	専	教授	テ統計の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学学1 工業数学プロジェクト 課題探究空エ 成用教好 な事数析 を有効的 で表現 で表現 で表現 で表現 を表現 で表現 で表現 で表現 で表現 で表現 で表現 で表現 で
		田村 博志 (64) 〈平成30年4月〉 理学博士			田村 博志 (64) <平成30年4月> 理学博士			田村 博志 -(65)- <平成30年4月> 理学博士			田村 博志 -(66)- <平成30年4月> 理学博士
兼任	講師	現代科学技術論 ※ 応用数学 I 工応用数学 Ⅲ 複素解析	兼任	講師	現代科学技術論 ※ 応用数学 I 元用数学 Ⅲ 夜素解析	兼任	講師	現代科学技術論 ※ 応用教学 I 工業教学 応用教学 I 複業解析	兼任	講師	現代科学技術論—※ 応用数学I- 応用数学I- 応用数学II- 複素解析
		岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士			岩田 佳雄 (64) <平成31年4月> 工学博士			岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士			岩田 佳雄 (66) 〈平成31年4月〉 工学博士
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 工業主要を選出を 一本産学更び、演習 大技術被との選出 大技術被との観点 大学のでは、 大学のできます。 大学のできまます。 大学のできままままままままま。 大学のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	専	教授	テーマ 別基礎ゼミ 工業を受ける。 一本産学史が、演習 主要なが、演習 技術被から気エリーのでは、対域が、対域が、対域では、対域が、対域では、対域が、対域では、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が	専	教授	テーマー マーマー マーマー マーマー マーマー アーマーマー アーマー アーマ	専	教授	テーマ 別基礎 ゼミロス 東京 で で で で で で で で で で で で で で で で で で
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) 《平成30年4月> 工学博士 日本産業史 ※	兼任	講師	岩田 佳雄 (64) 《平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	 岩田 佳雄 -(65)- マ平成30年4月→ 工学博士 日本産業史-※	兼任	講師	#田 佳雄 (-(66)- <平成30年4月→ 工学博士
		新田 雅道 (60) <平成31年4月> 博士(工学)			新田 雅道 (59) 〈平成31年4月〉 博士(工学)			新田 雅道 (60) 〈平成31年4月〉 博士(工学)			新田 雅道 (61) <平成31年4月> 博士(工学)
専	教授	テーマ別基礎ゼミ情報処理基礎 ドテータ科学と社会 ※ ブログラミング I 課題探求プジェクト 課題研究ゼミング I プログラミング I マーダー	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ ブログラミング I 課題探求プジェクト 課題の究ゼミナール プログラミング I 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ ブロゲ東ラブロジェクト 課題研究ゼミング 東野で究ゼミング 東野でデミング 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ情報処理基礎 情報処理基礎 デブログラキングI 課題探求プジェクト 課題探究でミング プログラミング プログラミング 学知が究
兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (エ学) テーマ別基礎ゼミ	兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学) テーマ別基礎ゼミ	兼任	講師	新田―雅道 -(60)- - (平成30年4月)- 博士 (工学)- テーマ別基礎ゼミ	兼任	講師	新田—雅道 -(61)- <平成30年4月> 博士 (工学)- テーマ別基礎ゼミ
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミング I			情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミング I			情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミング I			情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミング I
		富澤 淳 (59) <平成30年4月> 博士(工学)			富澤 淳 (59) <平成30年4月> 博士(工学)			富澤 淳 (60) <平成30年4月> 博士 (工学)			富澤 淳 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
専	教授	テース (専	教授	テース (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	専	教授	テース を	毒		テース (
		上田 芳弘 (60) <令和3年4月> 博士 (工学)			上田 芳弘 (57) <令和3年4月> 博士 (工学)			上田 芳弘 (58) (今和3年4月> 博士 (工学)			上田 芳弘 (59) <令和3年4月> 博士 (工学)
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プランテント 課題なアプリンテル インテリジェント生産システム 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究プロジェクト 課題ではアリジェント生産システム 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学技術論 ※ 観題探求ゼミナクト 課題探求ゼミナール インテリジェント生産システ ム 卒業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題研究オプシェクト 課題研究ゼェント インテリジェント生産システム 卒業研究

専任・			専任・	ı		専任・	Γ		専任・	T .	I
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		酒井 忍 (54) <平成30年4月> 博士(工学)			酒井 忍 (54) <平成30年4月> 博士 (工学)			酒井 忍 (55) 〈平成30年4月〉 博士(工学)			酒井 忍 (56) 〈平成30年4月〉 博士(工学)
専	教授	テーマカラ を表現である。 デーマルタンの I を表現である。 一では、一では、一では、一では、一では、一では、 が、できない。 が、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 できなな、 できない。 できない。 できなない。 できな	専	教授	テーマリンス できない できない できない できない できない できない できない できない	専	教授	テーマリ基礎では 対解数を対象を が関係を がのののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がのののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がのののので がののので がのののので がのののので がのののので がのののので がののので がのののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がのののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がののので がのののので がのので がのので がののので がののので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がのので がののので がので が	専	教授	テーマリ基礎では 対料及び演習 機械設図 I 機械被電電大学主験 I 機械電電求プビッション 課題探究素設計 課題探究素設計 体業報子 機械電電大プロジナール 機械電電大プロジナール 機械電電大プロジナール を表現る を表現
		香川 博之 (53) 〈平成30年4月〉 博士(工学)			香川 博之 (53) 〈平成30年4月〉 博士 (工学)			香川 博之 (54) 〈平成30年4月〉 博士(工学)			香川 博之 (55) 《平成30年4月》 博士(工学)
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 機械を受けませる。 一般では、 一般では、 一般である。 一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 機械成計製 生産工学生機械電気でリート 機械電気でリート 関連が発達したリール ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	教授	テーマの製造型 I 生産を受ける T 生産を工作を表する T 生機械を工作を表する T 生機械を関する T 生機・大変なのである。 T を T を T を T を T を T を T を T を T を T	専	教授	テーマの製造型 I 生機械 I 生機 K I 下気 エブ I 手腕 I 下気 エブ I 下気 エブ I 下気 エブ I 下気 エブ I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I 下 I
		石若 裕子 (51) <令和3年4月> 博士 (工学)			石若 裕子 (48) <令和3年4月> 博士 (工学)			石若 裕子 (49) <令和3年4月> 博士 (工学)			石若 裕子 (50) <令和3年4月> 博士 (工学)
専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用A ブログラミング I 課題探求プミンジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ情報処理基礎 情報処理基礎 に対してラングI 課題探求プジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理を用AグI プログラマンジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎用 プログ東本のエングI 課題研究プロジェクト 課業研究 卒業研究
		疋津 正利 (47) <平成30年4月> 博士(工学)			疋津 正利 (47) 〈平成30年4月〉 博士 (工学)			疋津 正利 (48) <平成30年4月> 博士 (エ学)			疋津 正利 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
専	准教 授	テーマの基礎ゼミ 情機械設計を 中級処別 日本の理基製図 I 日本の理基製図 I 日本の理理 日本の理解 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 情機械設計の理基製図I ロボボエを開発である。 機械電子 機械電子 関連超深のデビッシェル 制御でのデール 制楽研究で	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 情機械設のI の理報製図I の理報製図I の理報機大工作気でで 機械工作気でで で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	准教 授	テーマリ基礎ゼミ 情報機数図I 口理報製図I 口機機工工工学等 機変で実験エーロップで 機変で 実験エーロップ・ は課題解ので は課題解ので で の で の の の の の の の の の の の の の の の
		池田 慎治 (45) 〈平成30年4月〉 博士 (工学)			池田 愼治 (45) 〈平成30年4月〉 博士 (工学)			池田 慎治 (46) 〈平成30年4月〉 博士 (工学)			池田 慎治 (47) 《平成30年4月》 博士(工学)
毒	准教 授	テーマングライン データ	専	准教 授	テーマー では、 できない できない できない できない できない できない できない できない	専	准教 授	テースを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	専	准教 授	テースを 一大会 一大会 一大会 一大会 一大会 一大会 一大会 一大会
		梶原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士(工学)			梶原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士(工学)			梶原 祐輔 (33) <平成30年4月> 博士 (工学)			梶原 祐輔 (34) <平成30年4月> 博士 (エ学)
専	准教授	テーマ別基礎ゼミ 情報処理の工工 情情級配理の工学実験 I 機械電気気ププジェット 課題探求プロジェナール 画像認識 電像認識 電像認識 電像で変	専		テー・マ別基礎ゼミ 情報処理の理解を受ける 情報の理例など 情報の理例など で学実験I 機械超級で表プロミナール 関連を 関連を 関連を で で で の で 変 の で の の の の の の の の の の の の	専		テ情報を ・ では ・ では では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では	専	准教 授	テ情報の ・ では ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できままする。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できままする。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できままする。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できままする。 ・ できまする。 ・ できままする。 ・ できままななななななななななななななななななななななななななななななななななな
		史 金星 (37) <平成30年4月> 博士 (工学)			史 金星 (37) <平成30年4月> 博士 (工学)			史 金星 (38) <平成30年4月> 博士(工学)			史 金星 (39) <平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図I 機械設計製図I 機械電探式学学実験I 関連型でライン 機動程探すでジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究	専	助教	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図I 機械設計製図I 機械で気工学実験I 関連で気エプロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究	専	助教	テーマ別基礎ゼミ機械級設計製図II機械被設計製図II機機械配工作気子で実験I課題探求プロジント課題研究でジェナール平等を表示では、サール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マ	専	助教	テーマ別基礎ゼミ機械設計製図I 機械被計製図I 機械で作生文学実験 I 課題探究でリール 保護研究でリール 情報処理基礎である。

(職) 数 (大) 数 (任(年) 年月 > 名	専兼兼の専担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担	職名助教授	氏(年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年)	専兼兼の専業を担任別専事を担任別を担任別を担任の関係を関する。	職名助教授	 氏 年 名 (年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	専兼兼の専業を担任別を表示の事事を対しています。	職名助教	氏 名 (年 名 館) 年 名 (年 名 館) 年 名 (年 名 館) 年 月 > (年 名 度) 年 月 > (日 4 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年
教授	立野 大地 (34) <平成(34) <平成(34) <平成(34) <ドカス (34) <ドカス (34) <ドカス (34) <ドカス (44) <・アカス (44) <・アカス (64) <・アカス (64) <・アカス (65) <・アカデミック・スキルズ ・中島 (65) <・アカス (65) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼担	教授	井 事原 (385) (385) (386) (中立 (1年) (中立 (1年) (日本) (日本)	兼担		本 事原 (36) (36) (36) (*早成30年7月> (**) (**) (**) <td></td> <td></td> <td>本 字原 (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (38) (38) (39) (31) (31) (32) (32) (33) (34) (34) (35) (46) (46) (47) (47) (48) (49) (40) (40) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (47) (48) (48) (49) (40) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (47) (48) (49) (40) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (47) (48) (48) (49) (40) (41) (42)</td>			本 字原 (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (38) (38) (39) (31) (31) (32) (32) (33) (34) (34) (35) (46) (46) (47) (47) (48) (49) (40) (40) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (47) (48) (48) (49) (40) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (47) (48) (49) (40) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (47) (48) (48) (49) (40) (41) (42)
教授	(34)	兼担	教授	(365) < マ東成30年7月 博士(工学) デースの基礎 でまる。 「中本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼担		(36) 《平成30年7月> 博士(工学) デーマ別基礎ゼミ 機械配質 機械配質 機械配質 機械配質気工デロジョント 課題研究ゼミナール 卒業研究 (65) 《平成30年4月> 博士(65) 《平成30年4月> 博士(65)			(37) < 平成30年7月 (本年) (本年) テーマ別基礎ゼミ機械技工作気工学実験 I 機械技工作気工学実験 I 機規題研究党 エブロジェナール 卒業 を 1 大田 和代 (66) (平成30年4月) 博士 (医学)
教授	機械工作実習 機械報覧工学実験 I 機械報覧工学実験 I 関課題研究 北岡 (64) 〈平成30年4月〉 博士 (65) アカデミック・スキルズ 中島 (65) 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 健康と体の科学 経療と体の科学 松井 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (年生)	兼担	教授	機械工作実習 機械電気工学実験 I 機械電気工学実験 I 膜類研究ゼミナール 卒業研究 北岡 和代 (64) 〈平成30年4月〉 博士 (医学) アカデミック・スキルズ 中島(55) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)	兼担		機械電気工学実験 I 機械電気工学実験 I 機能能研究ゼミナール 卒業研究ゼミナール 卒業研究 (1 和代 (63) 〈平成30年4月〉 博士(医学) アカデミック・スキルズ 中島素子			機械電気工学実験 I 機械電気工学実験 I 腰類探求プロジェクト 課題探究ゼミナール 卒業研究 情報処理基礎 北岡 和代 (66) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)
教授	(64) (平成30年4月) 博士(医学) アカデミック・スキルズ 中島 素子 (65) (平成30年4月) 博士(医学) 健康と体の科学 ※ 松井 優子 (52) (平成30年4月) 博士(保健学)	兼担		(64) 〈平成30年4月> 博士 (医学) アカデミック・スキルズ 中島 素子 (65) 〈平成30年4月> 博士 (医学)		教授	(65) <平成30年4月> 博士 (医学) アカデミック・スキルズ 中島 素子	兼担	教授	(66) <平成30年4月> 博士(医学)
	(65) 〈平成30年4月〉 博士(医学) 健康と体の科学 ※ 松井 優子 (52) 〈平成30年4月〉 博士(保健学)		教授	(65) 〈平成30年4月〉 博士(医学)	兼担					
教授	(52) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼担				教授	《平成30年4月》 博士(医学) 健康と体の科学 ※	兼担	教授	中島 素子 (67) 〈平成30年4月〉 博士(医学) 健康と体の科学 ※
			教授	松井 優子 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	松井 優子 (53) <平成30年4月> 博士 (保健学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	松井 優子 (54) <平成30年4月> 博士 (保健学) アカデミック・スキルズ
教授	徳田 真由美 (52)〈平成30年4月〉 博士 (看護学)アカデミック・スキルズ	兼担	教授	徳田 真由美 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	徳田 真由美 (53)〈平成30年4月〉 博士 (看護学)アカデミック・スキルズ	兼担	教授	 徳田 真由美 (54) 〈平成30年4月〉 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ
	佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	准教授	佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	准教授	佐藤 大介 (39) <平成30年4月> 博士(看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	准教授	佐藤 大介 (40) <平成30年4月> 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ
教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼担	教授	中山 謙二 (71) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼担	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼担	教授	中山 謙二 (73) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学
講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼任	講師	中山 株二 (72)- <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼任	講師	中山 謙二 (73)- <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学
教授	井関 尚一 (66) <平成30年4月> 医学博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	井関 尚一 (66) <平成30年4月> 医学博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	井関 尚一 (67) <平成30年4月> 医学博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	井関 尚一 (68) <平成30年4月> 医学博士
教授	八賀 正司 (64) <平成30年4月> 学術博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	八賀 正司 (64) 〈平成30年4月〉 学術博士	兼担	教授	八賀 正司 (65) <平成30年4月> 学術博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	八賀 正司 (66) <平成30年4月> 学術博士 アカデミック・スキルズ
	辻村 真一 (39) <平成30年4月> 博士(工学)	兼担	准教授	#田 一寿 (39) (平成30年7月) 博士(工学) (情報処理応用B	兼担	准教 授	第田 一寿 (40)〈平成30年7月〉博士 (工学)情報処理応用日	兼担	准教 授	##田 一寿 (41) <平成30年7月> 博士(工学) 情報処理応用B
講	師授授	世界	マー	マー成31年4月> 工学博士 兼担 教授 アカデミック・スキルズ 統計学 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マー成31年4月 > 工学博士 教授	マー成31年4月	マー成31年4月 > 工学博士 教授	マー成31年4月> 工学博士 教授	マー成31年4月> 工学博士 ※担 数授 マー成31年4月> 工学博士 ※担 数授 アカデミック・スキルズ 統計学 ※担 数授 アカデミック・スキルズ 統計学 ※任 ※任 ※任 ※任 ※任 ※任 ※任 ※	大学博士 東担 教授 大学博士 東担 教授 大学博士 東担 教授 大学博士 東担 教授 大力デミック・スキルズ 東拉 東丘 東丘 東丘 東丘 東丘 東丘 東丘

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		井澤 純子 (48)			井澤 純子 (48)			井澤 純子 (49)			井澤 純子 (50)
* +0	*# AT	<平成30年4月> 博士(情報科学)	兼担	講師	<平成30年4月> 博士(情報科学)	兼担	## AT	<平成30年4月> 博士(情報科学)	* +0	## 6T	<平成30年4月> 博士 (情報科学)
兼担	講師	情報処理基礎	兼担	語即	情報処理基礎	兼担	講師	情報処理基礎	兼担	講師	情報処理基礎
兼担	教授	岩田 礼 (65) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼担	教授	岩田 礼 (65) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼担	教授	岩田 礼 (66) <平成30年4月> 文学修士	兼担	教授	岩田 礼 (67) <平成30年4月> 文学修士
水担	秋双	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	水坦	#X1X	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	米坦	4X1X	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	米坦	#X1X	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎 猛 (67) 〈平成30年4年〉 農学博士	兼担	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4年> 農学博士	兼担	教授	宮崎 猛 (68) <平成30年4年> 農学博士	兼担	教授	宮崎 猛 (69) <平成30年4年> 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題			アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題			アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題			アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
		VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph.D., linguistics			VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph.D., linguistics			VANCE, Timothy John (67) <平成30年4月> Ph.D., linguistics			VANCE, Timothy John (68) <平成30年4月> Ph.D., linguistics
兼担	教授	(米国)	兼担	教授	(米国)	兼担	教授	(米国)	兼担	教授	(米国) 言葉と文化 ※
		英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b
		盛田 清秀 (65) 〈平成30年4月〉 博士(農学)			盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)			盛田 清秀 (66) 〈平成30年4月〉 博士 (農学)			盛田 清秀 (67) <平成30年4月> 博士 (農学)
兼担	教授	経済学 ※	兼担	教授	経済学 ※	兼担	教授	経済学 ※	兼担	教授	経済学 ※
		西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士 (文学)			西村 聡 (63) <令和2年4月> 博士(文学)			西村 聡 (64) <令和2年4月> 博士(文学)			西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)
兼担	教授	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼担	教授	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼担	教授	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼担	教授	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) <平成30年4月>	兼任	講師	西村 聡 (63) <平成30年4月>	兼任	講師	西村 聡 (64) <平成30年4月>	兼任	誰師	西村 職 -(65)- - 《平成30年4月》
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
* 10	JU 100	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	* 10	JU 100	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	* 10	# I=1	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	* 10	JU 144	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)
兼担		アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II b	兼担	教授	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II b	兼担	教授	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II b	兼担	教授	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II b 英語 II b
兼担	教授	杓谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士 (文学)	兼担	教授	杓谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)	兼担	教授	杓谷 茂樹 (56) <平成30年4月> 修士 (文学)	兼担	教授	杓谷 茂樹 (57) <平成30年4月> 修士 (文学)
NK 1	76.12	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 Ⅲ	XK J	7.12	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 Ⅲ	38.3	74.14	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II	XK1=	76.12	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II
兼担	教授	刘 酒华 (55) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	兼担	教授	刘 通华 (55) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	兼担	教授	刘 適华 (56) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	兼担	教授	刘 適华 (57) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)
		中国語 I 中国語 I			中国語 I 中国語 I			中国語I中国語I			中国語工中国語工
兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ia 英語IIa 英語IIb			英語Ia 英語Ia 英語Ib			英語 I a 英語 II a 英語 II b			英語Ia 英語IIa 英語IIb

- ·-		-						_		_	1
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市)	兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市)	兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市)	兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (52) 《平成30年4月》 博士(創造都市)
	1×	アカデミック・スキルズ		1×	アカデミック・スキルズ		1×	アカデミック・スキルズ		. 1×	アカデミック・スキルズ
兼担	准教 授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	兼担	准教 授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	兼担	准教 授	小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士	兼担	准教 授	小原 文衛 (51) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語 I a 英語 II a			英語 I a 英語 II a			英語 I a 英語 II a			英語 I a 英語 II a
兼担	准教 授	ーノ渡 忠之 (43) (平成30年4月> 博士 (商学) 経済学 ※	兼担	准教 授	- ノ渡 忠之 (43) (平成30年4月> 博士(商学) 経済学 ※	兼担	准教 授	一ノ渡 忠之 (44) 〈平成30年4月〉 博士 (商学) 経済学 ※	兼担	准教 授	ーノ渡 忠之 (45) 〈平成30年4月〉 博士(商学) 経済学 ※
		経済字 ※ ロシア語 I ロシア語 I 木村 誠			経済字 ※ ロシア語 I ロシア語 II 木村 誠			経済字 ※ ロシア語 I ロシア語 I 木村 誠			経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 I 木村 誠
兼担	准教 授	本付 版 (38) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	本村 版 (37) (37) <平成31年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	本村 談 (38) (38) <平成31年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	不付 (39) (39) <平成31年4月> 博士(学術) アカデミック・スキルズ
		心理学 人間の発達と心			心理学 人間の発達と心			小理学 人間の発達と心			心理学 人間の発達と心
兼任	准教 授	木村 誠 (37) (37) (平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教 授	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教 授	- (38) - <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教 授	- 木村 糖 - (-(39) - (-(39) - (-(39) - (39) - (49) - (49
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心			アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心			- アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心			- アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼担	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	兼担	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	兼担	准教 授	木場 紗綾 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)	兼担	准教授	木場 紗綾 (39) <平成30年4月> 博士(政治学)
	13	アカデミック・スキルズ 政治学 ※		18	アカデミック・スキルズ 政治学 ※		18	アカデミック・スキルズ 政治学 ※		18	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	准教 授	千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究)	兼担	准教授	千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究)	兼担	准教 授	千葉 悠志 (33) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究)	兼担	准教授	千葉 悠志 (34) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※			アカデミック・スキルズ 政治学 ※			アカデミック・スキルズ 政治学 ※			アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)	兼担	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士 (文学)	兼担	助教	長辻 幸 (36) <平成30年4月> 修士 (文学)	兼担	助教	長辻 幸 (37) <平成30年4月> 修士 (文学)
		英語Ⅱa 英語Ⅱa			英語 I a 英語 II a			英語 I a 英語 II a			英語 I a 英語 II a
											島内 俊彦 (50) <令和2年4月> 博士(学術)
									兼担	講師	英英安斯斯 I I 英杂 英東 其
兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士 (文学) アカデミック・スキルズ ・	兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士 (文学) アカデミック・スキルズ ・ 100 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	兼任	講師	三浦 要 (60) <平成30年4月> 博士 (文学) アカデミック・スキルズ 心理学	兼任	講師	三浦 要 (61)
		大間の発達と心 宇根 義己 (38)			大間の発達と心 宇根 義己 (38)			大間の発達と心 宇根 義己 (39)			大間の発達と心 宇根 義己 (40)
兼任	講師	〈平成30年4月〉 博士 (文学) 人文地理学	兼任	講師	〈平成30年4月〉 博士 (文学) 人文地理学	兼任	講師	〈平成30年4月〉 博士 (文学) 人文地理学	兼任	講師	< 平成30年4月 > 博士 (文学)

亩ヶ			声に			声に	1		声ド		<u> </u>
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	碇 陽子 (41) <平成30年4月> 博士(学術)	兼担	教授	横川 善正 (69) <平成30年7月> 文学修士	兼担	教授	横川 善正 (70) <平成30年7月> 文学修士	兼担	教授	横川 善正 (71) 〈平成30年7月〉 文学修士
		医療と文化			医療と文化			医療と文化 英語 I a			医療と文化 英語 I a
兼任	講師	溝部 明男 (68) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (68) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (69) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (70) <平成30年4月> 文学修士
		社会学			社会学			社会学			社会学
兼任	講師	本村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師	本村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師	本村 高宏 (44) <平成30年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師	木村 高宏 (45) <平成30年4月> 博士(政策科学)
		公共政策論			公共政策論			公共政策論			公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (70) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (71) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (72) <平成30年4月> 法学修士
		社会福祉論			社会福祉論			社会福祉論			社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士(法学)	兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士(法学)	兼任	講師	山崎 友也 (46) 〈平成30年4月〉 修士(法学)	兼任	講師	山崎 友也 (47) <平成30年4月> 修士(法学)
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学)	兼任	講師	榊原 千秋 (56) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学)	兼任	講師	榊原 千秋 (57) <平成30年4月> 博士 (保健学)	兼任	講師	榊原 千秋 (58) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学)
		健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※
		松下 裕子 (58) 〈平成30年4月〉 体育学士			松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士			松下 裕子 (59) <平成30年4月> 体育学士			松下 裕子 (60) <平成30年4月> 体育学士
兼任	講師	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (体球) スポーツ演習 (パドミントン)	兼任	講師	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (硬式テリル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (体形) スポーツ演習 (パドミントン)	兼任	講師	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (でまテニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (ネ球) スポーツ演習 (バドミントン)	兼任	講師	スポーツ演習 (パレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (パドミントン)
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	川畠 嘉美 (47) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	川畠 嘉美 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	98 65	川 <u>畠 高美</u> -(49)- -(49)- -(49)- -(49)- -(49)- -(49)-
NK III	ur7 = 1	英語 I a	NK III	LITY IN IT	英語 I a	N. II.	ur-y ari	英語 I a	N. II.		英語 I a
		ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月>			ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月>			ABE DAVID KIYOSHI (54) <令和2年4月>			ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月>
兼任	講師	博士(学術)	兼任	講師	博士(学術)	兼任	講師	博士(学術)	兼任	講師	博士(学術)
		英語 I a Raker Vincent ERIC			英語 I a Raker Vincent ERIC			英語 I a Raker Vincent ERIC			英語 I a Raker Vincent ERIC
兼任	講師	(49) <平成30年4月> B. A. (Psychology)(米国)	兼任	講師	(49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	兼任	講師	(50) <平成30年4月> B. A. (Psychology)(米国)	兼任	講師	(51) <平成30年4月> B. A. (Psychology)(米国)
		英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (44)— 《平成30年4月— PhD Cultural Anthropology (米国)—	兼任	講師	ERTL_JOHN_JOSEF -(45)- <平成30年4月> PhD-Gultural Anthropology -(米国)-
		英語Ib			英語 I b			英 語 I b			英語 I b

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (4) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)
		英語 II b 島内 俊彦 (48) <平成30年4月>			英語 II b 島内 俊彦 (48) <平成30年4月>			英語Ⅰb 英語Ⅱb 島内 俊彦 (49) <平成30年4月>			英語 I b 英語 I b 島内 俊彦 -(50) <平成30年月ラ
兼任		学士 (外国研究) 英英斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯	兼任	講師	学士 (外国研究) 英表	兼任	講師	学士 (外国研究) 英語師 I 英夫会話 I 英夫会話 I 英夫母 I 英夫母 I 英夫母 I 英子	禁 (集師	博士 (学術) 英級話 - 英級話 - 英級話 - 英級話 - 英級話 - 英級話 - 英級話 - 英級語 - 英級 - 英級 - 英級 - 英級語 -
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Litterature compar ée) (仏国) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Litterature compar ée) (仏国) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	大竹口 麻里 (55) <平成31年4月> 修士 (フランス語教授法) フランス語 I フランス語 I	兼任	善講師	岩津 航 (44) 〈平成30年4月〉 Doctorat (Littérature comparée) (仏国) フランス語 I フランス語 I
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月 > 修士(文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (50) <平成30年4月> 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	E 講師	名執 純子 (51) <平成30年4月> 修士(文学) ドイツ語 I ドイツ語 I
兼任	講師	南保 英孝 (46) 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎 プログラミング I	兼任	講師	南保 英孝 (46) 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎 プログラミング I	兼任	講師	南保 英孝 (47) 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎 プログラミング I	兼任	詳 師	南保 英孝 (48) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 プログラミング I
兼任	講師	田村 和弘 (61) 〈平成30年4月〉 工学博士 化学入門	兼任	講師	田村 和弘 (61) 〈平成30年4月〉 工学博士	兼任	講師	田村 和弘 (622) 〈平成30年4月〉 工学博士 化学入門	兼任	: 講師	田村 和弘 (636年) 《平成30年4月》 《平成30年4月》 工学博士

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の素字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成30年度】

・ 立野大地助教就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、朴亨原を科目を担当しない助教として採用し、平成30年度第1回AC教員審査に提出(平成30年4月

・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部の専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提

・辻村 真一准教授就任辞退。代わりに兼担教員の藤田 一寿准教授を共通教育科目「情報処理応用B」の担当とする。

【令和元年度】

・専門科目「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」の担当教員として、専任教員の梶原 祐輔准教授を追加。平成31年度第1回AC教員審査に提出(平成31年4月 数昌審香溶)

- 教員番食済)。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の史 金星助教を追加。平成31年度第1回AC教員審査に提出(平成31年4月教員審査済)。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の朴 亨原助教を追加。平成31年度第1回AC教員審査に提出(平成31年4月教員審査済)。 ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加(平成31年1月教員審査済)。 ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。 ・共通教育科目「フランス語I」「フランス語II」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語 I」「フランス語 II」の担当教員を、兼任教員の大竹口 麻里講師から兼任教員の岩津 航講師に変更 ・兼任教員の川畠 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語 Ia」の担当が困難になったため担当教員表から削除。 ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から兼担教員に変更。保有学位を学士(外国研究)から博士(学術)に変更。 ・兼担教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士(文学)に変更。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

- 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況						
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')	
13	4	0	2	19	0	12	3	0	2	17	0	
(9)	(3)	(0)	(2)	(14)	0							
	現在(報告時)の	完成年度時	が状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画		
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')	
13	4	0	2	19	0	13	4	0	2	19	0	
13	4	U			, and			-	_	10	· ·	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入</u>するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

年齡構成										
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B)) の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数								
65	8	8								
歳	名	名								

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 8 47.05 9% 現在(報告時)の状況(B)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の	991 担	当予定科目	1	後任	補充状	況	京	忧任辞退	【未	:就任)の理[± 1	
						必修	テー	マ別基礎も	žミ		1							
						必修	機材	械設計製図	I		1							
						必修	機	械工作実習			1							
١.		D+ #4	- □ □ ₹		1100 10	必修	機械'	電気工学実	験I		1							
	ı	助教	立野	大地	H29. 10	必修	機械'	電気工学実	験Ⅱ		1		H29. 10 他大	大学の教員着任のため就任辞退(2			返(29	,
						必修	課題排	深求プロジェ	クト		1							
						必修	課題	課題研究ゼミナー		1]						
						必修		卒業研究		1]						
				合計	(D)					後任補充状況の集計(E)								
	京	尤任を 辞	退した教	員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	(①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (十数 (c)		
					必	修	8	科目	ļ.	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	1				選	択	0	科目	j	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
				人	自	由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	 	8	科目		計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -2専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員.	氏名	時期	必修・選択・自	109l ‡	旦当予定科目	1	後任	補充状法	況		刮	任等	の理由		
				該当な	L														
					合計	(F)				後任補充状況の集計(G)									
		辞	任	した教員数		担当科目	数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計				†数 (c)					
						必	修	0	科目	ļ.	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
						選	択	0	科目	j	選択	0	科目	選択	0	林田	選択	0	科目
			0		人	自	由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
						ī	+	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任</u>教量についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計					十数 (c)						
		必修	8	科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
1	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	8	科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	1	_	5.26	%
(2)-②設置時の計画(A)	_	19	_	3.20	70

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	骨職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	後任補充状況 辞任等の理由							
			=1 11 1. 1												
			該当なし						-						
			í	計			後任補充状況の集計								
	舌	辛任 l	した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(p) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)					(
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	0			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			λ	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部における専任教員就任辞退者は、開学年度の前期に担当授業科目を有しておらず、学生の履修等への影響は出ていない。 後任については、候補者選を速やかに行い、平成30年4月のAC教員審査で審査を受けている。なお、当該後任については、授業を持たな い専任教員として平成30年4月から採用し、授業の準備等に十分な準備期間を与えることで適切な履修につなげるよう対応を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項	等	履行状況	今後の の実施計画
設置時 (平成29年)	・設置の趣旨を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を		・理事とでして、のように、のように、のように、のように、のように、のないでは、のないでは、のないでは、のないでは、のないでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の	・5月に6年間の計画である。 年間の計画である。 5月に6年間の計画である。 5中)計策定をある。 を画をである。 を画き計でをできまるでは、 を重きででででは、 でのでのではではできる。 を受けるででではできる。 でのでではででは、 でのでではできる。 でのでではできる。 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのでは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのででは、 でのでは、 でのででは、 でのででは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでしいでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの
		留意事項	・向員長もすた・づで始水施・基をにう(・度つるお行物・向員長もすた・づで始水施・基をにう(・度つるお行いの審してを体 ア善工教た。及つ推なや事メ的構 ーや型究活 度つる管。 画ーに教養を ア・ブール でいい でいい でいい でいい でいい でいい でいい でいい でいい でい	・大学の各組織が行う活動 が設置の趣旨・目的を踏ま えた取組となっているのか を、理事長・学長のトップ マネジメントもとに行う進 捗管理の中で確認し、計画 が適切に履行されているの
設置時 (平成29年)	・完成年度の制定を担める場合に、職員がある場合にという。 は、職員がある場合には、職員がある場合には、職員があるには、職員があるには、職員があるには、構動には、構動には、構動には、構動には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	留意事項	・教活を・員を員予(・・積連でい・て行教づ(・・教画教う・員を費動のののもののののののののののののののののののののののののののののののののの	・で策なとをで、

設置計画履行状況調 査 時 (令和元年)	から、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教	指摘事項	・引き続き豊富な経験と業績を持つを行うを行うを行うを行うを行うを行うを行うを行うを引きませる。 きい の おり の で おり の で がらい の で で がらい の で で がらい の で で がらい の で で で がらい の で で がらい で で で がらい で で で で で で がられ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で		・今年度中に、教員採用・ 育成計画のもとに、教員の 公募・育成を行い、適宜A C教員審査に諮っていく。 (令和2年度)
----------------------	--------------------------------	------	--	--	---

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生産システム科学部 生産システム科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定(30年4月)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成31年3月 開催

c 委員会の審議事項等

FD·SDの推進計画の策定、実施に関すること

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 財務システム研修会
 - 公立大学の役割を学ぶ研修会
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会
 - 労働安全衛生に係る研修会
 - 競争的研究資金獲得に向けた研修会
 - ・ 研究倫理研修会 (e-ラーニング)
 - 新任事務職員のための研修会
 - 授業方法に係る研修会
 - 研究計画調書の作成に係る研修会
 - 救命講習会

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。 全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 財務システム研修会(30年4月、31年4月) 教員・事務職員対象 全員受講
 - ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会(30年7月、元年7月) 教員・事務職員対象 88人参加
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会(30年8月、元年8月)教員・入試関連事務職員対象 62人参加
 - ・ 労働安全衛生に係る研修会(31年2月) 教員・事務職員対象 66人参加
 - ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会(31年3月) 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
 - ・ 研究倫理研修会(e-ラーニング) 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
 - ・ 新任事務職員のための研修会(30年4月~10月、31年4月~10月) 新任事務職員対象 11人参加
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月)
 - 授業方法に係る研修会(元年7月) 教員対象 74人参加
 - ・ 研究計画調書の作成に係る研修会(元年9月) 教員対象 60人参加
 - · 救命講習会(元年9月) 教員·事務職員対象 全員受講
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
 - ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月、元年12月)
 - ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している (前期・後期終了後)
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。 該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる 法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受ける こととなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

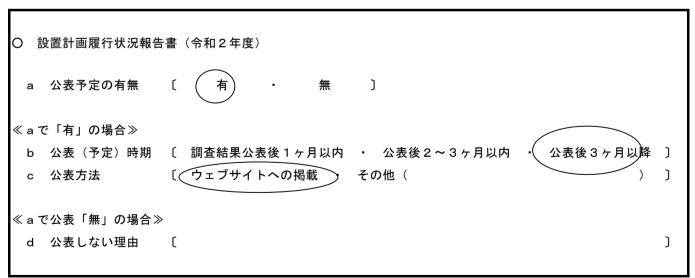
職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく 環境を引き続き整えていきたい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和2年6月 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和2年6月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・学内で検討を行っている。
 - (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項



※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

- (2) 大 学 名 公立小松大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921 石川県小松市土居原町10-10 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(イシダ ヒロト)		
理 事 長	石田 寛人		
	(現職就任30年4月)		
	(ヤマモト ヒロシ)		
学 長	山本 博		
	(現職就任30年4月)		
	(キタオカ カズヨ)		
学 部 長	北岡 和代		
	(現職就任30年4月)		
	(キタオカ カズヨ)		
学科長等	北岡 和代		
	(現職就任30年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 - 令和2年度に報告する内容 → (2)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関 係(看護学関 係及びリアーション 関係を除 く。)	4年	50人	年次 一	200人	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分	春季入学 その他の学	期 春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	J用 ~5
	一人	\	50人 —人	50人 —人	50人 —人			
A 入学定員	(—) [—]	(—) [—]	(-)	(—)	(—)			
志願者数	 (_) (_ [_] [_		562 (—) (—) [—] [—]	395 (_) (_) [_] [_]	323 (_) (_) [_] [_]			
受験者数	(-) (-) (-) (- :	448 (—) (—) [—] [—]	223 (—) (—) [—] [—]	185 (—) (—) [—] [—]	1. 02倍	— 倍	
合格者数	(-) (- [-] [-) (-) (-)	129 (-) (-) [-] [-]	56 (—) (—) [—] [—]	65 (—) (—) [—] [—]			
B 入学者数	(-) (-) (-) [-]		53 (-) (-) [-] [-]	50 (—) (—) [—] [—]	51 (—) (—) [—] [—]			
入学定員超過率 B/A	_		1.06	1	1. 02			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
 - <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 <u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	備		
学	年	春季入学	その他の学期		-7-									
		_	_	_	_	53	_	50	_	51	_			
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
		(-)	(-)	(–)	(—)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
				1	1	1	1	53	_	50	1			
	2年次			[-]	[-]	[—]	[-]	[-]	[-]	[-]	[—]			
				(—)	(—)	(-)	(—)	(-)	(-)	(-)	(-)			
						_	_	_	_	53	_			
	3年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
								_	_	_	_			
	4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]			
								(-)	(-)	(-)	(-)			
						5	3	10	03	15	54			
	計	[–	-]	[–	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]			
		(-	_)	(-	_)	(-	_)	(-	_)	(-	_)			

- ・令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i}}$ 当がない年には「-」を記入
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	(B) Totalist lac)
平成28年度	一 人	一 人	平成28年度	一人	一 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	一人	一 人	
十成29千度	_ ^		平成29年度	一人	一 人	
			平成28年度	一 人	一 人	
平成30年度	53 人	0 人	平成29年度	一 人	一 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成28年度	一人	一人	
令和元年度	103 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			平成28年度	一 人	一 人	
			平成29年度	一 人	一 人	
令和2年度	154 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学 •海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 家庭の事情・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)

【平成28年度】

#VALUE! 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) **#VALUE!** 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

〈保険医療学部 看護学科〉

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

単位数 専任教員等の配置 任 科目 区分 当年次 授業科目の名称 必 選 自 淮 教 キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 Ⅱ 1前 3 1 1 1 1 アカテ゛ミック・スキルス゛ 1前 1 11 テーマ別基礎ゼミ 1後 2 5 3 1 1 科 情報処理基礎 1前 2 6 目 南加賀の歴史と文化 1後 2 1 小計(5科目) 8 0 0 4 1 2 1 24 哲学 1前 2 1 心理学 1前 2 1 人間の発達と心 1前 2 1 般 日本の伝統芸能 1前 2 科 1 目 人文地理学 1後 2 1 人間 1後 文化人類学 2 1 医療と文化 1後 2 カ 文章表現法 1後 2 言葉と文化 1後 2 小計(9科目) 0 18 0 0 0 0 0 8 日本産業史 1前 2 4 自然資源と 環境問題 1前 2 般 経済学 1前 2 2 目 政治学 1後 2 2 社会学 1後 通教育科 2 1 社 公共政策論 1後 2 力 社会福祉論 1後 2 日本国憲法 1前 2 小計(8科目) 0 16 0 0 0 0 0 0 13 データ科学と社会 1前 2 3 情報処理応用A 1後 2 2 情報処理応用B 1後 2 般 1 クリティカル 1後 2 目 統計学 1前 2 2 科 教養としての物理 学 1前 2 2 ъ 教養としての数学 1後 2 2 現代科学技術論 1前 5 小計(8科目) 0 16 0 0 0 0 0 0 14 健康と体の科学 1前 2 1 スポーツ演習 (バレーボール) 船 科 スポーツ演習 (硬式テニス) 目 1前 1 スポーツ演習 健 (フットサル) なと体 スポーツ演習 1後 1 (卓球) 力 スポーツ演習 前 後 (バドミントン) 小計(6科目) 7 0 1 0 0 0 2 0 0

【令和2年度】

			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
	導	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								11
	入科	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3		2			5
	目	情報処理基礎	1前	2								8
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	-	8	0	0	4	0	3	1	0	26
		哲学	1前		2							1
	_	心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科 目	日本の伝統芸能	1前		2							1
	· ·	人文地理学	1後		2							1
	人	文化人類学	1後		2							1
	間 力	医療と文化	1後		2							1
	· ·	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	_	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史	1前		2							4
	— 般	自然資源と 環境問題	1前		2							1
	科	経済学	1前		2							2
共	目	政治学	1後		2							2
通	社	社会学	1後		2							1
教	会	公共政策論	1後		2							1
育科	カ	社会福祉論	1後		2							1
目		日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13
		データ科学と社会	1後		2							3
	_	情報処理応用A	1後		2							2
	般	情報処理応用B	1後		2							1
	科 目	クリティカル シンキング	1後		2							1
		統計学	1後		2							2
	科 学	教養としての物理	1前		2							2
	Д	教養としての数学	1前		2							2
)	現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	_	0	16	0	0	0	0	0	0	14
		健康と体の科学	1前		2		1					1
	— 般	スポーツ演習 (バレーボール)	1前· 後		1							1
	科 目	スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1							1
	健康	スポーツ演習 (フットサル)	1前· 後		1							1
	康 と 体	スポーツ演習	1後		1							1
	力)	スポーツ演習 (バドミントン)	1前・ 後		1							1
		小計(6科目)	_	0	7	0	1	0	0	0	0	2

			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		英語Ia	1前	2								5
		英語Ib	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語皿	1後		2							1
		英会話I	1後		2							1
	英語	英会話Ⅱ	1後		2							1
	科 目	実用英語I	1前・			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・ 後			2						1
共通		実用英語Ⅲ	1前・ 後			2						1
教育科		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
Ħ		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	11
l		中国語 I	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
	そ	フランス語 I フランス語 II	1前 1後		2							1
	の他	ブランス語ュ ドイツ語 I	1仮 1前		2							1
	外	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	国語	ロシア語 I	1前		2							1
	科	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
	目	スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	_	0	20	0	0	0	0	0	0	5
	人	解剖学	1前	2								1
	の	生理学	1前	2								1
	身 _ 体	病理学 心の健康と	1前	2								1
	투 F E	ストレスマネジメント	1前	1			2					
	ジを	感染免疫学	1後	2								1
	知	栄養·生化学	1後	2								2
	るス	薬理学 小計(7科目)	1後	2		•	_	_	_	_		1
専門		認知症ケア論	1後	13	0	0	1	0	0	0	0	5
基礎	人 の 健	老年疾病・治療論	2前	1			'					1
科目	康	公衆衛生学	2前	1								1
ľ	問題	急性疾患論	2前	1								1
	題を考	母子疾病· 治療論	2前	2								1
	え る	生活習慣病論	2後	2								1
	ステ	保健医療福祉 法制度論	2後	2								1
	リージ	疫学•保健統計学	2後	2			1	L				
		小計(8科目)	_	12	0	0	2	0	0	0	0	6
	看	市民健康論	1前	1			3					
	護	看護学概論	1後	1			2					
	とは	基礎看護実習 I 看護の技	1後	1			2			3		
	何	基礎コース I (療	2前	2			2					
専	か を	養 上の世話)	- 41									
門科目	理 解	上の世話) 看護の技 基礎コース II (フィ ジカルアセスメン	2前	1			2					
	するス	ト) 看護の技基礎コー ス皿(診療の補助)	2後	2			2					
	テージ	看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1			1					

			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		英語 I a	1前	2								6
		英語Ib	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後 1後	2								4 5
		英語 II b 英語 II	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
	英	英会話Ⅱ	1後		2							1
	語 科 目	実用英語 I	1前・ 後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・ 後			2						1
共通		実用英語亚(未開講)	1前・ 後			2						1
教育科		実用英語Ⅳ(未開講)	1前・ 後			2						1
Ħ		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	10
		中国語 I 中国語 I	1前 1後		2							1
		中国語 1 フランス語 I	1伎 1前		2							1
	その	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	他	ドイツ語 I	1前		2							1
	外 国	ドイツ語 Ⅱ	1後		2							1
	語	ロシア語 I	1前		2							1
	科目	ロシア語 Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 II	1後	_	2		_	_		_		1
		小計(10科目) 解剖学	1 ##	0	20	0	0	0	0	0	0	5
	人の	生理学	1前 1前	2								1
	身	病理学	1後	2								1
	テ体と	心の健康と ストレスマネジメント	1前	1			2					
	い心	感染免疫学	1後	2								1
	を知	栄養·生化学	1後	2								2
	るス	薬理学	1後	2								1
専		小計(7科目)	_	13	0	0	2	0	0	0	0	5
門 基 礎	人の	認知症ケア論 老年疾病・	1後 2前	1			1					2
科	健	治療論	2前									
目	康問	公衆衛生学急性疾患論	2削 2前	1								1
	題を考	母子疾病・治療論	2前	2								1
	え	生活習慣病論	2後	2								1
	る ス テ	保健医療福祉 法制度論	2後	2								1
	リジ	疫学·保健統計学	2後	2			1					
		小計(8科目)	_	12	0	0	2	0	0	0	0	7
	看	市民健康論	1前	1			3					
	護	看護学概論	1後	1			2					
	とは	基礎看護実習 I 看護の技	1後	1			2			3		
	何	基礎コース I (療養	2前	2			2					
専門科	か を 理	後 上の世話) 看護の技 基礎コース II (フィ										
科目	解 す る	ジカルアセスメン ト)	2前	1			2					
	ステ	看護の技基礎コース皿(診療の補助)	2後	2			2					
	ジ	看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1			1					
			_	•			•					_

	科目		配当	į	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任
	区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	l	看護の品格育成論	2前	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	手	担
	看護	看護倫理	2削 2前	1			1					
	ځ	基礎看護実習 Ⅱ	2後	2			2			3		
	は 何 か	精神保健看護学 概論	2前	1			1					
	が を 理	精神保健看護ケア 提供論	2前	2			1					
	解 す	精神保健看護演習	2後	1			1					
	るス	精神保健看護 実習 I	2後	1			1			2		
	テージ	精神保健看護 実習 Ⅱ	3通	1			1			2		
		小計(15科目)	_	19	0	0	7	0	0	5	0	0
		老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア 提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習 I	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習 Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
	看	成人看護 ケア提供論	2前	2			1	1				
	護	成人看護演習	3前	3			1	1				
	ケ ア 能	成人看護実習 I (急性)	3通	2			1	1	1	1		
	力を	成人看護実習Ⅱ (慢性)	3通	2			1	1	1	1		
	育てっ	成人看護実習Ⅲ (回復·維持)	3通	2			1	1	1	1		
専	るス	母性看護学概論	2前	1			1					
門科	テー	母性看護ケア提供論	2前	1			1					
目	ジ	母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護実習	3前	2			1					
		小児看護実習 I	2後	1			1					
		小児看護実習 Ⅱ	3通	1			1				2	
		小計(20科目)		32	0	0	4	1	2	3	3	0
		在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
	看	在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
	護	看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
	ケア	公衆衛生看護学 概論	2後	1			1					
	能力	健康教育論	2後	1			1			1		
	を 拡	公衆衛生看護 方法論 I (対象別)	3後		1		1					
	げる	公衆衛生看護 方法論 II (公衆衛生看	3後		1		1					
	るステージ	護技術) 公衆衛生看護 方法論皿(学校・	4前		2		1	1				
		産業・災害) 公衆衛生看護 方法論IV(地域看護診 断)	4前		1		1	1				
		公衆衛生看護 方法論 V (健康診査・家 庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				

	科目		配当	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
	区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
\vdash		看護の品格育成論	2前	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	手	担
	看 護	看護倫理	2前	1			1					
	ے اد	基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3		
	何か	精神保健看護学 概論	2前	1			1					
	を 理	精神保健看護ケア 提供論	2前	2			1					
	解す	精神保健看護演習	2後	1			1					
	るステ	精神保健看護 実習 I	2後	1			1			2		
	リージ	精神保健看護 実習 Ⅱ	3通	1			1			2		
		小計(15科目)	١	19	0	0	7	0	0	5	0	0
		老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア 提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	3前	2			1		1			
		老年看護実習 I	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
	看	成人看護 ケア提供論	2前	2			1	1				
	護	成人看護演習	2後	3			1	1				
	ケア能	成人看護実習 I (急性)	3通	2			1	1	1	1		
	カ を	成人看護実習 II (慢性)	3通	2			1	1	1	1		
	育て	成人看護実習Ⅲ (回復·維持)	3通	2			1	1	1	1		
車	るス	母性看護学概論	2前	1			1					
門	テー	母性看護ケア提供論	2前	1			1					
科目	ジ	母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1		1		2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護実習	3前	2			1					
		小児看護実習 I	2後	1			1					
		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2	
		小計(20科目)	_	32	0	0	4	1	3	3	3	0
		在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア 提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
		在宅看護実習	3通	2			1				1	
	看 護	看護統合実習	4前	2			8	1	4	8	4	
	ケア	公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
	能力	健康教育論	2後	1			1			1		
	を拡	公衆衛生看護	3後		1		1			•		
	げる	方法論 I (対象別) 公衆衛生看護 方法論 II (公衆衛生看	3後		1		1					
	ステージ	護技術) 公衆衛生看護 方法論皿(学校・	4前		2		1					
	ジ	産業・災害) 公衆衛生看護 方法論IV(地域看護診	4前		1		1		1			
		断) 公衆衛生看護 方法論 V (健康診査・家 庭訪問・健康教育)	4前		2		1		1			

	科目		WAN DOOR	配当	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
	区分		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
L.,					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
			疫学·保健統計学 演習	3後		2		1					
			公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		
			小計(15科目)	-	10	15	0	10	2	4	9	4	0
			安全・安楽な ポジショニングの技	4前		1		1					
		看	排便ケア	4前		1		1					
		護熟	看護リーダー	4前		1		1					
	看	練	食と看護	4後		1		1					
	護の	の技	タッチケア・スキル	4後		1		1					
	未	,~	ノンテクニカル・ スキル	4後		1		1					
車	来を		MMPI心理検査と 看護ケア	4後		1		1					
門	共	看	グローバル感染対策 看護技術の科学的	4前		1		1					
科目	創す	護未	有護技術の科学的 検証 地域の健康課題と	4前		1		1					1
	る	来	多職種連携	4前		1		1					
	ス	創	統合医療	4後		1			1				
	テー	出	地域包括ケア	4後		1		1					
	ジ		チーム医療論	4前		2							2
			看護と異文化理解	4通		2		1					
			研究方法論	4前	2			1					
			卒業研究	4通	4			10	2				
			小計(16科目)	ì	6	16	0	10	2	0	0	0	3
		合計	(138科目)	ı	108	114	8	10	2	0 0 0 0 4 9 4			68

共通教育科目(計31単位以上)

(1)導入科目 必修8単位(2)一般科目

卒業要件及び履修方法

2 専門基礎科目(計25単位)

(1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位

3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上

以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位 以上

-※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上

4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)

	科目		WAN DOOR	配当	Ě	单位数	女	専	任教] 員等	の配	置	兼 任
	区分		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
			疫学·保健統計学 演習	3後		2		1					
			公衆衛生看護実習	4通		5		1		1	1		
			小計(15科目)	-	10	15	0	10	1	5	9	4	0
			安全・安楽な ポジショニングの技	4前		1		1					
		看	排便ケア	4前		1		1					
		護熟	看護リーダー	4前		1		1					
	看	練	食と看護	4後		1		1					
	護の	の技	タッチケア・スキル	4後		1		1					
	未	•	ノンテクニカル・ スキル	4後		1		1					
車	来を		MMPI心理検査と 看護ケア	4後		1		1					
門	共	看	グローバル感染対策	4前		1		1					
科目	創す	護未	看護技術の科学的検証の健康課題と	4前		1		1					1
H	する	来	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1		1					
	ス	創	統合医療	4後		1			1				
	テー	出	地域包括ケア	4後		1		1					
	ジ		チーム医療論	4前		2							2
			看護と異文化理解	4通		2		1					
			研究方法論	4前	2			1					
			卒業研究	4通	4			10	1				
			小計(16科目)	1	6	16	0	10	1	0	0	0	3
		合計	(138科目)	-	108	114	8	10	1	5	9	4	71

卒業要件及び履修方法

1 共通教育科目(計31単位以上)

(1)導入科目 必修8単位(2)一般科目

2 専門基礎科目(計25単位)

(1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位

3 専門科目(計71単位以上)

3 専門科目(計77単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上

以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位

· ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上

4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)

【令和元年度】

		平成30年度』	配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
	導 入	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								11
	科	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3	1	1			5
	目	情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文化 小計(5科目)	1後	8	0	0	4	1	2	1	0	1 24
		哲学	1前		2		Ė	Ė	_			1
		心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科 目	日本の伝統芸能	1前		2							1
	^	人文地理学	1後		2							1
	人間	文化人類学 医療と文化	1後 1後		2							1
	ъ	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	_	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史	1前		2							4
	_	自然資源と 環境問題	1前		2							1
	般 科	経済学	1前		2							2
	目	政治学	1後		2							2
	社	社会学	1後		2							1
	会力	公共政策論	1後		2							1
	Ü	社会福祉論日本国憲法	1後 1 後		2							1
		小計(8科目)	- I	0	16	0	0	0	0	0	0	13
共		データ科学と社会	1後	_	2	Ť	_	Ť	_	_	Ť	3
通教	_	情報処理応用A	1後		2							2
育科	般	情報処理応用B	1後		2							1
目	科 目	クリティカル シンキング	1後		2							1
	科	統計学	1後		2							2
	学 力	教養としての物理	1前		2							2
	3	教養としての数学 現代科学技術論	1前		2							2 5
		小計(8科目)	1前 一	0	2 16	0	0	0	0	0	0	14
	_	健康と体の科学	1前		2		1					1
	般	スポーツ演習 (バレーボール)	1前・ 後		1							1
	科 目	スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1							1
	健康	スポーツ演習 (フットサル)	1前・ 後		1							1
	康と	スポーツ演習(卓	1後		1							1
	体 力	球) スポーツ演習	1前・		1							1
	Ü	(バドミントン) 小計(6科目)	後	0	7	0	1	0	0	0	0	2
		英語Ia	1前	2	,	J	H	J			J	5
		英語 I b	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2	_							4
	英	英語Ⅲ 英会話 I	1後 1後		2							1
	語 科	英会話 I	伎 後		2							1
	Ħ	実用英語 I	1前・		_	2						1
		実用英語Ⅱ	俊 1前・ 後			2						1
		実用英語皿	1前・ 後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・ 後			2						1
		小計(11科目)	_	8	6	8	0	0	0	0	0	11

	e =		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・	1前	1			1		1	1		3
	冶	チーム論 II	· 81	'			'		'	'		١
	導 入	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								11
	科	テーマ別基礎セミ	1後	2			3		1			5
	目	情報処理基礎 南加賀の歴史と文化	1前	2								8
		小計(5科目)	1後	8	0	0	4	1	2	1	0	1 26
		哲学	1前		2		7	•		_	0	1
		心理学	1前		2							1
	— 般	人間の発達と心	1前		2							1
	科	日本の伝統芸能	1前		2							1
	目	人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
	間	医療と文化	1後		2							1
	カ	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	_	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史	1前		2							4
	_	自然資源と 環境問題	1前		2							1
	般	^{採児问起} 経済学										
	科 目	経済字 政治学	1前		2							2
	^	政冶字 社会学	1後 1後		2							2
	社 会	公共政策論	1仮 1後		2							1
) j	社会福祉論	1後		2							1
	$\overline{}$	日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	_	0	16	0	0	0	0	0	0	13
共		データ科学と社会	1後	Ť	2		_				-	3
通教		情報処理応用A	1後		2							2
育	— 般	情報処理応用B	1後		2							1
科目	科	クリティカル										
	目	シンキング	1後		2							1
	科	統計学	1後		2							2
	学 力	教養としての物理	1前		2							2
	~	教養としての数学	1前		2							2
		現代科学技術論 小計(8科目)	1前 一	0	2 16	0	0	0	0	0	0	5 14
				Ľ		U		U	U	U	U	
	_	健康と体の科学	1前		2		1					1
	般 科	スポーツ演習 (バレーボール)	1前· 後		1							1
	目	スポーツ演習	1前		1							1
	健	(硬式テニス) スポーツ演習	1前・									
	康	(フットサル)	後		1							1
	と 体	スポーツ演習 (卓球)	1後		1							1
	1 4 力	スポーツ演習	1前・		1							1
)	(バドミントン)	後	_		_	1	0	0	0		
		小計(6科目)	1 ====	0	7	0	1	0	0	0	0	2
		英語 I a 英語 I b	1前 1前	2								6 3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
	++	英語皿	1後		2							1
	英語	英会話 I	1後		2							1
	科	英会話 II	1後		2							1
	目	実用英語 I	1前· 後			2						1
		実用英語 Ⅱ	1前・			2						1
		実用英語Ⅲ(未開講)	1前・			2						1
		実用英語IV(未開講)	1前・ 後			2						1
		小計(11科目)	_	8	6	8	0	0	0	0	0	12
		<u></u>										

	科目		配当	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
	区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
-		中国語 I	1 #	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		中国語Ⅱ	1前 1後		2							1
		ア国品 エ フランス語 I	1前		2							1
ш	その	フランス語Ⅱ	1後		2							1
共通	の他	ドイツ語 I	1前		2							1
教	外	ドイツ語 I	1後		2							1
育科	国語	ロシア語 I	1前		2							1
目	科	ロシア語 II	1後		2							1
	目	スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	_	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2								1
	知の	病理学	1後	2								1
	るステ	心の健康と ストレスマネジメント	1前	1			2					
	-	論 感染免疫学	1後	2								1
	- 心 ジを	栄養·生化学	1後	2								2
		薬理学	1後	2								1
専		小計(7科目)		13	0	0	2	0	0	0	0	5
門基礎		認知症ケア論 老年疾病・ 治療論	1後 2前	1			1					1
科目		公衆衛生学	2前	1								1
	考人えのる健	急性疾患論	2前	1								1
	ス康テ問	母子疾病• 治療論	2前	2								1
	ー 題 ジを	生活習慣病論	2後	2								1
		保健医療福祉 法制度論	2後	2								1
		疫学·保健統計学	2後	2			1					
		小計(8科目)	_	12	0	0	2	0	0	0	0	6
		市民健康論	1前	1			3					
		看護学概論	1後	1			2					
		基礎看護実習 I	1後	1			2			3		
		看護の技基礎コース I (療養上の世話) 看護の技基礎コース II	2前	2			2					
	看	看護の技基礎コース II (フィジカルアセスメント) 看護の技基礎コー	2前	1			2					
	護 と は	る	2後	2			2					
専	何 か	看護理論と看護過程 看護の品格育成論	2前	1			1					
門科	を理	看護倫理	2前 2前	1			2					
Ħ	解す	基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3		
	る ス	精神保健看護学概論	2前	1			1					
	テ ジ	精神保健看護ケア 提供論	2前	2			1					
		精神保健看護演習	2後	1			1					
		精神保健看護 実習 I	2後	1			1			2		
		精神保健看護 実習 II	3通	1			1			2		
<u> </u>		小計(15科目)	_	19	0	0	7	0	0	5	0	0

	科目		配当	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教]員等	の配	置	兼任
	区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
		中国語 I	1前	198	2	н	按	按	EIII	叙	+	1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
	7.	フランス語 I	1前		2							1
共	その	フランス語 Ⅱ	1後		2							1
通	他	ドイツ語 I	1前		2							1
教育	外 国	ドイツ語 Ⅱ	1後		2							1
科	語	ロシア語 [1前		2							1
目	科目	ロシア語 Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	_	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		解剖学	1前	2								1
	加人	生理学	1前	2								1
	知の	病理学 心の健康と	1後	2								1
	知るステーへの身体とな	ストレスマネジメント 論	1前	1			2					
	1 と 3 心	感染免疫学	1後	2								1
	ジを	栄養·生化学	1後	2								2
		薬理学	1後	2								1
専		小計(7科目)	_	13	0	0	2	0	0	0	0	5
門基		認知症ケア論 老年疾病・	1後	1			1					
礎科		治療論	2前	1								2
目	考人	公衆衛生学	2前	1								1
	えの る健	急性疾患論	2前	1								1
	ス康テ問	母子疾病· 治療論	2前	2								1
	題 ジを	生活習慣病論	2後	2								1
		保健医療福祉 法制度論	2後	2								1
		疫学・保健統計学	2後	2			1					
		小計(8科目)	_	12	0	0	2	0	0	0	0	7
		市民健康論	1前	1			3					
		看護学概論	1後	1			2					
		基礎看護実習 I 看護の技	1後	1			2			3		
		基礎コース I (療養 上の世話) 看護の技	2前	2			2					
	看	基礎コース II (フィジカ ルアセスメント)	2前	1			2					
	護と	看護の技基礎コー スⅢ(診療の補助)	2後	2			2					
	は 何	看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1			1					
専門	か を ^理	看護の品格育成論	2前	1			2					
科日	理解	看護倫理	2前	1			1					
目	すっ	基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3		
	るステ	精神保健看護学 概論	2前	1			1					
	ノ ジ	精神保健看護ケア 提供論	2前	2			1					
		精神保健看護演習	2後	1			1					
		精神保健看護 実習 I	2後	1			1			2		
		精神保健看護 実習 Ⅱ	3通	1			1			2		
		小計(15科目)	_	19	0	0	7	0	0	5	0	0

	科目		配当	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
	区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准	講	助	助	兼
			Λ.	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
		老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア 提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習 I	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1		·	'		
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
	看護ケア	成人看護演習	3前	3			1	1				
	ア 能 カ	成人看護実習 I (急性)	3通	2			1	1	1	1		
	を 育 て	成人看護実習 II (慢性)	3通	2			1	1	1	1		
	るステ	成人看護実習Ⅲ (回復·維持)	3通	2			1	1	1	1		
	リジ	母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
_		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
専門		小児看護実習	3前	2			1					
科		小児看護実習 I	2後	1			1					
目		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2	
		小計(20科目)	_	32	0	0	4	1	2	3	3	0
		在宅看護学概論 在宅看護ケア	2後	1			1					
		提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1				١.	
		在宅看護実習看護統合実習	3通	2			1	1	3	۰	1	
		公衆衛生看護学	4前 2後	1			8	1	3	8	4	
	看	^{概論} 健康教育論	2後	1			1			1		
	護 ケ	公衆衛生看護	3後		1		1					
	ア 能 カ	方法論 I (対象別) 公衆衛生看護 方法論 II (公衆衛生看護技術)	3後		1		1					
	を 拡 げ	公衆衛生看護 方法論Ⅲ(学校・ 産業・災害)	4前		2		1	1				
	るステー	公衆衛生看護 方法論IV(地域看護診 断)	4前		1		1	1				
	ジ	公衆衛生看護 方法論♥(健康診査・家 庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
		疫学·保健統計学 演習	3後		2		1					
		公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		
		小計(15科目)	-	10	15	0	10	2	3	9	4	0

Ī				配	È	单位数	枚	専	任教	員等	の配	置	兼任
		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
ŀ			老年看護学概論	2前	1	1/(Щ	1	18	l lid	47		
			老年看護ケア 提供論	2前	1			1					
			老年看護演習	3前	2			1		1			
			老年看護実習I	3通	2			1		1	1		
			老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
			成人看護学概論	2前	1			1				·	
			成人看護 ケア提供論	2前	2			1	1				
		看 護 ケ	成人看護演習	2後	3			1	1				
		ア 能 カ	成人看護実習 I (急性)	3通	2			1	1	1	1		
		を 育 て	成人看護実習 II (慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		るステー	成人看護実習Ⅲ (回復·維持)	3通	2			1	1	1	1		
		リッジ	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護ケア提供論	2前	1			1					
			母性看護演習	3前	2			1					
			母性看護実習	3通	2			1				2	
			小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護ケア提供論	2前	1			1					
	専門		小児看護実習	3前	2			1					
	科		小児看護実習 I	2後	1			1					
	目		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2	
			小計(20科目)	_	32	0	0	4	1	2	3	3	0
			在宅看護学概論	2後	1			1					
			在宅看護ケア 提供論	2後	1			1					
			在宅看護演習	3前	2			1					
			在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
			看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
			公衆衛生看護学 概論	2後	1			1					
		看 護	健康教育論	2後	1			1			1		
		ケア	公衆衛生看護 方法論 I (対象別)	3後		1		1					
		能 力 を	公衆衛生看護 方法論Ⅱ(公衆衛生看 護技術)	3後		1		1					
		拡げる	公衆衛生看護 方法論Ⅲ(学校・ 産業・災害)	4前		2		1	1				
		ステー	公衆衛生看護 方法論IV(地域看護診 断)	4前		1		1	1	1			
		ゔ	公衆衛生看護 方法論 V (健康診査・家 庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1	1			
			公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
			疫学·保健統計学 演習	3後		2		1					
- [公衆衛生看護実習	4通		5		1	1	1	1		
L			小計(15科目)	_	10	15	0	10	2	4	9	4	0

	科目		WAN BOOK	配当	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教] 員等	の配	置	兼 任
	区分		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			安全・安楽な ポジショニングの技	4前		1		1					
		看	排便ケア	4前		1		1					
		護	看護リーダー	4前		1		1					
		熟練	食と看護	4後		1		1					
	看=#	の	タッチケア・スキル	4後		1		1					
	護の未	技	ノンテクニカル・ スキル	4後		1		1					
専	木来を		MMPI心理検査と 看護ケア	4後		1		1					
門	共	_	グローバル感染対策	4前		1		1					
科目	創す	看 護·	看護技術の科学的 検証	4前		1		1					1
	るス	未来	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1		1					
	テー	創出	統合医療	4後		1			1				
	ージ		地域包括ケア	4後		1		1					
			チーム医療論	4前		2							2
			看護と異文化理解	4通		2		1					
			研究方法論	4前	2			1					
			卒業研究	4通	4			10	2				
			小計(4科目)	-	6	16	0	10	2	0	0	0	3
		合計	(138科目)	-	108	114	8	10	2	3	9	4	68

卒業要件及び履修方法

- 1 共通教育科目(計31単位以上)
- · 八四秋月14日(日)31年 (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目

人間カ6単位以上、社会カ4単位以上、科学カ4単位以上、健康と体カ1単位以上

- (3)英語科目 必修8単位
- 2 専門基礎科目(計25単位)
- (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位
- 3 専門科目(計71単位以上)

- 3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位
- (4) 看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上
- 以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位
 - . ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上
- 4 履修科目の登録の上限

48単位(年間)

	科目		授業科目の名称	配当	Ì	单位数	枚	専	任教	損等	の配	置	兼任
	区分		授条件日の石が	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			安全・安楽な ポジショニングの技	4前		1		1					
		看	排便ケア	4前		1		1					
		護	看護リーダー	4前		1		1					
		熟練	食と看護	4後		1		1					
	看	かの	タッチケア・スキル	4後		1		1					
	護の未	技	ノンテクニカル・ スキル	4後		1		1					
専	木来を		MMPI心理検査と 看護ケア	4後		1		1					
門門	共		グローバル感染対策	4前		1		1					
科目	創す	看護	看護技術の科学的 検証	4前		1		1					1
	るス	未来創	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1		1					
	テー	出出	統合医療	4後		1			1				
	ージ		地域包括ケア	4後		1		1					
			チーム医療論	4前		2							2
			看護と異文化理解	4通		2		1					
			研究方法論	4前	2			1					
		卒業研究		4通	4			10	2				
	小計(4科目)		-	6	16	0	10	2	0	0	0	3	
		合計	(138科目)	1	108	114	8	10	2	4	9	4	72

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計31単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目

、 人間カ6単位以上、社会カ4単位以上、科学カ4単位以上、健康と体カ1単位以上

- (3)英語科目 必修8単位
- 2 専門基礎科目(計25単位)
- (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位
- 3 専門科目(計71単位以上)
- 3 専門科目(計7)単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位

- (4) 看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上
- 以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位
- . ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上
- 4 履修科目の登録の上限
- 48単位(年間)
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度とフレスで BLA している。
 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更(授業科目表上は変更なし)。 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 (30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当)

- (30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当) 兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目(一般科目(科学力))における学生の授業履修の調整を行うため、 「教養としての教学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。 ・1年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 (当初1年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで 病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため1年後期に病理学を配置変更した。)

【令和元年度】

・教育効果の向上を図るため、「老年看護演習」の開講時期を「2後」から「3前」に変更し、「成人看護演習」の開講時期を「3前」から「2後」に変更(「成人看護演習」を先に学ぶことにより、「老年看護演習」のより効果的な教育を実施できるため)。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加

- ・共通教育科目「南報処理基礎」の担当教員として、兼担教員のが「予原助教を追加 ・共通教育科目「英語[a] の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加 ・兼任教員の亀田 正二講師の担当科目から専門科目「急性疾病論」を削除し、専門科目「老年疾病・治療論」を追加 ・専門科目「急性疾患論」の担当教員に、兼任教員の吉田 豊講師を追加 ・伊藤 尚子講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論IV(地域看護診断)」「公衆衛生看護方法論V(健康診 査・家庭訪問・健康教育)」「公衆衛生看護実習」の担当教員に追加。

【令和2年度】

・専任教員の日下 納子准教授の退職にともない、専門科目「テーマ別基礎ゼミ」「在宅看護実習」「公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災 害)」「公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)」「公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)」「公衆衛生看護実習」「卒業研 害)」

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画				変更	更状況					備考
必修	選択	自由	計(A)	必作	多	選挑	R	É	由	計	ŀ	1
68 科目	66 科目	4 科目	138 科目	68 [科目	66	科目	4	科目	138	科目	

(注) · <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位	型 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	スポーツ演習(硬式テ ニス)		1 1	一般	選択	前期のみ開講の科目であり、新型コロナ ウイルス感染症対策のため不開講とし た。代替措置は無し。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - <u>履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。</u>
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「スポーツ演習(硬式テニス)」そのものの代替措置は無いものの、同科目の属する科目区分『一般科目(健康と体力)』の卒業要件(1単位以上)については、前期に開講する「健康と体の科学」のほか、後期に開講する「スポーツ演習(バレーボール)」「スポーツ演習(フットサル)」等でも満たすことが出来るため学生の履修への影響は少ないものと考えられる。

学生へは,「スポーツ演習(硬式テニス)」が本年度不開講となる旨,学内掲示板および本学ポータ ルサイト『ユニバーサルパスポート』において周知した。

今後の新型コロナウイルスの収束状況によっては上記の科目も不開講とする可能性はあり得るものの、原則として上記の科目を履修することにより学生が卒業要件を満たすことを想定している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 1

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 138

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内						容			備考
(1)		区	分		専		用	共	用		-	用する 校等の				計	
+		校台	小	t.		18,	962.05 m²			m³		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		mi		18, 962. 05 m²	
校		運動	場用地	1		14, 2	271.00 m²			mi				mi		14, 271. 00 m²	末広キャンパス 借用面積:3,676 ㎡
地		小	吉	t		33,	233. 05 m²			m²				mî		33, 233. 05 m²	借用期間:25年
等		そ	の他	1		8, 2	251. 28 m²			m				m²		8, 251. 28 m ²	
þ		合	計	†		41,	484. 33 m²			m²				m [*]		41, 484. 33 m²	
					専		用	共	用		-	ŧ用する ⋭校等の				計	中央キャンパス賃貸借 部分増加(1階)に伴
(2) 校	<u>.</u>		舎		·		, 395. 39m² 5 m²)	(3.64	0m (3, 644. 67 m²)			926 4				16, 395. 39㎡ 27. 09㎡)	う校舎面積の増加(2) 末広キャンパス 借用面積:930㎡ 借用期間:25年 中央キャンパス
					(4, 0	,00. 0	0 1117	(0, 0-	(3, 644. 67 m²) (4, 926. 47 m²)						,10, 1	27. 001117	借用面積:4, 107㎡ 借用期間:25年
				講	義 室		演習	室	実験	室	情報処	処理学習	施設	語等	学習施設		
(3) 教	!	室	等			23室			18室	(補助	職員 0	0室 人) (補助	0室	大学全体		
(4) 専	にお		哈	•			新設学部	等の名称			•		室		数		
(4) 😽	1工3)	(貝切え	ι±			保	健医療学部	看護学	科				10	6		室	
		W -		ı	図 書		学術:	雑誌				視聴覚	萱資料	機械・暑	発見	標本	
(5)	苇	新設学部 の名和		(5	ち外国書)	〔うちタ	国書〕	電子ジ	・ャーナ	トル						
						₩		種	〔うち	外国書	!]		点		点	点	
図書		健医療 看護学			918 [111 960 [104	-		6 (29) 3 [869])	_(8	3 (3 8 3 [8 8			867		103	93	
: 設 ##				(11	1, 224 [10	7])	(759	[736]		36 [73	6])	93		95	100	85	
備		計			918 (111 960 (104	-		5 (29) - (869))	_(86	;) 3 9		93	867 35	95	103	93 85	
				(0,	面	, ,		10003 7	閲覧				収		能	冊 数	大学全体
(6) 図		書	館		90	9. 83	m 876. 41	m				118席		4,5	1,0	80, 000 m	末広キャンパス建築に 伴う図書館面積の減少 (2)
					面		積			体育	館以外	小のスオ	ピーツ施	設の概要			大学全体
(7) 体		育	館				960m — —										
		区 分 開設年度 完成年度			隻 □	Σ ;	分		前年度	開設年	度	完成年度	共通教育用の図書につ いては、国際文化交流				
(8)		性見 の見 積り	教員 1	人当り)研究費等	Ē	400千円	400=	F円 図	書購入	費	4, 14	11千円 47千円	5, 2111	千円	2, 933千円	学部の図書として算定を行っている(30)
経費の積り及	元 で で 【	,,,	共 同	研:	究 費 等	ŧ,	3,000千円	3, 000=	f円 設	備購入	費		00千円 56千円	98, 000	千円	3,000千円	設備の位置をについてリースにて対応するこ
維持方の 概		り							:	第4年		第	5年次		第6年次	ととしたため(30) 設備購入費は大学全体	
		学生	納付金	以外の	維持方法の	の概要	大学運	営費交付金	企、資産 運	用収)	入、雑	収入	等				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	公	立 小	松大	学							備	i	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度			
			人										
生産システム科学部	4	80	-	320	-	_	-	-	平成30	-			
生産システム科学科	4	80	-	320	学士	1. 01	1.00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1番地3			
	4	00		200					 + 00				
<u>保健医療学部</u>	4	80	_	320	_	_	-	_	平成30				
<u>看護学科</u>	4	50	-	200	学士	1. 02	1. 02	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番 地1			
<u>臨床工学科</u>	4	30	-	120	学士	1. 07	1.03	-	平成30	同上			
					4)								
国際文化交流学部	4	80	_	320	-	_	_	_	平成30	_			
国際文化交流学科	4	80	_	320	学士	1. 02	1. 00	_	平成30	石川県小松市土居原町10-10			
				323	学)				, ,,,,,,,				
大学全体	4	240	_	960	_	1. 02	1. 00	_	平成30	_			
ハテキ14	4	240		900		1.02	1.00		十八30				

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 看護学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【平月	並30	年度】		【令	和元年	度】	ı	【令≉	12年	度】
専任・		氏 名	専任・		氏 名) I	専任・	1	氏 名	専	任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼兼の	任	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		北岡 和代 (64) <平成30年4月> 博士 (医学)			北岡 和代 (64) <平成30年4月> 博士(医学)				北岡 和代 (65) <平成30年4月> 博士(医学)				北岡 和代 (66) <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	心の健康とストレスマキジメント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護友ア提供論 精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 I 精神保健看護 電子 新神保健有護 電子 新神保健 看護 表 で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	専	教授	心の健康とストレスマネジメント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護方ア提供論 精神保健看護演習 I 精神保健看護実習 I 看護統長翌 卒業研究 看護と異文化理解		専	教授	心の健康とストレスマネジ・メント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学 欠 決 精神保健看護 テア 提供論 精神保健看護 実習 I 精神保健看護 実習 I 精神保健看護 素習 I 看護統元 李楽研究 看護と異文化理解		専	3212	心の健康とストレスママネン゙メント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護漢習 I 精神保健看護漢習 I 精神保健合言護漢習 I 精神保健合言 憲実習 X 精神保健合変 な変
		森川 浩子 (64) 〈平成30年4月〉 修士(教育学)			森川 浩子 (64) 《平成30年4月》 修士(教育学)				森川 浩子 (65) 〈平成30年4月〉 修士(教育学)				森川 浩子 (66) <平成30年4月> 修士(教育学)
専	教授	テーマ別基礎ゼミ 小児見養性 小児見看護 大演習 I 小児看護漢字習 I 小児看護漢字習 I 小君護統字。 本業研究	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 小児看護学ア提供論 小児看護漢習 I 小児看護漢習 I 小児看護実習 I 小児看護実習 I 看護練実習 エ 看護就要習 エ 幸業研究		専	教授	テーマ別基礎だ 小児看護学概 小小児看護佐演習 小児看護疾習 I 小児看護実習 I 看護統実習 I 看護統会習 卒業研究		専	教授	テーマ別整体ゼミ 小児看養護機構 小小児看養護大変習 小児児看護護実習 小児児看護漢実習 「 一児日報度 「 一児日報度 「 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の
		中島 秦子 (65) <平成30年4月> 博士 (医学)			中島 素子 (65) <平成30年4月> 博士 (医学)				中島 秦子 (66) <平成30年4月> 博士 (医学)				中島 素子 (67) <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	健康と体の科学 市农会報告報告 (本)	専	教授	健康と体体為※ 市民会議会 市民会議会 市民会議会 市民会議会 「市民会議会 「中民会議会 「中民会会会 「中民会会会 「中民会会会 「中民会会会会 「中民会会会会 「中民会会会会会会会会会会		専	教授	健康と体の論理等。 市民政治學等 市民政治學等 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年		専		健康と健康とは、
		公衆衛生看護実習 卒業研究 鋤柄 増根			公衆衛生看護実習 卒業研究 鋤柄 増根	-			公衆衛生看護実習 卒業研究 鋤柄 増根				公衆衛生看護実習 卒業研究 鋤柄 増根
		(65) <平成31年4月> 教育学修士			(64) <平成31年4月> 教育学修士				(65) <平成31年4月> 教育学修士				(66) <平成31年4月> 教育学修士
専	教授	心の健康とストレスマネジメント論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護クア	専	教授	心の健康とストレスマネダメント論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護ケア		専	教授	心の健康とストレスマホジメント論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMP1心理検査と看護クア		専	教授	心の健康とストレスマキン メント調 ※変学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMP1心理検査と看護ケワ
		内田 美保 (59) <平成30年4月> 修士 (感染制御学)			内田 美保 (59) <平成30年4月> 修士(感染制御学)				内田 美保 (60) <平成30年4月> 修士(感染制御学) テーマ別基礎ゼミ				内田 美保 (61) 〈平成30年4月〉 修士(感染制御学)
車守	教授	テーマ別基礎ゼミ 市看基産 ・ 一番を ・ 一本を ・ 一本を	専	教授	テーマーダッ を テースは 一名を 一名を 一名を 一名を 一名を 一名を 一名を 一名を		専	教授	ア一氏性 デース デース デース デース デース デース デース 「一、 では デース 「一、 では デース 「一、 では では では でが が 大る に でが が 大る に でが で が が で で で で が で で で で で が で で で が で で で で で で で で で が で で で で で で で で で で で で で		再	教授	テース マー

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼	任 · 担 · 任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等	Ø	別	職名	保有学位等	の別	職名	保有学位等	の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名	L			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		小泉 由美 (59) <平成30年4月> 博士 (医学)				小泉 由美 (59) <平成30年4月> 博士(医学)			小泉 由美 (60) <平成30年4月> 博士 (医学)			小泉 由美 (61) <平成30年4月> 博士 (医学)
専		テ四なから、 ではかない。 ではかない。 ではかない。 ではかない。 ではから、 ではない。 で		専	教授	テーマングライス (1) では、 (1)	専	教授	テ四なケア デロッケア ボケア ボケア 大ア 大ア 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変	専	教授	テリス (大学などの)
		松井 優子 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学)				松井 優子 (52) <平成30年4月> 博士 (保健学)			松井 優子 (53) <平成30年4月> 博士(保健学)			松井 優子 (54) <平成30年4月> 博士(保健学)
専	教授	看護学概論 基礎看護主礎工一ス I 信療養と一ス I 信療養と一次 I 看護 一次 I 看護 一次 I 看護 一次 I 看護 一次 I 看護 通程 技 基礎 コース I (74) がかでながり)		専	教授	看護学概論 ※ 基礎の技工を対している。 ※ 表述の技工を対している。 ※ 表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表述の表	専	教授	看護学概論 基礎看技事と 「会議」 「会議」 「会議」	曲守	教授	看護籍では、
		看護技術の科学的検証				看護技術の科学的検証			看護技術の科学的検証			看護技術の科学的検証
		徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士(看護学)				徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士 (看護学)			徳田 真由美 (53) <平成30年4月> 博士(看護学)			徳田 真由美 (54) 〈平成30年4月〉 博士(看護学)
専		市民健康論 ※ 在宅看護学概 佐宅看護次 で 在宅看護次 で 名護 が 会 で を が が で で を が の で で を を を を を を を を を を を を を を を を を		専	教授	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護機会 在宅看護議研会 で を 事で を 事で を 事で を 事で を 事で を を を を を を	専	教授	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケァ選 在宅看護ケァ選 在宅看護無研会 要 事で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	教授	市民健康論 ※ 在宅名看護学大学 在宅名看護 大学 在宅看看護 護 主 で 主 を 主 を を を を を を を を を を を を を を を
		坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士 (保健学)				坂本 めぐみ (52) <平成31年4月> 博士 (保健学)			坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(保健学)			坂本 めぐみ (54) <平成31年4月> 博士 (保健学)
専		母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 看護統合実習 卒業研究 全ま研究 地域の健康課題と多職種連携		専	教授	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 看護統合実習 存態統合実習 卒食と看護 地域の健康課題と多職種連携	専	教授	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 看護統合実習 存之者 生 有護統会実習 卒ま 全 、 で 食と看護 地域の健康課題と多職種連携	専	教授	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護ケア 母性看護強弱 母性護統合実 事業研究 全 変を変 変を 変を 変を 変を 変し 変 の は し は し は を の を し で を と で き と で き と で き と で き で き で き で き で き
		山崎 松美 (42) 〈平成30年4月〉 博士(保健学)				山崎 松美 (42) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学)			山﨑 松美 (43) 〈平成30年4月〉 博士(保健学)			山崎 松美 (44) <平成30年4月> 博士(保健学)
専		キャリアデザイン・チーム論 II 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護学概		専	教授	キャリアデザイン・チーム論 II 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護学概論 (急性)成人看護東湾習 II (急性)成人看護実習 II (慢性)成人看護実習 II (慢性)成人看護実習 II (慢性等) 成人看護実習 II (慢性等) なん 長葉新宮 II (回復・維持) 看護新合実習 マ業研究	専	教授	キャリアデザイン・チーム論 I	専	教授	キャリアデザイン・チーム 論 II

専任・			専任・			1	専任・			ſ	専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		日下 純子 (64) 《平成30年4月》 修士(社会福祉学) 修士(看護学)			日下 純子 (64) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)				日下 純子 (65) 《平成30年4月》 修士(社会福祉学) 修士(看護学)				日下
専	准教授	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ (学校・左東方法論Ⅳ (少東衛生看護彦斯) ※ 公衆域看看護診断方法論Ⅳ (位職食診査・定訪問・健康教 育) 公衆衛康生看護実習 卒卒業研究	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習方法論Ⅲ (学校・産業・災害) ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ (地域看護診断方法論Ⅳ (地域看護診方法論Ⅴ (健康診査・家庭訪問・健康教 育)衆衛生看護実習 卒業研究		専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 在空標実習方法論Ⅲ 《学校生看護東方次語論Ⅳ 《学校生看護東方次語論Ⅳ 《公衆領生看護影断方法論V 《北東衛手後 《大東衛子 《大東衛子 《大東衛子 《大東衛子 《大東衛子 《大東衛子 《大東衛子 《大東衛子 《大東帝 《大東帝 《大東帝 《大東帝 《大東帝 《大東帝 《大東帝 《大東帝		*	准教授	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論平 (学校・定業・災法書) ※ 公衆衛生看護方法論平 (地域書護診斯) 公衆衛生署護方法論V (健康診査・家庭訪問・健 廉教育) 公衆衛生看護実習 卒業研究
		佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士(看護学)			佐藤 大介 (38) 《平成30年4月》 博士 (看護学)				佐藤 大介 (39) <平成30年4月> 博士 (看護学)				佐藤 大介 (40) <平成30年4月> 博士 (看護学)
専	准教 授	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 (急性) 成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習II (回復·維持) 看護統合実習 卒業密 統合医療	車	准教 授	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 I (急性) 成人看護演習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護集習 II (回復・維持) 看護統合実習 統合医療		専	准教 授	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習II (慢性) 成人看護亲習II (回復·維持) 看護統合実習 卒業研 統合医療		専	准教 授	成人看護族でア提供論 ※ 成人看護演習 I (急性) 成人看護漢習 I (急性) 成人看護漢実習 I (慢性) 成人看護東習 II (回復・維持) 看護統合実習 新合医療
専	講師	油野 規代 (60) 〈平成30年4月〉 修士 (保健学)	専	講師	油野 規代 (60)		専	講師	油野 規代 (61) 〈平成30年4月〉 修士(保健学)		専	講師	油野 規代 (62) 〈平成30年4月〉 修士 (保健学)
		老年看護演習 老年看護実習 I 老年看護実習 I 看護統合実習			老年看護演習 老年看護実習 I 老年看護実習 I 看護統合実習				老年看護演習 老年看護実習 I 老年看護実習 I 看護統合実習				老年看護演習 老年看護実習 I 老年看護実習 Ⅲ 看護統合実習
専	講師	松村 愛都 (60) 〈平成30年4月〉 修士(看護学)	車	講師	松村 愛都 (60) 〈平成30年4月〉 修士 (看護学)		専	講師	松村 愛都 (61) <平成30年4月> 修士(看護学)		専	講師	松村 愛都 (62) <平成30年4月> 修士(看護学)
₹	Distriction of the series	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習		DEPT DIT	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習I (急性) 成人看護実習II (慢性) 成人看護実習III (回復・維持) 看護統合実習		7	DEP DIT	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習 II (回復・維持) 看護統合実習		₹	Ditt Eni	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習 II (回復・維持) 看護統合実習
専	講師	清水 由加里 (50) <平成30年4月> 修士(看護学)	専	講師	清水 由加里 (50) <平成30年4月> 修士(看護学)		専	講師	清水 由加里 (51) <平成30年4月> 修士(看護学)		専	講師	清水 由加里 (52) 〈平成30年4月〉 修士(看護学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習			キャリアデザイン・チーム論 II 看護統合実習				キャリアデザイン・チーム論 Ⅱ 看護統合実習		·		キャリアデザイン・チーム 論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田 美智子 (58) <平成30年4月> 修士 (保健学)	専	助教	池田 美智子 (58) <平成30年4月> 修士(保健学)		専	助教	池田 美智子 (59) <平成30年4月> 修士(保健学)		専	助教	池田 美智子 (60) 〈平成30年4月〉 修士(保健学)
		健康教育論 公衆衛生看護実習			健康教育論 公衆衛生看護実習				健康教育論 公衆衛生看護実習				健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山 美穂 (54) <令和2年4月> 修士(保健学)	専	助教	片山 美穂 (52) <令和2年4月> 修士(保健学)		専	助教	片山 美穂 (53) <令和2年4月> 修士(保健学)		専	助教	片山 美穂 (54) <令和2年4月> 修士(保健学)
		精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 I 看護統合実習			精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 I 看護統合実習		-		精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 II 看護統合実習		-		精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 I 看護統合実習
兼任	助教	片山 美穂 (53) 〈平成31年4月〉 修士(保健学)	兼任	助教	片山 美穂 (52) <平成31年4月> 修士(保健学)		兼任	助教	片山 美穂 (53) <平成31年4月> 修士(保健学)		兼任	助教	片山 美稿 -(54)- <平成31年4月> 修士 (保健学)-
		精神保健看護実習Ⅰ			精神保健看護実習I				精神保健看護実習I				精神保健看護実習工
専	助教	加藤 千夏 (47) 〈平成30年4月〉 修士(保健学)	専	助教	加藤 千夏 (47) <平成30年4月> 修士(保健学)		専	助教	加藤 千夏 (48) 〈平成30年4月〉 修士(保健学)		専	助教	加藤 千夏 (49) 〈平成30年4月〉 修士(保健学)
		基礎看護実習 I 基礎看護実習 II 看護統合実習			基礎看護実習 I 基礎看護実習 I 看護統合実習				基礎看護実習 I 基礎看護実習 I 看護統合実習				基礎看護実習 I 基礎看護実習 II 看護統合実習

専任・			専任・				任・		,	専臼			- A
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼: 兼: の:	任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼日 の別	£	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	11			担当授業科目名				担当授業科目名
専	助教	小田 梓 (36) <平成31年4月> 修士 (保健学) 小児看護実習 I 小児看護実習 I	専	助教	小田 梓 (35) <平成31年4月> 修士 (保健学) 小児看護実習Ⅱ		専	助教	小田 梓 (36) <平成31年4月 > 修士 (保健学) 小児看護実習 I 小児看護実習 I	Ę	与	助教	小田 梓 (37) <平成31年4月> 修士(保健学) 小児看護実習 I 小児看護実習 I
専	助教	看護統合実習 上田 映美 (34) <平成30年4月> 博士 (保健学) 基礎看護実習 I	専	助教	看護統合実習 上田 映美 (34) <平成30年4月> 博士 (保健学) 基礎看護実習 I		専	助教	看護統合実習	Ē	李	助教	看護統合実習 上田 映美 (36) 〈平成30年4月〉 博士(保健学) 基礎看護実習 I
		基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習			基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習				基礎看護実習 II 看護統合実習				基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	鈴木 由依子 (36) <令和2年4月> 修士(看護学)	専	助教	鈴木 由依子 (34) <令和2年4月> 修士(看護学)		車	助教	鈴木 由依子 (35) <令和2年4月> 修士 (看護学)	Ī	ŧ	助教	鈴木 由依子 (36) <令和2年4月> 修士 (看護学)
4	19/14%	成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習III (回復・維持) 看護統合実習	4	40143	成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習 III (回復・維持) 看護統合実習		4		成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習 II (回復・維 持) 看護統合実習 看護統合実習		7		成人看護実習 I (急性) 成人看護実習 II (慢性) 成人看護実習II (回復・維 持) 看護統合実習
専	助教	藤田 結香里 (30) 〈平成30年4月〉 修士 (保健学) キャリアデザイン・チーム論 II 基礎看護実習 I 基礎看護実習 I	専	助教	藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士(保健学) キャリアデザイン・チーム論 II 基礎看護実習 II		専		藤田 結香里 (31) <平成30年4月> 修士 (保健学) キャリアデザイン・チーム論 Ⅱ 基礎看護実習Ⅱ 基礎看護実習Ⅱ	Ę	F.	助教	藤田 結香里 (32) <平成30年4月> 修士 (保健学) キャリアテザイン・チーム 論Ⅱ 基礎看護実習Ⅱ 基礎看護実習Ⅱ
専	助教	看護統合実習	専	助教	看護統合実習		専	助教	看護統合実習 営田 恵理 (30) 〈平成30年4月〉 修士 (保健学) 老年看護実習 I 老年看護実習 I	卓	1	助教	看護統合実習 営田 恵理 (31) 〈平成30年4月〉 修士 (保健学) 老年看護実習 I 老年看護実習 I
専	助教	看護統合実習 相上 律子 (28) <平成31年4月> 修士 (保健学)	専	助教	看護統合実習 相上 律子 (27) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)		専	助教	看護統合実習 相上 律子 (28) 〈平成31年4月〉 修士(保健学)	車	Į.	助教	看護統合実習 相上 律子 (29) 《平成31年4月> 修士(保健学)
		精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 II 看護統合実習			精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 I 看護統合実習				精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 II 看護統合実習				精神保健看護実習 I 精神保健看護実習 II 看護統合実習
										Į.	ļ.	講師	山田 貴代 (55) <令和2年4月> 博士(保健学)
													テーマ別基礎ゼミ 母性看護実習 看護統合実習
							專	講師	伊藤 尚子 (47) 《平成31年4月》 修士(学術) 公衆衛生看護方法論取(地域看護診斯) 公衆衛生看護方法論取(地域看護診事) 公衆衛生看護方法論収(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4	jr.	講師	伊藤 尚子 (48) 《平成31年4月》 修士(学術) 公衆衛生看護方法論以(地域看護診斯) 公衆衛生看護方法論以(健康診查・家庭訪問・健康教育)
兼担	教授	本村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼担	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	秉	東担	教授	木村 繁男 (68) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼	担	教授	木村 繁男 (69) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※				現代科学技術論 ※				現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田 外史 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士	兼担	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	兼	· 東担	教授	山田 外史 (69) <平成30年4月> 工学博士	兼	担	教授	山田 外史 (70) <平成30年4月> 工学博士
		日本産業史 ※			日本産業史 ※				日本産業史 ※				日本産業史 ※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 良穂 (68) <平成30年4月> エ学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 良穂 (69) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼担	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼担	教授	安達 正明 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼担	教授	安達 正明 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学術論 ※	兼担	教授	安達 正明 (68) <平成30年4月> エ学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼担	教授	木村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	木村 春彦 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	木村 春彦 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	木村 春彦 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端 信義 (65) <平成30年4月> 工学博士 現代科学技術論 ※	兼担	教授	川端 信義 (65) 〈平成30年4月〉 工学博士 現代科学技術論 ※	兼担	教授	川端 信義 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士 現代科学技術論 ※	兼担	教授	川端 信義 (67) 《平成30年4月》 工学博士 現代科学技術論 ※
兼担	教授	田村 博志 (65) 〈平成31年4月〉 理学博士 教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※	兼担	教授	田村 博志 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士 教養としての数学 統計学 類代科学技術論 ※	兼担	教授	田村 博志 (65) 〈平成31年4月〉 理学博士 教養としての数学 統計学技術論 ※	兼担	教授	田村 博志 (66) <平成31年4月> 理学博士 教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (64) <平成30年4月> 理学博士 現代科学技術論 ※	兼任	講師	田村 博志 (64) 《平成30年4月》 理学博士 現代科学技術論 ※	兼任	講師	田村 博志 (65)- 《平成30年4月》 理学博士	兼任	講師	田村 博志 (66)- 《平成30年4月》 理学博士
兼担	教授	岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	岩田 佳雄 (64) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	岩田 佳雄 (65) 〈平成31年4月〉 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	岩田 佳雄 (66) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士 日本産業史 ※	兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	岩田 - 佳雄 - (65) (平成30年4月> - 工学博士	兼任	講師	岩田—佳雄 -(66)(平成30年4月> 工学博士
兼担	教授	新田 雅道 (60) <平成31年4月> 博士 (工学) アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼担	教授	新田 雅道 (59) <平成31年4月> 博士 (工学) アカデミッタン・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼担	教授	新田 雅道 (60) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) アカデミッスキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼担	教授	新田 雅道 (61) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学) アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学) アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	講師	新田 雅道 -(60)(平成30年4月> 博士 (工学)- アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	教授	新田 雅道 -(61)(平成30年4月-) 博士 (工学)- アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼担	教授	宮澤 淳 (59) 《平成30年4月》 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	宮澤 淳 (59) 〈平成30年4月〉 博士(工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	宮澤 淳 (60) <平成30年4月> 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	富澤 淳 (61) 《平成30年4月》 博士 (工学) 日本産業史 ※

専任・			専任・	Γ		専任・			専任・	Γ	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		上田 芳弘 (60) <令和3年4月> 博士 (工学)			上田 芳弘 (57) <令和3年4月> 博士 (工学)			上田 芳弘 (58) <令和3年4月> 博士 (工学)			上田 芳弘 (59) <令和3年4月> 博士(工学)
兼担		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教	石若 裕子 (51) <令和3年4月> 博士 (工学)	兼担	准教	石若 裕子 (48) <令和3年4月> 博士(工学)	兼担	准教	石若 裕子 (49) <令和3年4月> 博士(工学)	兼担	准教	石若 裕子 (50) <令和3年4月> 博士(工学)
NA J	授	情報処理基礎 情報処理応用 A		授	情報処理基礎 情報処理応用 A		授	情報処理基礎 情報処理応用 A	383_	授	情報処理基礎 情報処理応用 A
兼担	准教	疋津 正利 (47) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼担	准教	疋津 正利 (47) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼担	准教	疋津 正利 (48) 〈平成30年4月〉 博士 (工学)	兼担	准教授	疋津 正利 (49) 〈平成30年4月〉 博士(工学)
	授	情報処理基礎		授	情報処理基礎		授	情報処理基礎		按	情報処理基礎
兼担	准教 授	梶原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼担	准教授	梶原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼担	准教授	梶原 祐輔 (33) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼担	准教授	梶原 祐輔 (34) <平成30年4月> 博士 (工学)
		情報処理基礎 情報処理応用 A		fx	情報処理基礎 情報処理応用 A		fΧ	情報処理基礎 情報処理応用 A		fx	情報処理基礎 情報処理応用A
兼担	教授	真田 茂 (66) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	兼担	教授	真田 茂 (66) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	兼担	教授	真田 茂 (67) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	兼担	教授	真田 茂 (68) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論 I チーム医療論			キャリアデザイン・チーム論 I チーム医療論			キャリアデザイン・チーム論 II チーム医療論			キャリアデザイン・チーム 論 I チーム医療論
兼担	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	中山 謙二 (71) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	中山 謙二 (73) <平成31年4月> 工学博士
		統計学			統計学			統計学			統計学
兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	中山 謙二 (711) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	中山 謙二 -(72) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	中山 謙二 -(73)- <平成30年4月> 工学博士
		統計学			統計学			統計学			統計学
兼担	教授	井関 尚一 (66) <平成30年4月> 医学博士	兼担	教授	井関 尚一 (66) 〈平成30年4月〉 医学博士	兼担	教授	井関 尚一 (67) <平成30年4月> 医学博士	兼担	教授	井関 尚一 (68) <平成30年4月> 医学博士
		解剖学 生理学 病理学			解剖学 生理学 病理学			解剖学 生理学 病理学			解剖学 生理学 病理学
兼担	講師	深澤 伸慈 (66) <令和2年4月> 専門学校卒	兼担	講師	深澤 伸慈 (64) <令和2年4月> 専門学校卒	兼担	講師	深澤 伸慈 (65) <令和2年4月> 専門学校卒	兼担	講師	深澤 伸慈 (66) <令和2年4月> 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論 II チーム医療論			キャリアデザイン・チーム論 I チーム医療論			キャリアデザイン・チーム論 I チーム医療論			キャリアデザイン・チーム 論 I チーム医療論
兼任	教授	深澤 伸慈 (64) <平成30年4月> 専門学校卒	兼任	教授	深澤 伸慈 (64) 《平成30年4月》 專門学校卒	兼任	教授	深澤 伸慈 (65) <平成30年4月> 専門学校卒 キャリアデザイン・チーム論	兼任	教授	深澤 伸慈 (65) <平成30年月> 専門学校卒 キャリアデザイン・チーム
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 平山 順			キャリアデザイン・チーム論 I 平山 順	_		平山 順			平山 順
兼担	教授	・ (42) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)	兼担	教授	・ (42) 〈平成30年4月〉 博士 (人間・環境学)	兼担	教授	・【43) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)	兼担	教授	・【44) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ

		1	専任・			専任・			専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		野川 雅道			野川 雅道			野川 雅道			野川 雅道
		(46) <平成30年4月>			(46) <平成30年4月>			(47) <平成30年4月>			(48) <平成30年4月>
兼担	准教 授	修士(工学)	兼担	准教 授	修士(工学)	兼担	准教 授	修士(工学)	兼担	准教 授	修士(工学)
	-	テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ		-	テーマ別基礎ゼミ		.~	テーマ別基礎ゼミ
		李 鍾昊			李 鍾昊			李 鍾昊			李鍾昊
		(44) <平成30年4月>			(44) <平成30年4月>			(45) <平成30年4月>			(46) <平成30年4月>
兼担	准教 授	博士(学術)	兼担	准教 授	博士(学術)	兼担	准教 授	博士(学術)	兼担	准教 授	博士(学術)
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理			テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理			テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理			テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
		辻村 真一 (39)			藤田 一寿			藤田 一寿			藤田 一寿
		(39) <平成30年4月> 博士(工学)			(39) <平成30年7月>			(40) <平成30年7月>			(41) <平成30年7月>
兼担	准教 授	(学工(工 子)	兼担	准教 授		兼担	准教 授		兼担	准教 授	
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B			テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B			テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B			テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B
		坂元 英雄			坂元 英雄			坂元 英雄			坂元 英雄
		(49) <平成30年4月>			(50) <平成30年4月>			(51) <平成30年4月>			(52) <平成30年4月>
兼担	講師	修士(工学)	兼担	講師	修士(工学)	兼担	講師	修士(工学)	兼担	講師	修士(工学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論 II			キャリアデザイン・チーム 論 II
		井澤 純子			井澤 純子			井澤 純子			井澤 純子
		(48) <平成30年4月>			(48) <平成30年4月>			(49) <平成30年4月>			(50) <平成30年4月>
兼担	講師	博士 (情報科学)	兼担	講師	博士 (情報科学)	兼担	講師	博士 (情報科学)	兼担	講師	博士 (情報科学)
NK1_	M12 H-1	テーマ別基礎ゼミ	NA 3	HI3 H-1-	テーマ別基礎ゼミ	NK1	M-7 M-1	テーマ別基礎ゼミ	NK1=	ML2 H-1-	テーマ別基礎ゼミ
		情報処理基礎 教養としての数学			情報処理基礎 教養としての数学			情報処理基礎 教養としての数学			情報処理基礎 教養としての数学
		岩田 礼 (65)			岩田 礼 (65)			岩田 礼 (66)			岩田 礼 (67)
		<平成30年4月> 文学修士			<平成30年4月> 文学修士			<平成30年4月> 文学修士			<平成30年4月> 文学修士
兼担	教授	7.7.19.1	兼担	教授	77191	兼担	教授	77191	兼担	教授	7.19.1
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
		宮崎 猛 (67)			宮崎 猛 (67)			宮崎 猛 (68)			宮崎 猛 (69)
		〈平成30年4年〉 農学博士			〈平成30年4年〉 農学博士			〈平成30年4年〉 農学博士			〈平成30年4年〉 農学博士
兼担	教授	辰子将工	兼担	教授	辰子将工	兼担	教授	辰子 日本	兼担	教授	辰子将工
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題			アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題			アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題			アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
		VANCE, Timothy John			VANCE, Timothy John			VANCE, Timothy John			VANCE, Timothy John
		(66) <平成30年4月>			(66) <平成30年4月>			(67) <平成30年4月>			(68) <平成30年4月>
兼担	教授	Ph.D., linguistics (米国)	兼担	教授	Ph.D., linguistics (米国)	兼担	教授	Ph.D., linguistics (米国)	兼担	教授	Ph.D., linguistics (米国)
NA I	7012	言恭し立ル ☆	N/JE	7010	ラボ L サル ※	NA JE	70.10	三帝しかル ※	N/JE	2012	三茶し立ル ※
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b			言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b			言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b			言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
		盛田 清秀			盛田 清秀			盛田 清秀			盛田 清秀
		(65) <平成30年4月>			(65) <平成30年4月>			(66) <平成30年4月>			(67) <平成30年4月>
兼担	教授	博士(農学)	兼担	教授	博士(農学)	兼担	教授	博士(農学)	兼担	教授	博士(農学)
		経済学 ※			経済学 ※			経済学 ※			経済学 ※
		西村 聡			西村 聡	\vdash		西村 聡			西村 聡
		(65) <令和2年4月>			(63) <令和2年4月>			(64) <令和2年4月>			(65) <令和2年4月>
兼担	教授	博士(文学)	兼担	教授	博士(文学)	兼担	教授	博士(文学)	兼担	教授	博士(文学)
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
						<u> </u>					
		西村 聡 (63)			西村 聡 (63)			西村 聡 (64)			西村 職 - (65) -
**	=#-4	<平成30年4月> 博士(文学)	***	=# /	<平成30年4月> 博士(文学)	1	-44-	<平成30年4月> 博士(文学)			《平成30年4月》 博士(文学)
兼任	講師	南加賀の歴史と文化	兼任	講師	南加賀の歴史と文化	兼任	講師	南加賀の歴史と文化	兼任	講師	南加賀の歴史と文化
		日本の伝統芸能 文章表現法			日本の伝統芸能 文章表現法			日本の伝統芸能 文章表現法			日本の伝統芸能 文章表現法
						<u> </u>	1		<u> </u>		

専任・			専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担		岡村 徹 (56) < 平成30年4月> 博士 (比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II b	兼担	教授	岡村 徹 (56) < 平成30年4月> 博士 (比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b	兼担	教授	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a	兼担	教授	岡村 徹 (58) 〈平成30年4月〉 博士 (比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼担	教授	杓谷 茂樹 (55) 《平成30年4月》 修士(文学) 文化人類音 スペイン語 I スペイン語 I	兼担	教授	杓谷 茂樹 (55) 〈平成30年4月〉 修士(文学) 文化人類等 スペイン語 I スペイン語 I	兼担	教授	約	兼担	教授	や
兼担	教授	刘 迺华 (55) 〈平成30年4月〉 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I	兼担	教授	刘 迺华 (55) 〈平成30年4月〉 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I	兼担	教授	刘 酒华 (56) <平成30年4月> 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I	兼担	教授	刘 迺华 (56) 〈平成30年4月〉 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I
兼担	准教 授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクス(64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
兼担	准教授	英語Ⅱa 英語Ⅱb 中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)	兼担	准教授	英語 II a 英語 II b 中子(佐藤) 富貴子 (50) 《平成30年4月》 博士(創造都市)	兼担	准教 授	英語 II a 英語 II b 中子(佐藤) 富貴子 (51) <平成30年4月> 博士(創造都市)	兼担	准教授	英語 II a 英語 II b 中子(佐藤) 富貴子 (52) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市)
兼担		アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	アカデミック・スキルズ 小原 文衛 (49) 〈平成30年4月〉 文学修士 英語 I a	兼担	准教 授	アカデミック・スキルズ 小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士 英語 I a	兼担	准教授	アカデミック・スキルズ 小原 文衛 (51) (平成30年4月> 博士 (文学) 英語 I a
兼担	准教授	英語 II a - ノ渡 忠之 (43) 〈平成30年4月〉 博士(商学) 経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 I	兼担	准教 授	英語II a - ノ渡 忠之 (43) 〈平成30年4月〉 博士(商学) 経済学 ※ ロンア語I	兼担	准教授	英語 II a - ノ渡 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学) 経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 I	兼担	准教 授	英語 II a - ノ渡 忠之 (45) (平成30年4月) 博士(商学) 経済学 ※ ロンア語 I ロンア語 I フンア語 I
兼担	准教授	本村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼担	准教授	本村 誠 (37) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼担	准教授	本村 誠 (38) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼担	准教授	本村 誠 (39) <平成31年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼任	講師	本村 誠 (37) 〈平成30年4月〉 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼任	講師	** * * * * * * * * * * * * * * * * * *	兼任	講師	本村 議 -(39) -(39) -(39) -(39) -(39) -(44)
									兼担	講師	島内 俊彦 (50) 〈令和2年4月〉 博士 (学術) 英金話 I 英会話 I 英男用英語話 I 実界用英語語 I 実界用英語語 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教 授	木場	兼担	准教 授	末場 紗綾 (3737) (平成30年4月> 博士 (政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	木場 紗綾 (38) 〈平成30年4月〉 博士 (政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教授	末場 紗綾 (39) 〈平成30年4月〉 博士(政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	准教授	千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士 (地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士 (地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	千葉 悠志 (33) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教授	千葉 悠志 (34) (平成30年4月> 博士 (地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士 (文学) 英語 I a 英語 II a	兼担	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士 (文学) 英語 I a 英語 II a	兼担	助教	長辻 幸 (36) <平成30年4月> 修士(文学) 英語 I a 英語 II a	兼担	助教	長辻 幸 (37) <平成30年4月> 修士 (文学) 英語 I a 英語 II a
						兼担	助教	史 金星 (38) <平成31年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	助教	史 金星 (39) <平成31年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎
								朴 亨原 (36) 〈平成31年4月〉 博士 (工学)			朴 亨原 (37) <平成31年4月> 博士 (工学)
						兼担	助教	情報処理基礎	兼担	助教	情報処理基礎
兼任	講師	佐藤 宜伯 (57) <令和3年4月> 専門学校卒	兼任	講師	佐藤 宜伯 (54) 〈令和3年4月〉 専門学校卒	兼任	講師	佐藤 宜伯 (55) <令和3年4月> 専門学校卒	兼担	准教授	佐藤 宣伯 (56) <令和2年4月> 修士 (保健学)
兼任	講師	看護技術の科学的検証 - 三浦 要 (59) 《平成30年4月》 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	看護技術の科学的検証 - 三浦 要 (59) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	看護技術の科学的検証 三浦 要 (60) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	看護技術の科学的検証 三浦 要 (61) <平成30年4月> 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	字根 義己 (38) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 人文地理学	兼任	講師	字根 義己 (38) 〈平成30年4月〉 博士(文学) 人文地理学	兼任	講師	字根 義己 (39) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 人文地理学	兼任	講師	宇根 義己 (40) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 人文地理学
兼任	講師	従 陽子 (41) <平成30年4月> 博士 (学術) 医療と文化	兼担	教授	横川 善正 (69) <平成30年7月> 文学修士	兼担	教授	横川 善正 (70) <平成30年7月> 文学修士 医療と文化 英語 I a	兼担	教授	横川 養正 (71) マ取成30年7月> 文学修士 医療と文化 英語 I a
兼任	講師	清部 明男 (68) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (68) 〈平成30年4月〉 文学修士 社会学	兼任	講師	清部 明男 (69) 〈平成30年4月〉 文学修士 社会学	兼任	講師	溝部 明男 (70) 〈平成30年4月〉 文学修士
兼任	講師	本村 高宏 (43) 《平成30年4月》 博士(政策科学) 公共政策論	兼任	講師	木村 高宏 (43) 〈平成30年4月〉 博士(政策科学) 公共政策論	兼任	講師	本村 高宏 (44) 《平成30年4月》 博士(政策科学) 公共政策論	兼任	講師	木村 高宏 (45) 〈平成30年4月〉 博士(政策科学) 公共政策論

専任・兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任 兼担		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年日>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士 (保健学)	兼任	講師	榊原 千秋 (56) 〈平成30年4月〉 博士(保健学)	兼任	講師	榊原 千秋 (57) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学)	兼任	講師	榊原 千秋 (58) <平成30年4月> 博士(保健学)
		健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※
兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (71) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (72) <平成30年4月> 法学修士
		社会福祉論 保健医療福祉法制度論			社会福祉論 保健医療福祉法制度論			社会福祉論保健医療福祉法制度論			社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士(法学)	兼任	講師	山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	講師	山崎 友也 (46) 〈平成30年4月〉 修士(法学)	兼任	講師	山崎 友也 (47) <平成30年4月> 修士(法学)
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
		松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士			松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士			松下 裕子 (59) <平成30年4月> 体育学士			松下 裕子 (60) <平成30年4月> 体育学士
兼任		スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (マットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)	兼任	講師	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)	兼任	講師	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (東式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)	兼任	講師	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (パドミントン)
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) (今和2年4月) 修士(文学)	兼任	講師	川畠 嘉美 (47) (今和2年4月> 修士 (文学)	兼任	講師	川畠 嘉美 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	譜師	
		英語 I a			英語 I a			英語 I a			英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (54) (令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士 (学術)
		英語 I a			英語 I a			英語 I a			英語Ia
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) 〈平成30年4月〉 B. A. (Psychology) (米国)	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (51) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b			英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (44) 《平成30年4月> PHD Culturel Anthropology (米圖)	兼任	譜銅	ERTL JOHN JOSEF (45) 《平成30年4月> PhD Culturel Anthropology (米国)
		英語 I b			英語 I b			英語Ib			英語Ib
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) 《平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (44) 〈平成30年4月> PhD in International Relations (英国)
		英語Ⅱb			英語Ⅱb			英語 I b 英語 II b			<mark>英語 I b</mark> 英語 II b

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 島內 俊彦 (48) 《平成30年4月》 学士 (外国研究) 英語Ⅲ 英美新語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用用英語Ⅲ 実用用英語Ⅲ 実用用英語Ⅲ 実用用英語Ⅲ 実用用英語Ⅲ 実用用英語Ⅲ	兼任	講師	担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名 島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士 (外国研究) 英語II 英美話II 実実用英語記I 実実用英語記I 実実用英語記I	兼任	講師	担当授業科目名
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparé e) (仏国) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparé e) (仏国) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	大竹口 麻里 (55) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語教授法) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	岩本 航 (44) 《平成30年4月》 Doctorat (Littérature comparée) (仏国) フランス語 I フランス語 I
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (50) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (51) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I
兼任	講師	南保 英孝 (46) 《平成30年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (46) 《平成30年4月》 博士(工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (47) 《平成30年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (48) 《平成30年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎
兼任	講師	岡本 成史 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (歯学) 感染免疫学	兼任	講師	岡本 成史 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (歯学) 感染免疫学	兼任	講師	岡本 成史 (53) <平成30年4月> 博士(歯学) 感染免疫学	兼任	講師	岡本 成史 (54) 〈平成30年4月〉 博士 (歯学) 感染免疫学
兼任	講師	水野 洋子 (67) <平成30年4月> 短期大学卒 栄養・生化学 ※	兼任	講師	水野 洋子 (67) <平成30年4月> 短期大学卒 栄養・生化学 ※	兼任	講師	水野 洋子 (68) (平成30年4月> 短期大学卒 栄養・生化学 ※	兼任	講師	水野 洋子 (69) (平成30年4月> 短期大学卒 栄養・生化学 ※
兼任	講師	千葉 賢三 (69) 《平成30年4月》 医学博士 栄養・生化学 ※	兼任	講師	千葉 賢三 (69) <平成30年4月> 医学博士 ※養・生化学 ※	兼任	講師	千葉 賢三 (70) <平成30年4月> 医学博士 栄養・生化学 ※	兼任	講師	千葉 賢三 (71) 〈平成30年4月〉 医学博士 栄養・生化学 ※
兼任	講師	川井 惠一 (59) 《平成30年4月》 薬学博士 薬理学	兼任	講師	川井 惠一 (59) 《平成30年4月》 薬学博士	兼任	講師	川井 惠一 (60) 〈平成30年4月〉 薬学博士 薬理学	兼任	講師	川井 惠一 (61) 〈平成30年4月〉 薬学博士
兼任	講師	荒谷 穣治 (65) 〈平成31年4月〉 医学博士 老年疾病・治療論	兼任	講師	荒谷 穣治 (64) <平成31年4月> 医学博士 老年疾病・治療論	兼任	講師	荒谷 穣治 (65) 〈平成31年4月〉 医学博士 老年疾病・治療論	兼任	講師	荒谷 穣治 (66) 〈平成31年4月〉 医学博士 老年疾病・治療論
兼任	講師	模井 勝 (47) <平成31年4月> 博士(医学) 公衆衛生学	兼任	講師	櫻井 勝 (46) 《平成31年4月》 博士 (医学) 公衆衛生学	兼任	講師	標井 勝 (47) ⟨平成31年4月⟩ 博士 (医学) 公衆衛生学	兼任	講師	模井 勝 (48) ⟨平成31年4月⟩ 博士 (医学) 公衆衛生学

専任・ 兼任・ の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	alk alk	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	卷田 正二 (72) 《平成31年4月》 医学士	兼任	講師	亀田 正二 (71) 《平成31年4月》 医学士 急性疾病論	兼任	講師	亀田 正二 (72)(72)(平成31年4月)医学士老年疾病・治療論		兼任	講師	亀田 正二 (73)〈平成31年4月〉 医学士老年疾病・治療論
兼任	講師	村上 弘一 (61) 〈平成31年4月〉 医学博士 母子疾病・治療論	兼任	講師	村上 弘一 (60) (平成31年4月> 医学博士 母子疾病・治療論	兼任	講師	村上 弘一 (61) 〈平成31年4月〉 医学博士 母子疾病・治療論		兼任	講師	村上 弘一 (62) 〈平成31年4月〉 医学博士 母子疾病・治療論
兼任	講師	加藤 康洋 (76) 《平成31年4月》 医学博士	兼任	講師	加藤 康洋 (75) 《平成31年4月》 医学博士	兼任	講師	加藤 康洋 (76) 〈平成31年4月〉 医学博士		兼任	講師	加藤 康洋 (77) <平成31年4月> 医学博士
						兼任	講師	吉田 豊 (61) 〈平成31年4月〉 医学博士		兼任	講師	吉田 豊 (62) 《平成31年4月》 医学博士

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て (兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**本代でれの年度の5月1日時点の選生動**を記入してください。

 - ・ 専任 (専門職大学等は専、実専、実 (研)、実み)、業担、兼任の順に記入してください。 ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成30年度】

・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部の専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提 (平成30年4月教員審査済)

辻村 真一准教授就任辞退。代わりに兼担教員の藤田 一寿准教授を共通教育科目「情報処理応用B」の担当とする。

【令和元年度】

- 共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加。 共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加。 共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加。 共通教育科目「英語1b」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SEMAN JAMES講師に変更。 共通教育科目「フランス語I」「フランス語I」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里計 兼任教員の亀田 正二講師の担当科目から専門科目「急性疾病論」を削除し、専門科目「老年疾病・治療論」を追加。
- 麻里講師に変更。

- 本に対象の電出、正一時間がに当れる子が1976日から近天時間がして、子が1976日でも子があった。 ・専門科目「急性疾患論」の担当教員に、兼任教員の吉田 豊護師を追加。 ・伊藤 尚子講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論IV(地域看護診断)」「公衆衛生看護方法論V(健康診査・家庭訪問・健康教育)」「公衆衛生看護実習」の担当教員に追加。(平成31年4月教員審査済)。

【令和2年度】

- 本共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅰ」の担当教員を、兼任教員の大竹口 麻里講師から兼任教員の岩津 航講師に変更。
 ・兼任教員の川畠 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
 ・兼任教員の鳥内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から兼担教員に変更。保有学位を学士(外国研究)から博士(学術)に変更。
 ・兼担教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士(文学)に変更。
 ・専任教員の日下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。
 ・山田 貴代講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「テーマ別基礎ゼミ」「母性看護実習」「看護統合実習」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教局需素に担いた日本を表す。 員審査に提出(5月1日時点で審査中)
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) ② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				3	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	2	3	10	25	0	10	1	5	9	25	4
8	2	3	5	18	0						
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
教 授 10	准教授 2	講 師	助 教			教 授 10	准教授	講 師	助 教		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入</u>するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	5
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 25 設置時の計画(A) = 25 100 9%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 4 現在(報告時)の状況(B) = 16

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号]	職(立	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の 別	担当予定科目	後任	E補充	犬況	京	忧任辞退	【人未	就任)の理由		
				該当なし													
				合計	(D)				後任補充状況の集計 (E)								
	就	任を	辞讠	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) +	+ (b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	】数(b)		③の合計	数(c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		_			選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由の	担当-	予定科目	後任	補充状	況		辞	任等	の理由		
					必修	テーマ5	別基礎ゼ	îii .	1							
					必修	在宅	看護実習	1	3							
					選択	公衆衛生 論皿(学 業・災害	学校・産		3							
1	准教授	日下 糸	純子	R2. 3	選択	公衆衛生 論IV (地 断)			3		他大学へ	の転職	自	己都合)の#	こめ (2)
					選択	公衆衛生 論 V (優 家庭訪問	建康診査	•	3							
					選択	公衆衛生	生看護実	習	3							
					必修	卒	業研究		3							
			수 計	(F)						往	· 任補充状況	の集計	(G))		
	辞任 (した教員数	нн		 目数の合計	(a) + (b)	+ (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計			③の合計	数(d	;)
				必	修	3	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	2	科目
				選	択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	4	科目
	1		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ī	 	7	科目	計	1	科目	計	0	科目	計	6	科目

- (注) · 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	①の合計数 (a) ②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
		必修	3	科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	2 科目	
		選択	4	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	4 科目	
1	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	7	科目	計	1 科目	計	0 科目	計	6 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	1 .	_	4	%
(2)-②設置時の計画(A)	_	25	_	4	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号閘	哉 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	必修・選択・自由の別 担当予定科目		後任補充	状況			辞任等の理由				
			該当なし												
			É	計			後任補充状況の集計								
		辞任	した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(p) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	数(b))	③の合計	数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

	!
	!
	!
	!
	!
	!

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
設置時(29年8月)	・が置るかわうのようのようであるようであるようである。年教と準うのから、行設ふ動り上とのか、行設ふ動り上とのから、行設ふ動り上とのできるまに、学究と層のできるとのできるとのできるというのが、行いのようである。		・ネ計な・に部組い ・向員長もすた・づで始水施・基をにう(・度つるお行理ジ画大教向教みる) 設け会のとる。授くの動準し中づ計、体令 引計のといっまメを学育け授を。 置、をトにた 業授プな向て期き画定制和 き画事とてたりにして準会か予年 なや事メ的構 一や型究活 度つる管。 画一に委渉年りにして準会か予年 なや事メ的構 ン活ク育め びひ進進し) 期き画各な和長も履行動委体と3 的議、ネ組制 ン活ク育め びひ進進し) 期き画各な和長も履行動委体と3 的議、ネ組制 ン活ク育め びひ進進し) 期き画各な和長も履行動委体と3 的議、ネ組制 ン活ク育め びひ進進し) 期き画各な和で、、いの及ら定度 履全長ンに築 ト学研活動 計のと理 及つ推員管度で設める向び取し) 行学・ト運し に部究動を 画事とを びひ進会理)で設める向び取し) 行学・ト運し に部究動を 画事とを びひ進会理)で設める向び取し) 行学・ト運し に部究動を 画事とを びひ進会理)では、上学りて に委学の営 基内のの実 に項も行 年とすにを でして に要学の営 を は、	履行中	・る画度・委員委画学い ・がえをマ捗がかく ・ネ議でてて・定課報間(「日本学の大設定」を介護している。 は、「大設た、本管適を令を関する。」を明明を明度会」会策教。 学置取理ジ理切検和 事メや計るく己的と有連和に計策を計で、」定授(のの組事メのに証元 長ン全画の。点に進す携2に計策を計で、」定授(のの組事メのに証元 長ン全画の。点に進す携2に計策を計で、」定授(のの組事メのに証元 長ン全画の。点に進す携2に計策を計で、」定授(のの組事メのに証元 長ン全画の。点に進す携2で計、 全画連動動っ) 活踏のッう計る プ種いさ証 会織て組で計、 全画連動動っ) 活踏のッう計る プ種いさ証 会織て組をの する 学委携計はて 動まかプ進画の マ審 れし をの情織

設置時(29年8月)	・運動場のは、変には、できない。 ・・通動をは、できない。 ・・通知に、できない。 ・・一般では、できない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	留意事項	・てのもに対・ン拠が支る ・をでてを(・追演動う(・はスは体によ応小パ点設え。 シ行はも組令 引加習に運令 若、ポ、育、りし松スと置る(ヤいな利ん和 き導だお行和 手専ツ央設ヤ障いに近てれ境成 ルス、でい年 きをでてを年 教門習ヤ利ル生。りに用学高 0 スー外る。) ヤいな利ん) 育にれるのい 央活る活て) 加習に運 バポ課きる度 シ行はも組度 の野習・利ル生。りに用学高 0 スー外る。) ヤいな利ん) 育にスと置よ キ動建動い 導だお行 スー外る。 いずいくと行う ヤの物を 入けい表 のツ活よ いずいくと行う での物を		・よ努も図(・と教い善く・施善ズ学にえ(・での今りめとつ平学も育やに。 アし、を習、る令を学、にて成生に活す引(・ン、課捉意キ環和・ケズと境) 押ズ活うり度 定有関でるうを きニ課るき元 トの動こ高パ向度 に用かった な続和 一題活るをンの年 きニ課るき元 トの動こ高パ向度 に用を指すしためス上) に乗がまるを に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがいまる。 に乗がるがといる。 に乗がるがといる。 に乗がるがといる。 に乗がるがといる。 に乗がるが、まる。 に乗がる に乗がる に乗がる に乗がる に乗がる にもない まる。 に乗がる にもない まる にもない といい といい といい といい といい といい といい といい といい と
設置時(29年8月)	がを割からます。 に えが、 まない。 主ない、 まない。 を とのまで、 まない。 を とのまで、 まないのでは、 を とのまで、 まないのでは、 は とのに、 は と	留意事項	6分育の・員を員予・と行て・てたたり(・方る・教る、野研育中採策人定 引連いい教検、っを令 引に。教員のにと行て観のれな(分育の 在て員的る) 員討 画開年と行て観のれな(分育の 在て員的る) 員討 画開年と行て観のれな(分育の 在て員的る) 員討 画開年と行て観のたに運3 野研育 りい採な。 組を に始度 がし後。らのっを年 教活をに。に準 のっ づて でい がい の究成 ある きた継 織行の全て年 きて 用募和 が で は しい は は で は い は は で は い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は な に い は い は い は い は い は い は い は い は い は い	履行中	で 策は公も諮 ・計も等A。 ・を学説で をに行教3ので で、う員ののすのま計 で、う員ののように計・、で は、う員ののすのま計 で、すればで で、う員ののすのますがで で、ででででである。 ・を学説ででででいる。 でででである。 でででである。 でででである。 でででは、といっない。 では、といっない。 では、といっない。 では、といっない。 では、といっない。 では、といっない。 では、といっない。 では、といっない。 では、ことをでは、ことでは、では、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

〈保健医療学部 看護学科〉

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

公立小松大学FD·SD推進委員会規則を制定(30年4月)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成31年3月 開催

c 委員会の審議事項等

FD·SDの推進計画の策定、実施に関すること

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 財務システム研修会
 - 公立大学の役割を学ぶ研修会
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会
 - 労働安全衛生に係る研修会
 - 競争的研究資金獲得に向けた研修会
 - ・ 研究倫理研修会 (e-ラーニング)
 - 新任事務職員のための研修会
 - 授業方法に係る研修会
 - 研究計画調書の作成に係る研修会
 - 救命講習会

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。 全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 財務システム研修会(30年4月、31年4月) 教員・事務職員対象 全員受講
 - ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会(30年7月、元年7月) 教員・事務職員対象 88人参加
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会(30年8月、元年8月)教員・入試関連事務職員対象 62人参加
 - ・ 労働安全衛生に係る研修会(31年2月) 教員・事務職員対象 66人参加
 - ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会(31年3月) 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
 - ・ 研究倫理研修会(e-ラーニング) 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
 - ・ 新任事務職員のための研修会(30年4月~10月、31年4月~10月) 新任事務職員対象 11人参加
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月)
 - 授業方法に係る研修会(元年7月) 教員対象 74人参加
 - ・ 研究計画調書の作成に係る研修会(元年9月) 教員対象 60人参加
 - · 救命講習会(元年9月) 教員·事務職員対象 全員受講
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
 - ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月、元年12月)
 - ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している (前期・後期終了後)
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。 該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる 法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受ける こととなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

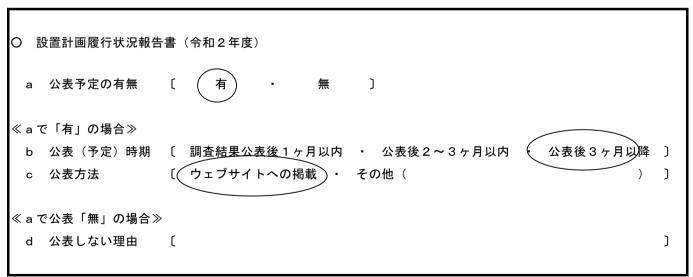
職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく 環境を引き続き整えていきたい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和2年6月 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和2年6月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - 学内で検討を行っている。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項



※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

- (2) 大 学 名 公立小松大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921 石川県小松市土居原町10-10 〒923-8511 石川県小松市向本折町へ14-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(イシダ ヒロト)		
理事長	石田 寛人 (現職就任30年4月)		
	(ヤマモト ヒロシ)		
学 長	山本 博		
	(現職就任30年4月)		
	(キタオカ カズヨ)		
学 部 長	北岡 和代		
	(現職就任30年4月)		
	(サナダ シゲル)		
学科長等	真田 茂		
	(現職就任30年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備	考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	17用	75
保健医療学部 臨床工学科 学士(臨床工学)	保健衛生学関係(看護学関係) 保護の 保護学関係 (なびリハン 関係を除く。)	4年	30人	年次 一 人	120人		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	畑 つ
			30人 一人	30人 —人	30人 —人			
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
志願者数		(-) (-) [-] [-]	234	244 (-) (-) [-] [-]	211 (-) (-) [-] [-]			
受験者数	 (-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	157 (-) (-) [-] [-]	159 (-) (-) [-] [-]	136 (-) (-) [-] [-]	1. 07倍	— 倍	
合格者数	 (-) (-) [-] [-]		51 (-) (-) [-] [-]	45 (-) (-) [-] [-]	44 (-) (-) [-] [-]			
B 入学者数	-		34 (-) (-) [-] [-]	32 (-) (-) [-] [-]	31 (-) (-) [-] [-]			
入学定員超過率 B/A	_	_	1. 13	1.06	1. 03			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
 - <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 <u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	in the state of th	7
	_	_	_	_	34	_	32	_	31	_		
1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
			-	_	-	_	34	-	32	-		
2 年次	/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
					_	_	_	_	34	-		
3 年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
							_	_	_	-		
4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]		
							(-)	(-)	(-)	(-)		
	_	-	-	_	3	4	6	6	9	7		
計	[-	-]	[-	-]	[.	-]	[-	-]	[-	-]		
	(-	—)	(.	—)	(.	—)	(—)	(-	—)		

- ・令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	+ **	7P ** ** / \		内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	返字百数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
对家平皮			八十七二十尺		うち留学生数	
平成28年度	一 人	一 人	平成28年度	一 人	一 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	一 人	- 人	
干成29千度	_	_	平成29年度	一 人	- 人	
			平成28年度	一 人	一 人	
平成30年度	34 人	0 人	平成29年度	一 人	一 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成28年度	一 人	一 人	
令和元年度	66 人	0 人	平成29年度	- 人		(記入例) 就学意欲の低下(5人)、他の教育機関への転学(2名) [就職(1人)、除籍(2人)]
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			平成28年度	一 人	一 人	
			平成29年度	一人	一人	
令和2年度	97 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・ 就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 永6
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	- = =		- =	#VALUE! %
【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	- = =		_ =	#VALUE! %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- = —	3	<u>0</u> =	0 %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	- = —	6	<u>0</u> =	0 %
【令和2年度】				
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	- =	9	<u>0</u> =	0 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 臨床工学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

	科目 埋業利日の名称		配	単位数		専	任教	員等	の配	置	兼任	
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 II	1前	1			2		1			3
	24	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								11
	導入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			5
	科	情報処理基礎	1前	2					1			5
	目	南加賀文化の	1後	2								1
		歴史と文化	- 12		_	•	_	_		_	_	
		小計(5科目) 哲学	1 ***	8	0	0	3	3	2	0	0	24
		心理学	1前		2							1
	_	心理子 人間の発達と心	1前		2							1
	般		1前		2							1
	科目	日本の伝統芸能 人文地理学	1前		2							1
	~		1後		2							1
	人間	文化人部	1後		2							1
	力	医療と文化 文章表現法	1後		2							1
	\smile		1後		2							1
		言葉と文化	1後	_	2	_	_	_		_	_	2
	<u> </u>	小計(9科目) 日本産業史	1 817	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		目然資源と	1前 1前		2							1
	般	環境問題 経済学										
	科	政治学	1前		2							2
	目		1後		2							2
共	社	社会学 公共政策論	1後		2							1
通	会		1後		2							1
教育	カ	社会福祉論	1後		2							1
科		日本国憲法 小計(8科目)	1前 -	_	2	•	_	_	_	_	_	1
目		データ科学と社会		0	16 2	0	0	0	0	0	0	13
	_	情報処理応用A	1前 1後		2							2
	般	情報処理応用B										2
	科目	クリティカルシンキング	1後		2			1				4
	п (統計学	1後 1前		2		1					1
	科	教養としての物理	· 刖 1前		2		l	1				1
	学力	教養としての数学	1後		2				1			1
	<i>-</i>	現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	-	0	16	0	1	2	1	0	0	10
		健康と体の科学	1前		2							2
	般	スポーツ演習	1前・		1							1
	科	(バレーボール) スポーツ演習	後 1前		1							1
	目((硬式テニス) スポーツ演習										
	健	(フットサル)	1前・ 後		1							1
	康と	スポーツ演習	1後		1							1
	体	(卓球) スポーツ演習	1前・									
	カ	(バドミントン)	後		1							1
		小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3
	英	英語 I a	1前	2								5
	語	英語 I b	1前	2								3
	科 目	英語 II a	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4

【令和2年度】

	_		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区:		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 Ⅱ	1前	1			2		1			3
		アカデミック・スキルス゛	1前	1								11
	導入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			4
	科	情報処理基礎	1前	2					1			7
	目	南加賀文化の	1後	2								1
		歴史と文化	100									
		小計(5科目)	- 4	8	0	0	3	3	2	0	0	25
		哲学	1前		2							1
	_	心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科目	日本の伝統芸能	1前		2							1
) 1	人文地理学	1後		2							1
	人	文化人類学	1後		2							1
	間力	医療と文化	1後		2							1
	$\overline{}$	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後	_	2			_		_		2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史 目然資源と	1前		2							4
	般	環境問題	1前		2							1
	科	経済学	1前		2							2
	目	政治学	1後		2							2
共	社	社会学	1後		2							1
通	会	公共政策論	1後		2							1
教育	カ	社会福祉論	1後		2							1
科		日本国憲法	1後	_	2	_	_	_	_	_	_	1
目		小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13
	_	データ科学と社会	1後		2							3
	般	情報処理応用A	1後		2							2
	科口	情報処理応用B	1後		2			1				
	目 (クリティカルシンキング 統計学	1後		2		1					1
	科	税計学 教養としての物理	1後 1前		2		1	1				1
	学力	教養としての数学	1前		2				1			1
)	現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	1	0	16	0	1	2	1	0	0	10
	_	健康と体の科学	1前		2							2
	般	スポーツ演習	1前・ 後		1							1
	科口	(バレーボール) スポーツ演習	1前		1							1
	目 ((硬式テニス) スポーツ演習	1前・									
	健	(フットサル)	後		1							1
	康と	スポーツ演習 (卓球)	1後		1							1
	体	スポーツ演習	1前・									
	カ ン	(バドミントン)	後		1							1
		小計(6科目)	ı	0	7	0	0	0	0	0	0	3
	英	英語Ia	1前	2								6
	央語	英語 I b	1前	2								3
	科	英語 II a	1後	2								4
	目	英語 Ⅱ b	1後	2								5
		ı						<u> </u>	<u> </u>			

			西己	È	单位数	友	専	任教	員等	の配	置	兼
		授業科目の名称	当	必	選	自	教	准数	講	助	助	任・
	,,		次	修	択	由	授	投	師	教	手	兼担
		英語Ⅲ	1後		2							1
	大通教育科目 大変	英会話 I	1後		2							1
					1							
特別						1						
	区 共通教育科目 その他外国語科目 医学的基礎 専門基礎科目 理工学的基礎	実用英語 Ⅱ	1前・			2						1
	日	実用英語皿	1前・			2						1
		実用英語IV	1前・			2						1
١			後 -	8	6		0	0	0	0	0	11
			1前						_			1
												1
科					_							1
l ^H	そ											1
					_							1
	外											1
	語											1
		ロシア語 Ⅱ			2							1
		スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語 Ⅱ			2							1
		小計(10科目)	_	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		臨床工学総論	1前	2			2	1	1			
		解剖学	1前	2			1					
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
		看護学概論	1後	2								2
		医療関係法規	1後	2								1
	_	病理学	1前	2			1					
		薬理学	1後	2								1
				1								1
				2			1					
												1
					0	0	4		1	0	0	6
								1				
礎												
				2	1			1				
				2	'			'				
	理			_								
	エ											
	的				1			1				
								1				
		電子工学実習	3前	2			1	1				
		医用機械工学	2後	2				1				
		情報処理工学	1後	2				1				
		プログラミング演習	2前	1				2	1			
		医用信号処理	2後	2			1					
		医用通信システム	3前		2		1					

			配	È	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科		授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区	分	22311237217	年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		英語皿	1後	שו	2	щ	JX	JX	ни	72	,	1
		英会話 I	1後		2							1
	英	英会話Ⅱ	1後 1前・		2							1
	語	実用英語 I	後			2						1
	科目	実用英語Ⅱ	1前· 後			2						1
		実用英語Ⅲ(未開講)	1前· 後			2						1
		実用英語IV(未開講)	1前・ 後			2						1
共		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	10
通		中国語 I	1前		2							1
教育		中国語Ⅱ	1後		2							1
科目		フランス語 I	1前		2							1
	そ	フランス語 Ⅱ	1後		2							1
	の他	ドイツ語 I	1前		2							1
	外	ドイツ語 II	1後		2							1
	国語	ロシア語 I	1前		2							1
	科目	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語 I	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		臨床工学総論	1前	2	20	0	2	1	1	_	0	-
		解剖学	1前	2			1	'	'			
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
	医	看護学概論	1後	2			'					2
	学的	医療関係法規	1後	2								1
	基	病理学	1後	2			1					'
	礎	薬理学	1後	2			ľ					1
		公衆衛生学	2前	1								1
		医学概論	2後	2			1					'
		感染免疫学	2後 2後	2			ļ '					1
		小計(12科目)		22	0	0	4	1	1	0	0	6
専門		応用数学	1後	2	0	0	7	1	'	-	0	0
基		心の数子 電気工学 I	1後	2			1					
礎科		電気工学Ⅱ	2前	2			1					
目		電気工学演習 [1後		1		1	1				
		電気工学演習Ⅱ	2前		1		1	1				
		電気工学実習	2後	2	·		2					
	理	電子工学Ⅰ	2前	2			1					
	工学	電子工学Ⅱ	2後	2			1					
	的	電子工学演習I	2前]	1		1	1				
	基礎	電子工学演習Ⅱ	2後		1		1	1				
	_	電子工学実習	3前	2			1	1		1		
		医用機械工学	2後	2				1				
		情報処理工学	1後	2				1				
		プログラミング演習	2前	1				2	1			
		医用信号処理	2後	2			1					
		医用通信システム	3前]	2		1					
Ь			נינו כ		_							

			配	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	•
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
		医用工学	3前	2				1				
		医用システム 工学実習	3後	2			2	2	1			
		小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	0	0	0
		生体物性工学	2前	2			1					
	医用	生体材料工学	2後	2				1				
	生体	生体計測工学	3前	2			1					
	工学	臨床画像工学	3後		2		1					
		小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0	0
		医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
	医用	医用治療機器学 実習	3前	1			1					
	機器	画像診断装置学	3後	2			1					
	学	生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学 実習	3後	1				1				
専		小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0	0
門		呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
科目		呼吸機能代行装置 学実習	2後	1			1					
		循環機能代行 装置学	2後	2					1			
	生体機	循環機能代行 装置学実習	3前	1					1			
	能	代謝機能代行装置学	2後	2								1
	代行	代謝機能代行装置 学実習	3前	1								1
	技術学	臨床医学 I (呼吸器、循環器)	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ(代謝、 血液)	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ(神経 系、内分泌系)	3後		2		2					
		小計(9科目)	-	13	2	0	3	0	1	0	0	1
	医療	医用機器安全 管理学	3前	2			1		1			
	安全管	医用機器安全 管理学実習	3後	1			1		1			
	理学	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0	0

			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 조 分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
			次	修	択	由	授	叙 授	師	教	手	兼担
		医用工学	3前	2				1				
		医用システム 工学実習	3後	2			2	2	1			
		小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	1	0	0
		生体物性工学	2前	2			1					
	医用	生体材料工学	2後	2				1				
	生体工	生体計測工学	3前	2			1					
	学	臨床画像工学	3後		2		1					
		小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0	0
		医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
	医田田	医用治療機器学 実習	3前	1			1					
	用機	画像診断装置学	3後	2			1					
	器学	生体計測装置学	3前	2				1				
	'	生体計測装置学 実習	3後	1				1				
専		小計(6科目)	ı	10	0	0	2	1	0	0	0	0
門		呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
科目		呼吸機能代行装置 学実習	2後	1			1					
		循環機能代行 装置学	2後	2					1			
	生体機	循環機能代行 装置学実習	3前	1					1			
	能	代謝機能代行装置学	2後	2				1				
	代行技	代謝機能代行装置 学実習	3前	1				1				
	術学	臨床医学 I (呼吸器、循環器)	3前	2			1		1			
	学	臨床医学Ⅱ(代謝、 血液)	3後	2				1	1			
		臨床医学Ⅲ(神経 系、内分泌系)	3後		2		2					
		小計(9科目)	-	13	2	0	3	1	1	0	0	0
	医療	医用機器安全 管理学	3前	2			1		1			
	安全管理	医用機器安全 管理学実習	3後	1			1		1			
	理学	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0	0

£sl	_		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科 区		授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
—				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		チーム医療論	4前		2		2					
		グローバル感染対策	4前		1							1
		看護技術の科学的 検証	4前		1							2
専	総合	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1							1
門科	実践	地域包括ケア	4後		1							1
目	科目	臨床実習	4前	4			2	3	2			1
		卒業研究 I	4前	2			7	3	2			
		卒業研究 Ⅱ	4後	2			7	3	2			
		小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	5
	合計(115科目)			103	99	8	7	3	2	0	0	65

卒業要件及び	ブ履修:	方注
--------	------	----

- 共通教育科目(計31単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目
- 、ニノー パーロ 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位
- 2 専門科目(計93単位以上)
- 必修22単位 必修25単位 必修25単位 (1)医学的基礎 (2)理工学的基礎
- (3)医用生体工学 必修 6単位

- 以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上
- 3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)

T ₁		·	配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	日分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
			次	修	択	由	授	投授	師	教	手	担
		チーム医療論	4前		2		2					
		グローバル感染対策	4前		1							1
		看護技術の科学的 検証	4前		1			1				1
専	総合	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1							1
門科	実践	地域包括ケア	4後		1							1
目	科目	臨床実習	4前	4			2	4	2			1
	卒業研究 I		4前	2			7	4	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	4	2			
		小計(8科目)	ı	8	6	0	7	4	2	0	0	5
	合計(115科目)			103	99	8	7	4	2	1	0	67
	大米亚(L T *)(屋 b +) 上											

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計31単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位(2)一般科目
- 、ニア・スティス 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
- (3)英語科目 必修8単位
- 2 専門科目(計93単位以上)
- 必修22単位 必修25単位 必修25単位 (1)医学的基礎 (2)理工学的基礎

- (2) 埋工字的基礎 必修25単位 (3) 医用生体工学 必修 6単位 (4) 医用機器学 必修10単位 (5) 生体機能代行技術学 必修13単位 (6) 医用安全管理学 必修 3単位 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上 (8)(1)~(8)で履修した科目以外から4単位以上
- 以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上
- 3 履修科目の登録の上限
- 48単位(年間)

チーム論 I アカテ゛ミック・スキルス゛

科

目

科

目

間

力

テーマ別基礎ゼミ

情報処理基礎

南加賀文化の 歴史と文化

小計(5科目)

人間の発達と心

日本の伝統芸能

人文地理学

文化人部

医療と文化

文章表現法

言葉と文化

小計(9科目)

日本産業史

自然資源と

環境問題 経済学

政治学

社会学

公共政策論

社会福祉論

日本国憲法

小計(8科目)

データ科学と社会

情報処理応用A

情報処理応用B

クリティカルシンキング

教養としての物理

教養としての数学

現代科学技術論

健康と体の科学

スポーツ演習

(バレーボール)

スポーツ演習 (硬式テニス)

スポーツ演習

スポーツ演習

(バドミントン)

小計(6科目)

(フットサル) スポーツ演習

(卓球)

小計(8科目)

統計学

目 共 通教

社 育 会

般

科

目

目

力

科 力 目

哲学

心理学

1 3 1

1

0 0 0

0 0 0

1

0 0 0

0 0 3

0 0 13

0 0 8

【平成30年度】 配当年次 単位数 専任教員等の配置 科目 授業科目の名称 必 選 白 謹 助 キャリアテ゛サ゛イン・ 1前 2 1

1前

1後 2

1前

1後 2

1前

1前

1前

1前

1後

1後

1後

1後

1後

1前

1前

1前

1後

1後

1後

1後

1後

1後

1後

1後

1前

1前

1前

前•

後

1前

前· 後

1後

前•

後

0 16 0 1 2 1 0 0 10

2

8 0 0 3 3 2 0

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

1

1

1

1

1

7 0

0

0 16 0

0 18 0

【令和元年度】

兼任

兼担

3

11

5

5

1

24

1

1

1

1

1

1

1

2

4

1

2

2

1

1

1

3

2

1

1

1

1

2

1

1

1

1

		加ル十皮』	配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		キャリアテ゛サ゛イン・	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		チーム論 Ⅱ	1前	1			2		1			3
		アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								11
	導 入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			5
	科目	情報処理基礎	1前	2					1			7
		南加賀文化の 歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	-	8	0	0	3	3	2	0	0	26
		哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
	般	人間の発達と心	1前		2							1
	科	日本の伝統芸能	1前		2							1
	目	人文地理学	1後		2							1
	人	文化人類学	1後		2							1
	間力	医療と文化	1後		2							1
	$\overline{}$	文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後	_	2	•	_	_		_		2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
		日本産業史	1前		2							4
		自然資源と 環境問題	1前		2							1
	般	経済学	1前		2							2
共	科 目	政治学	1後		2							2
通 教·	社	社会学	1後		2							1
育科品	会力	公共政策論	1後		2							1
目	\cup	社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13
		データ科学と社会	1後		2							3
	<u>—</u>	情報処理応用A	1後		2							2
	般科	情報処理応用B	1後		2			1				
	目	クリティカルシンキング	1後		2							1
	科	統計学 教養としての物理	1後		2		1	4				1
	学士	教養としての数学	1前 1前		2			1	1			1
	カ	現代科学技術論	1 前 1 前		2				'			5
		小計(8科目)	- -	0	16	0	1	2	1	0	0	10
		健康と体の科学	1前		2	-	Ė				-	2
	—	スポーツ演習 (バレーボール)	1前・ 後		1							1
	科目	スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1							1
	健康	スポーツ演習	1前・		1							1
	康と体	(フットサル) スポーツ演習	後 1後		1							1
	Д Э	(卓球) スポーツ演習	1前・		1							1
		(バドミントン) 小計(6科目)	後	0	7	0	0	0	0	0	0	3
		- #1 (*11 H/	<u> </u>		,	J	Ľ	J	J	J	J	J

利	·目		配当	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	分	授業科目の名称 -	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		英語Ia	1前	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	手	担 5
		英語 I b	1前	2								3
		英語 Ⅱ a	1後	2								3
		英語 II b	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
	英語	英会話 I	1後		2							1
	語科	英会話Ⅱ	1後		2							1
	目	実用英語 I	1前· 後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・ 後			2						1
共		実用英語Ⅲ	1前・			2						1
通数		実用英語Ⅳ	後 1前・			2						1
教育		小計(11科目)	後 -	8	6	8	0	0	0	0	0	11
科		中国語 I	1前		2							1
目		中国語Ⅱ	1後		2							1
	7	フランス語 I	1前		2							1
	その	フランス語 Ⅱ	1後		2							1
	他	ドイツ語 I	1前		2							1
	外国	ドイツ語 Ⅱ	1後		2							1
	語	ロシア語 I	1前		2							1
	科目	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語 II	1後	_	2	•	_	_	_	_	_	1
		小計(10科目) 臨床工学総論	- 1前	2	20	0	2	0	1	0	0	5
		解剖学	1前	2			1	l '	'			
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
	医学	看護学概論	1後	2								2
	的	医療関係法規	1後	2								1
	基礎	病理学	1前	2			1					
		薬理学	1後	2								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		医学概論	2後	2			1					
		感染免疫学	2後	2	_			_				1
		小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	6
		応用数学	1後	2				1				
専		電気工学 I	1後	2			1					
門基		電気工学Ⅱ	2前	2			1					
礎 科		電気工学演習I	1後		1		1	1				
目		電気工学演習 Ⅱ	2前		1		1	1				
				۰								
		電気工学実習	2後	2			2					
	理工	電子工学 I	2前	2			1					
	学	電子工学Ⅱ	2後	2			1					
	的基	電子工学演習 I	2前		1		1	1				
	基	電子工学演習 Ⅱ	2後		1		1	1				
		電子工学実習	3前	2			1	1				
		医用機械工学	2後	2				1				
		情報処理工学	1後	2				1				
		プログラミング演習	2前	1				2	1			
		医用信号処理	2後	2			1					
		医用通信システム	3前		2		1					
<u> </u>		~	נינו				<u> </u>					

科	В		配当	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
区		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	ı	★表 T -	1 24	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		英語 I a 英語 I b	1前 1前	2								6 3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語皿	1後	_	2							1
	英	英会話 I	1後		2							1
	語科	英会話Ⅱ	1後		2							1
	目	実用英語 I	1前・ 後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前· 後			2						1
共		実用英語Ⅲ(未開講)	1前・			2						1
通教		実用英語Ⅳ(未開講)	1前· 後			2						1
育		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	12
科目		中国語 I	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
	そ	フランス語 I	1前		2							1
	の	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	他外	ドイツ語 I	1前		2							1
	玉	ドイツ語 I	1後		2							1
	語科	ロシア語 I	1前		2							1
	目	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語 II 小計(10科目)	1後	0	20	0	0	0	0	0	0	5
		臨床工学総論	1前	2	20	U	2	1	1	-	0	J
		解剖学	1前	2			1	Ċ	ľ			
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
	医学	看護学概論	1後	2								2
	的	医療関係法規	1後	2								1
	基礎	病理学	1後	2			1					
		薬理学	1後	2								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		医学概論	2後	2			1					
		感染免疫学	2後	2								1
		小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	6
		応用数学	1後	2				1				
専門		電気工学I	1後	2			1					
基		電気工学Ⅱ	2前	2			1					
礎科		電気工学演習I	1後		1		1	1				
目		電気工学演習 Ⅱ	2前		1		1	1				
		電気工学実習	2後	2			2					
	理	電子工学 I	2前	2			1					
	工学	電子工学Ⅱ	2後	2			1					
	的	電子工学演習I	2前]	1		1	1				
	基礎						-					
	PJE.	電子工学演習 Ⅱ	2後		1		1	1				
		電子工学実習	3前	2			1	1				
		医用機械工学	2後	2				1				
		情報処理工学	1後	2				1				
		プログラミング演習	2前	1				2	1			
		医用信号処理	2後	2			1					
		医用通信システム	3前		2		1					
Щ		드/11	기테		۷							

1 .1	_		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼 担
専	理	医用工学	3前	修 2	択	由	授	<u>授</u>	師	教	手	担
門基	工学	医用システム 工学実習	3後	2			2	2	1			
礎科目	的基礎	小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	0	0	0
	医	生体物性工学	2前	2			1					
	用	生体材料工学	2後	2				1				
	生体	生体計測工学	3前	2			1					
	I	臨床画像工学	3後		2		1					
	学	小計(4科目)	ı	6	2	0	2	1	0	0	0	0
		医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
	医用	医用治療機器学 実習	3前	1			1					
	機	画像診断装置学	3後	2			1					
	器学	生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学 実習	3後	1				1				
		小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0	0
		呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
		呼吸機能代行装置 学実習	2後	1			1					
		循環機能代行 装置学	2後	2					1			
専門	生体機	循環機能代行 装置学実習	3前	1					1			
科目	能代	代謝機能代行装置学	2後	2								1
	行技	代謝機能代行装置 学実習	3前	1								1
	術学	臨床医学 I (呼吸 器、循環器)	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ(代謝、 血液)	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ(神経 系、内分泌系)	3後		2		2					
		小計(9科目)	1	13	2	0	3	0	1	0	0	1
	医療	医用機器安全 管理学	3前	2			1		1			
	安全管	医用機器安全 管理学実習	3後	1			1		1			
	理学	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0	0
		チーム医療論	4前		2		2					
	総合・	グローバル感染対策	4前		1							1
	実践	看護技術の科学的 検証	4前		1							2
	科目	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1							1
		地域包括ケア	4後		1							1

私	科目区分		配当	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
		授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
専	理	医用工学	3前	2	,		-	1		,,,		
門 基 礎	工学的	医用システム 工学実習	3後	2			2	2	1			
科目	的基礎	小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	0	0	0
	医	生体物性工学	2前	2			1					
	用生	生体材料工学	2後	2				1				
	体	生体計測工学	3前	2			1					
	工学	臨床画像工学	3後		2		1					
	子	小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0	0
		医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
	医用	医用治療機器学 実習	3前	1			1					
	機器	画像診断装置学	3後	2			1					
	学	生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学 実習	3後	1				1				
		小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0	0
		呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
		呼吸機能代行装置 学実習	2後	1			1					
		循環機能代行 装置学	2後	2					1			
専門	生体機	循環機能代行 装置学実習	3前	1					1			
科目	能代	代謝機能代行装置学	2後	2								1
	行技	代謝機能代行装置 学実習	3前	1								1
	術学	臨床医学 I (呼吸 器、循環器)	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ(代謝、 血液)	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ(神経 系、内分泌系)	3後		2		2					
	_	小計(9科目)	-	13	2	0	3	0	1	0	0	1
	医療・	医用機器安全 管理学	3前	2			1		1			
	安全管	医用機器安全 管理学実習	3後	1			1		1			
	理学	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0	0
		チーム医療論	4前		2		2					
	総合	グローバル感染対策	4前		1							1
	実践	看護技術の科学的 検証	4前		1							2
	科目	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1							1
		地域包括ケア	4後		1							1

科	B	短带到 日 0.2.15	配当	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼 担
		臨床実習	4*		,		2	3				1
1_	総	端床夹百	4前	4			2	3	2			'
専門	合実	卒業研究 I	4前	2			7	3	2			
科目	践科目	卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
	П	小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	5
	合	計(115科目)	-	103	99	8	7	3	2	0	0	65

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計31単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位

、ニー・スティース 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位

- 2 専門科目(計93単位以上)
- 必修22単位 (1)医学的基礎 (2)理工学的基礎 必修25単位
- (3)医用生体工学 必修 6単位 必修10単位 (4)医用機器学
- (5)生体機能代行技術学 必修13単位 (6)医用安全管理学
- 必修 3単位 必修 8単位 選択科目2単位以上 (7)総合実践科目
- (8)(1)~(8)で履修した科目以外から4単位以上
- 以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上
- 3 履修科目の登録の上限

48単位(年間)

科	B	₩₩₩₽ ₽₽ ₩	配当	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
区	分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼 担
	総	臨床実習	4前	4			2	3	2			
専門科	合実践	卒業研究 I	4前	2			7	3	2			
目	科目	卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
		小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	5
	合	計(115科目)	-	103	99	8	7	3	2	0	0	68

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計31単位以上)
- (1)導入科目 必修8単位
- (2) 船科日
- 、こ) 版刊日 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
- (3)英語科目 必修8単位
- 2 専門科目(計93単位以上)
- 必修22単位 必修25単位
- (1)医学的基礎 (2)理工学的基礎 (3)医用生体工学 必修 6単位
- (4)医用機器学 必修10単位 (5)生体機能代行技術学 必修13単位
- (6)医用安全管理学
- · 必修 3单位 必修 3単位 必修 8単位 選択科目2単位以上 (7)総合実践科目
- (8)(1)~(8)で履修した科目以外から4単位以上

以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上

3 履修科目の登録の上限

48単位(年間)

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を

黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている</u>箇所は**太字の赤字**としてください。

- 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更(授業科目表上は変更なし)。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 (30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当)
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目(一般科目(科学力))における学生の授業履修の調整を行うため、 「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・1 年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 (当初1年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解の表 病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため1年後期に病理学を配置変更した。) 1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加。・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、
- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加。

【令和2年度】

- ・兼任教員の川畠 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語 I a」の担当が困難になったため担当教員表から削除。 ・兼任教員の日下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。 ・佐藤 宜伯准教授を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「代謝機能代行装置学」「代謝機能代行装置学実習」「臨床医学 II (代謝,血液)」「看護技術の科学的検証」「臨床実習」「卒業研究 I 」「卒業研究 I 」の担当教員に追加。令和2 年度第 1 回 A C 教員審査 に提出(5月1日時点で審査中)
- 金木 侑子助教を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「電子工学実習」「医用システム工学実習」「医用治療機器学実習」 「生体計測装置実習」「卒業研究 I 」「卒業研究 I 」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出(5月1日時点で審査中)。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

I				設置時	の計画						3	変更状	況				備考
	必何	多	選	択	自	由	計(A	۹)	必	俢	選打	択	É	自由	計	-	1佣-5
	56	科目	56	科目	4	科目	116	科目	56 [科目	56 [科目	4	科目	116 [科目	

(注) · <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	スポーツ演習(硬式テ ニス)	1	1	一般	選択	前期のみ開講の科目であり、新型コロナ ウイルス感染症対策のため不開講とし た。代替措置は無し。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「スポーツ演習(硬式テニス)」そのものの代替措置は無いものの,同科目の属する科目区分『一般科目(健康と体力)』の卒業要件(1単位以上)については,前期に開講する「健康と体の科学」のほか,後期に開講する「スポーツ演習(バレーボール)」「スポーツ演習(フットサル)」等でも満たすことが出来るため学生の履修への影響は少ないものと考えられる。

学生へは、「スポーツ演習 (硬式テニス)」が本年度不開講となる旨、学内掲示板および本学ポータルサイト『ユニバーサルパスポート』において周知した。

今後の新型コロナウイルスの収束状況によっては上記の科目も不開講とする可能性はあり得るものの の、原則として上記の科目を履修することにより学生が卒業要件を満たすことを想定している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 116 0.86 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内				容	!			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		キ用する 学校等の				計	
++-		校 쇩	· 敷 均	<u>t</u>	1	8, 962. 05 m	:		m		r	ń	1	8, 962. 05 m ²	
校		運動	は場用地	1	1	4, 271. 00 m			mi		r	าำ	1	4, 271. 00 m²	末広キャンパス 借用面積:3,676 ㎡
地		小	計	ŀ	3	33, 233. 05 m			m [*]		r	ń	3	33, 233. 05 m ²	借用期間:25年
等		そ	の他	<u>l</u>		8, 251. 28 m			mi		r	ni		8, 251. 28 m ²	
þ		合	計	+	4	11, 484. 33 m ²			m [‡]		r	ń	4	11, 484. 33 m ²	
					専	用	共	用		共用する 学校等の				計	中中キャンパス保管供知
(2) 校			舎		16, 305. 47	16, 395. 39 m		0	m [*]		0r	า๋ 6, 305.	47	16, 395. 39m²	中央キャンパス賃貸借部 分増加 (1階) に伴う校 舎面積の増加 (2) 末広キャンパス 借用面積: 930㎡ 借用期間: 25年
					(4, 55	5.95 m [*])	(3, 6	44. 67 m²)	(4	4, 926. 4	7 m²)	(1	13, 12	27.09m²)	中央キャンパス 借用面積: 4,107㎡ 借用期間: 25年
				訓	義室	演	習室	実験実	習室	情報ダ	0.理学習	布設	語学	学習施設	
(3) 教		室	等		22	÷	125		10宗			室		室	大学全体
					Z	室	12室		18室	(補助	職員	人) (有	補助	職員 人)	
(4) 専	任数	1 品研究	空			新設学部	『等の名称				室		数		
	17.17	(5~(0)1)				保健医療学部	臨床工	学科		1	9			室	
	***	f設学:	n etc	[図 書	学術	行雑誌			視聴り	11資料	機械・器	具	標本	
(5)	杉	の名		〔う	ち外国書〕		外国書〕	電子ジャ							
						 	種				点		点	点	
書・		健医療		· ·	182 [102] 390 [100]) _	9 (0)		0 (0)	100	130		138	18	
設備					.834 [114] 182 [102])	9 [0]		0 (0))	103	133	122	138	18	
VH		計			390 (100)	<u></u>	(8 (0))		0 (0))	14	93	122	130	18	
				(0)	面	´ 積	(0 (0) /	閲覧座				納可	能		大学全体
(6) 図		書	館		909.	83m 876. 4	1m²			118席				80, 000 m	末広キャンパス建築 に伴う図書館面積の 減少(2)
					面	積			体育館以	外のスポ	ピーツ施言	との概要			大学全体
(7) 体		育	館			960.	0m²	_	-			_	_		
		۷⊽ ≓¤	×	Ξ	分	開設年度	完成年	度区	分	開設前	前年度	開設年月	度	完成年度	設備の位置をについ てリースにて対応す
(8)		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	400千円	400-	千円 図書	購入費	1, 2	86千円	1, 2867	戶円	722千円	ることとしたため (30)
経費の積り及)見 (び_	1艮 ツ	共 同	研 3	究 費 等	3,000千円	3, 000	千円 設備	購入費	130, 0 111, 1	00千円 56千円	98, 000∃	戶円	3,000千円	設備購入費は大学全 体
維持方の 概	推持方法 ウ 概 要 学生1人当 り				1年次	第2年次	第	3年次	第4年	∓次	第 5	年次		第6年次	
		納付		市内	学生918千 円	636-	千円	636千円	6	36千円	-	千円		一 千円	
		学生:	納付金	以外の	維持方法の	概要 大学選	型営費交付	金、資産運用	用収入、執	惟収入	等				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	公	立 小	松大	学							備	考	,
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度			
			人										
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	-	平成30	-			
生産システム科学科	4	80	-	320	学士	1. 01	1.00	_	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1番地3			
<u>保健医療学部</u>	4	80	_	320	ī	-	-	-	平成30	-			
<u>看護学科</u>	4	50	-	200	学士	1. 02	1. 02	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番 地1			
<u>臨床工学科</u>	4	30	-	120	学士	1. 07	1. 03	-	平成30	同上			
					41								
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	-	-	-	平成30	-			
国際文化交流学科	4	80	_	320	学士(国際文化学)	1. 02	1.00	_	平成30	石川県小松市土居原町10-10			
大学全体	4	240	-	960	-	1. 02	1. 00	-	平成30	-			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 臨床工学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【平月	戊30	年度】	【令	和元年	度】	[令和	02年	度】
専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名		任·		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼の		職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		真田 茂 (66) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)			真田 茂 (66) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)			真田 茂 (67) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)				真田 茂 (68) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)
専	教授	キャリアデザイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨床画像影断装置学 チーム医療論 臨定実研究 I 卒業研究 I	専	教授	キャリアデザイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 生体物性生工学 画像診断装護 画像診断装 産業研究 I 卒業研究 I	専	教授	キャリアデザイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨保工学 画・少医療 語・学の 電・大学 電・大学 電・大学 電・大学 電・大学 電・大学 電・大学 電・大学		専	教授	キャリアデザイン・チーム 論II 原床工学総論学 臨生体物性保工学管学 原体診断接療論 原診断度等 原本実習 字を業研究 I マ卒業研究 I
		中山 諫二 (72) <平成31年4月> 工学博士			中山 謙二 (71) <平成31年4月> 工学博士			中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士				中山 謙二 (73) <平成31年4月> 工学博士
専	教授	統計学学 I 電電気工学 I 電電気工学 I 電気工学 I 電気 医 学 I 電気 気工学 学 I 習 I 国	専	教授	統計学学 軍気工学I 電気工学 I 電気工学学I 電気工学学演習 I 電気用信信用 電気用値ステエ 医用通ステエ エデ学の次エ 医アッスエ 電気で 医アッスエ 電気で で で で で で で で で で で で で で	専	教授	統計学学 I 電気工学 I 電気工学 I 電気工学演習 I 電気工学演習 I 電気エ学演習 I 電気用通点ステムエ学実理 医用 I 医子 ステムエ学実 で 楽研究 I		専	教授	統計学工学工 電気工学単工 電気工学学工学工学 電気工学学演演習 電気工学学演演理 電気用値名スエー学 を用通るスエー学 を医用が研究エー学 で変更 で変更 で変更 で変更 で変更 で変更 で変更 で変更 で変更 で変更
兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士 統計学 電気工学 I 電気工学演習 I	兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士 統計学 電気工学 I 電気工学 j	兼任	講師	中山 聯二 (72)- 《平成30年4月》 工学博士 統計学 霍氣工学 I- 電気工学 I-	Ŋ	妊	講師	中山 聯二 (73)- 《平成30年4月》 工学博士 統計学 電気工学 I 電気工学 I 電気工学 I
専	教授	井関 尚一 (66) 《平成30年4月》 医学博士 解剖学理学実習生理学 展学經論論經定学Ⅲ(神経系、內分泌系)※ 卒業研究Ⅰ	専	教授	井関 尚一 (66) 〈平成30年4月〉 医学博士 解剖学 解剖生理学実習 生理学 医学概論 臨床医学Ⅲ(神経系、內分泌 系》 系。 系。 系。 系。 系。 平成30年4月〉 解剖生理学 等可能 等可能 等可能 等可能 等可能 等可能 等可能 等可能 等可能 等可能	専	教授	井関 尚一 (67) 《平成30年4月> 医学博士 解剖学生理学実習 生理学 医学概論 臨床受工 (神経系、内分泌系) ※ 卒業研究 I 中華研究 I		車	教授	井関 尚一 (68) 〈平成30年4月〉 医学博士 解剖学 解剖生理学実習 生理学 医学概論 臨床シ ※ 卒業研究Ⅰ 中経系、内分 ※ 卒業研究Ⅰ
専	教授	岩橋 正國 (65) 《平成31年4月》 博士(工学) 医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学 医甲港研究 I 卒業研究 I	専	教授	岩橋 正國 (64) 《平成31年4月》 博士 (工学) 医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学 医用治療機器学 医用治療機器	専	教授	岩橋 正國 (65) 《平成31年4月》 博士(工学) 医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学 医用治療機器学 文字研究 I 卒業研究 I		専	教授	岩橋 正國 (66) 《平成31年4月》 博士 (工学) 医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学 医用治療機器学 医用治療機器 学文業研究 I
専	教授	深澤 伸慈 (66) <ବれ(244月~ 専門学校卒 キャリアデザイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学等の機能代行装置学等の機能代行装置学等の機能代行装置学等の機能大管を再換器 ※ 医用機器安全管理学実習・ 医用機器安全管理学実習・ を実研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I	専	教授	深澤 伸慈 (64) 〈令和2年4月〉 専門学校卒 キャリアデギイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習 臨床医学 I(呼吸器、循環器) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 方一人医療論 臨床実習 卒業研究 I 卒業研究 I	専	教授	深澤 伸慈 (65) 〈令和2年4月〉 専門学校卒 キャリアデザイン・チーム論 II 協味工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学 管理学実 医用機器安全全管理学 チーム医療 第一条要要 チーム等 エーム等 を発表する。		専	教授	深 (66) 《 中慈 (66) 《 中和2年4月~ 専門2年4月~ 専門2学セイリー 東門デザイン・チーム 論耳 工学総代行装置学 実習 臨光 (2年 1年

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月〉 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 深澤	兼任	講師	担当授業科目名 深澤 伸慈 (64) 〈平成30年4月〉 専門学校卒 キャリアデザイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習	兼任	講師	担当授業科目名 深澤 伸慈 (65) 〈平成30年4月〉 専門学校卒 キャリアデザイン・チーム論 Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学	•	兼任	講師	担当授業科目名 深澤 仲慈
専	教授	八質 正司 (64) 《平成30年4月》 学術博士 電気工学実習 電電子工学I 電子工学演習 I 電子工学演習 I 電子工学演習 I 電子エ学大学実習 医用システム工学実習 医用システム工学実習 生体計測工学 卒業研究 I	專	教授	八質 正司 (64) 〈平成30年4月〉 学術博士 電気工学実習 電子工学リ軍電子工学学演習 I 電子工学学演習 I 電子工学学演習 I 電子エテンニー 医用システム工学実習 医用システムエ学実習 生体計測工学 卒業研究 I	専	教授	八質 正司 (65) 〈平成30年4月〉 学術博士 電気工学実習 電子工学I 電音子工学演習 I 電子工学演習 I 電子工学演習 I 電子工学実音 医用システム 工学実習 生体計測第 I 卒業研究 I		毒	教授	八質 正司 (66) 〈平成30年4月〉 学術が博士 電気工学実習 電子工学「軍電子工学演習 I 電子工学演習 I 電子工学演習 I 電子エ学演習 E 医用システム工学実 習 生体計測工 卒業研究 I
専	教授	平山 順 (42) (42) (42) (42) (43) (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44	專	教授	平山 順 (42) (42) (42) (42) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43	専	教授	平山 順 (43) 〈平成30年4月〉 博士 (人間・環境学) テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ(神経系、内分泌系)※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	-	毎	教授	平山 順 (44) (44) (7成30年4月> 博士 (人間・環境学) テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ(神経系、内分 泌系研究 I 卒業研究 I
専	准教授	野川 (46)	専	准教授	野川 (46年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	専	准教授	野川 (47) (47) (470,30年4月 > (470,30年4月) (470,30年4月 470,30年4月 470,30		専	准教授	野川 (48) (48) 〈平成30年4月〉 修作士(ゼミ (48) 〈平成30年4月〉 修作士(ゼミ (48) 「中央・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
専	准教授	李 鍾昊 (44) マ平成30年4月> 博士 (学術) テーマ別基を物理 を用数学 があきとしての物で 医用エマーングラミング演習 医用エターンステムエ学実習 臨来研究 I 卒業研究 I	專	准教授	李 鍾昊 (44) マ (44) マ (44) マ (44) マ (44) 博士 (学術) テーマ別基をがま 教養としての が明ま で (44) ・ (54) ・ (54) ・ (64) ・ (74) ・ (毒	准教授	李 鍾昊 (45) 〈平成30年4月〉 博士 (学術) テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 ブログラミング演習 医用エ学 医用エアムエ学実習 医来研究エ 卒業研究エ		一曲中	准教授	李 鍾昊 (46) 《平成30年4月> 博士 (学術) テーマ別基礎ゼミ教養としての物理 応用数学 ブログラミング演習 医用エ学 医用システムエ学実習 臨床実習 卒業研究 I
専	准教授	辻村 真一 (39) 〈平成30年4月〉 博士 (エ学) 亨一マ別基礎ゼミ 情報処理エ第 情報処理エジ ブログラミング演習 臨床実習 卒業研究 I 卒業研究 I	*		#田 一寿 (39) 《平成30年7月〉 博士(エ学) 「中本(エ学) テーマ別基応ゼミ 情報処理ラミング演習 応床実習 卒業研究 I 卒業研究 I	*	准教授	第日 一寿 (40) (平成30年7月) 博士 (工学) テーマ別基礎ゼミ 情報処理正用用 情報処理エデ ブログラミング演習 応床実研究 I 卒業研究 I	-	*	准教授	#田 一寿 (41) 《平成30年7月》 「博士(工学) テーマ別基応用B 「情報処理理エング演習 臨床実習 卒業研究 I 卒業研究 I

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任	•	氏 名		専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 40 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	19	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		坂元 英雄 (49) <平成30年4月> 修士 (工学)			坂元 英雄 (50) 《平成30年4月》 修士(工学)			坂元 英雄 (51) <平成30年4月> 修士(工学)				坂元 英雄 (52) <平成30年4月> 修士(工学)
專	講師	キャリアデザイン・チーム論 II 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 循環医学 I (呼吸器、循環器) ※ 庭床 医学 I (代理学 医用機器安全管理学実習 座末実習 卒業研究 I	専	講師	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学 I (呼吸器、循環器) ※ 臨床医学 I (付謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 卒業研究 I	専	講師	キャリアデザイン・チーム論 I 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学 I (呼吸器、循環 器) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床で式可究 I 卒業研究 I		専	講師	キャリアデザイン・チーム 論I 国際 開環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 随床医学 I (代謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学 医用機器 卒業研究 I
		井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士 (情報科学)			井澤 純子 (48) 〈平成30年4月〉 博士(情報科学)			井澤 純子 (49) <平成30年4月> 博士(情報科学)				井澤 純子 (50) <平成30年4月> 博士 (情報科学)
専		テーマ別基礎ゼミ 情報をファイン 情報をファイン プログランステムエ学実習 医用システムエグ学実習 医常来研究 I 卒業研究 I	専	講師	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 対プログラステムエグ学実習 医肝夫害 医年実研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	テ報を受ける。 デー報を受ける。 デー報を受ける。 デー報を表現である。 デースを表現でする。 デースを表えを表現でする。 デースを表現でする。 デースを表現でする。 デースを表現でする。 デースを表現でする。 デースを表現で		専	講師	テーマ処理を 情報を が変として での数学 プログラステムエ学 医阻夫実習 医年実研究 I 卒卒業研究 I
												佐藤 宣伯 (56) <令和2年4月> 修士 (保健学)
										*	准教授	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ (代謝,血液) 考膜技術の科学的検証 臨床実習 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ
		佐藤 宜伯 (55) <平成31年4月> 専門学校卒			佐藤 宜伯 (54) 《平成31年4月》 専門学校卒			佐藤 宜伯 (55) <平成31年4月> 専門学校卒				佐藤 宣伯 -(56)- - (平成31年4月- 専門学校卒
兼任	講師	代謝機能代行装置学 大謝機能代行装置学実習 臨床医学軍(代謝、血液) ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習	兼任	講師	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学耳(代謝、血液) ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習	兼任	E 講師	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学 I (代謝、血液) ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習		兼任	講師	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学エ(代謝、血液) ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習
												鈴木 侑斗 (27) <令和2年4月> 博士 (工学)
										*	助教	電子工学実習 医用システム工学実習 医用治療機器学実習 生体計変1 生本景研究I 卒業研究I
兼担	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼担	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼担	型 教授	木村 繁男 (68) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)		兼担	教授	木村 繁男 (69) 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※				現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	兼担	担 教授	山田 外史 (69) 〈平成30年4月〉 工学博士		兼担	教授	山田 外史 (70) <平成30年4月> 工学博士
		日本産業史 ※			日本産業史 ※			日本産業史 ※				日本産業史 ※
兼担	講師	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士	兼担	講師	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士	兼担	3 講師	山田 良穂 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士		兼担	講師	山田 良穂 (69) <平成30年4月> 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※			アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	7117.12		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※				アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任	旦 · 壬	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
兼担	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	安達 正明 (67) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ	兼	担	教授	安達 正明 (68) <平成30年4月> 工学博士
		教養としての物理 現代科学技術論			教養としての物理 現代科学技術論			教養としての物理 現代科学技術論				アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論
兼担	教授	木村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士 データ科学と社会 ※	兼担	教授	本村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	木村 春彦 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士	兼	担	教授	木村 春彦 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士
		現代科学技術論 ※			データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※			データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※				データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端 信義 (65) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	川端 信義 (65) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	川端 信義 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士	兼	担	教授	川端 信義 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士
		現代科学技術論 ※ 田村 博志			現代科学技術論 ※ 田村 博志			現代科学技術論 ※ 田村 博志				現代科学技術論 ※ 田村 博志
兼担	教授	(65) <平成31年4月> 理学博士	兼担	教授	(64) <平成31年4月> 理学博士	兼担	教授	(65) <平成31年4月> 理学博士	兼	担	教授	(66) 《平成31年4月》 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※			教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※			教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※				教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (64) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	田村 博志 (64) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	田村 博志 -(65)- <平成30年4月> 理学博士	兼	任	講師	田村 博志 -(66)- - 《平成30年4月》 - 理学博士
		現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※				現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	岩田 佳雄 (64) 〈平成31年4月〉 工学博士	兼担	教授	岩田 佳雄 (65) 〈平成31年4月〉 工学博士	兼	担	教授	岩田 佳雄 (66) 〈平成31年4月〉 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※			アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※			アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※				アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士	兼任	講師	岩田 佳雄 -(65)- <平成30年4月> 工学博士	兼	任	講師	岩田 佳雄 -(66)- - 《平成30年4月》 工学博士
		日本産業史 ※			日本産業史 ※			日本産業史 ※				日本産業史 ※
兼担	教授	新田 雅道 (60) <平成31年4月> 博士 (工学)	兼担	教授	新田 雅道 (59) <平成31年4月> 博士 (工学)	兼担	教授	新田 雅道 (60) 〈平成31年4月〉 博士(工学)	兼	担	教授	新田 雅道 (61) <平成31年4月> 博士 (工学)
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※			アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※			アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※				アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学)	兼任	講師	新田—雅道 -(60)- - - 平成30年4月> - 博士 (工学)-	兼	任	講師	新田—雅連 -(61)- <平成30年4月> 博士 (工学)-
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※			アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※			アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※				アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼担	教授	富澤 淳 (59) <平成30年4月> 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	富澤 淳 (59) 《平成30年4月》 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	富澤 淳 (60) <平成30年4月> 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼	₹担	教授	富澤 淳 (61) < 平成30年4月 > 博士 (工学)
		上田 芳弘			上田 芳弘			上田 芳弘	\vdash			上田 芳弘
兼担		(60) 〈令和3年4月〉 博士(工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	(57) 〈令和3年4月〉 博士(工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	(58) <令和3年4月> 博士(工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼	担	教授	(59) <令和3年4月> 博士 (エ学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※

専任・			専任・			専任・			専任・	г —	ı
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	石若 裕子 (51) 〈令和3年4月〉 博士(工学) 情報処理基礎	兼担	准教 授	石若 裕子 (48) 〈令和3年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	准教授	石若 裕子 (49) <令和3年4月> 博士(工学) 情報処理基礎	兼担	准教 授	石若 裕子 (50) 〈令和3年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎
		情報処理応用A			情報処理応用A			情報処理応用A			情報処理応用A
兼担	准教授	定津 正利 (47) (47) 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	准教 授		兼担	准教授		兼担	准教 授	定津 正利 (49) (49) (平成30年4月) 博士 (工学) 情報処理基礎
兼担	准教 授	根原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	准教 授	展原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士 (エ学) 情報処理基礎	兼担	准教 授	根原 祐輔 (33) <平成30年4月> 博士(工学) 情報処理基礎	兼担	准教 授	展原 祐輔 (34) <平成30年4月> 博士 (エ学) 情報処理基礎
		情報処理応用A			情報処理応用A			情報処理応用A			情報処理応用A
兼担	教授	森川 浩子 (64) 〈平成30年4月〉 修士(教育学) テーマ別基礎ゼミ	兼担	教授	森川 浩子 (64) <平成30年4月> 修士(教育学) テーマ別基礎ゼミ	兼担	教授	森川 浩子 (65) 〈平成30年4月〉 修士(教育学) テーマ別基礎ゼミ	兼担	教授	森川 浩子 (66) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学) テーマ別基礎ゼミ
兼担	教授	中島 秦子 (65) <平成30年4月> 博士 (医学)	兼担	教授	中島 秦子 (65) <平成30年4月> 博士 (医学)	兼担	教授	中島 素子 (66) <平成30年4月> 博士 (医学)	兼担	教授	中島 素子 (67) <平成30年4月> 博士(医学)
		健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※
兼担	教授	内田 美保 (59) <平成30年4月> 修士(感染制御学) テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策	兼担	教授	内田 美保 (59) <平成30年4月> 修士(感染制御学) テーマ別基礎ゼミ 看護学概論※ グローバル感染対策	兼担	教授	内田 美保 (60) 〈平成30年4月〉 修士(感染制御学) テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策	兼担	教授	内田 美保 (61) 〈平成30年月> 修士 (感染制御学) テーマ別基礎ゼミ 看護学概訓・ グローバル・感染対策
兼担	教授	小泉 由美 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	兼担	教授	小泉 由美 (59) 《平成30年4月》 博士 (医学)	兼担	教授	小泉 由美 (60) <平成30年4月> 博士 (医学)	兼担	教授	小泉 由美 (61) 《平成30年4月》 博士 (医学)
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ
兼担	教授	松井 優子 (52) 《平成30年4月》 博士 (保健学) 看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証	兼担	教授	松井 優子 (52) (平成30年4月) 博士 (保健学) 看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証	兼担	教授	松井 優子 (53) <平成30年4月> 博士 (保健学) 看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証	兼担	教授	松井 優子 (54) 《平成30年4月》 博士(保健学) 看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証
		徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士 (看護学)			徳田 真由美 (52) 〈平成30年4月〉 博士(看護学)			徳田 真由美 (53) 〈平成30年4月〉 博士(看護学)			徳田 真由美 (54) 〈平成30年4月〉 博士(看護学)
兼担	教授	地域包括ケア	兼担	教授	地域包括ケア	兼担	教授	地域包括ケア	兼担	教授	地域包括ケア
兼担	教授	坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士 (保健学)	兼担	教授	坂本 めぐみ (52) <平成31年4月> 博士 (保健学)	兼担	教授	坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士 (保健学)	兼担	教授	坂本 めぐみ (54) 〈平成31年4月〉 博士(保健学)
		地域の健康課題と多職種連携			地域の健康課題と多職種連携			地域の健康課題と多職種連携			地域の健康課題と多職種連 携
兼担	教授	山崎 松美 (42) 《平成30年4月》 博士(保健学)	兼担	教授	山崎 松美 (42) 《平成30年4月》 博士(保健学)	兼担	教授	山崎 松美 (43) 《平成30年4月》 博士(保健学)	兼担	教授	山崎 松美 (44) (平成30年4月> 博士(保健学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論 II			キャリアデザイン・チーム 論 II

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	亲	享任・ 検担・ 使任 O別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教 授	日下 純子 (64) 《平成30年4月》 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	兼担	准教授	日下 純子 (64) 《平成30年4月》 修士(社会福祉学) 修士(看護学)		兼担	准教授	日下 純子 (65) 《平成30年4月》 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	兼担	准教授	日下 - 純子 -(66)- < 平成30年4月> 修士(者格性学)- 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ				テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ
兼担	准教授	松村 愛都 (60) 〈平成30年4月〉 修士 (看護学) テーマ別基礎ゼミ	兼担	准教授	松村 愛都 (60) 〈平成30年4月〉 修士(看護学) テーマ別基礎ゼミ	-	兼担	准教授	松村 愛都 (61) <平成30年4月> 修士(看護学) テーマ別基礎ゼミ	兼担	准教授	松村 愛都 (62) 〈平成30年4月〉 修士 (看護学) テーマ別基礎ゼミ
兼担	講師	清水 由加里 (50) 〈平成30年4月〉 修士 (看護学) キャリアデザイン・チーム論 II	兼担	講師	清水 由加里 (500年4月> (本年成30年4月> (多士 (看護学) キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	-	兼担	講師	清水 由加里 (51) <平成30年4月> 修士(看護学) キャリアデザイン・チーム論 II	兼担	講師	清水 由加里 (52) 〈平成30年4月〉 修士 (看護学) キャリアデザイン・チーム 論Ⅱ
兼担	助教	藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士 (保健学) キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	兼担	助教	藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士 (保健学) キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	<u>-</u>	兼担	助教	藤田 結香里 (31) <平成30年4月> 修士 (保健学) キャリアデザイン・チーム論 II	兼担	助教	藤田 結香里 (32) <平成30年4月> 修士 (保健学) キャリアデザイン・チーム 論 II
兼担	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士 アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	兼担	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士 アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	-	兼担	教授	岩田 礼 (66) <平成30年4月> 文学修士 アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	兼担	教授	岩田 礼 (67) <平成30年4月> 文学修士 アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4年> 農学博士 アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題	兼担	教授	宮崎 猛 (67) 〈平成30年4年〉 農学博士 アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題	<u>-</u>	兼担	教授	宮崎 猛 (68) 《平成30年4年》 農学博士 アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題	兼担	教授	宮崎 猛 (69) 〈平成30年4年〉 農学博士 アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (666) (平成30年4月> Ph.D., linguistics (米国) 言葉と文化 ※ 英語 Ib	兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) 〈平成30年4月〉 Ph.D., linguistics (米国) 言葉と文化 ※ 英語 I b	-	兼担	教授	VANCE, Timothy John (67) 〈平成30年4月〉 Ph.D., linguistics (米国) 言葉と文化 ※ 英語1b	兼担	教授	VANCE, Timothy John (68) 〈平成30年4月〉 Ph.D., linguistics (米国) 言葉と文化 ※ 英語 I b
兼担	教授	盛田 清秀 (65) 《平成30年4月》 博士(農学) 経済学 ※	兼担	教授	英語 I b 盛田 清秀 (65) 《平成30年4月》 博士 (農学)	-	兼担	教授	英語 II b 盛田 清秀 (66) 《平成30年4月》 博士 (農学)	兼担	教授	英語 II b 盛田 清秀 (67) 《平成30年4月》 博士 (農学) 経済学 ※
兼担	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼担	教授	西村 聡 (63) 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	:	兼担	教授	西村 聡 (64) <令和2年4月> 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼担	教授	西村 聡 (65) 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) (マ成30年4月> 博士(文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼任	講師	西信部 総 (63) (73) (73) (73) (73) (73) (73) (73) (7		兼任	講師	西村 聡 (64) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼任	講師	西村 戦 - (485) - (平成30年4月> 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II b	兼担	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b		兼担		岡村 撤 (57) <平成30年4月> 博士(比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 Ia 英語 Ia	兼担	教授	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化) アカデミック・スキルズ 英語 Ia 英語 Ia 英語 II b

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			 担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	村谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士 (文学) 文化人類学 スペイン語 I スペイン語 I	兼担	教授	杓谷 茂樹 (55) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 文化人類学 スペイン語 I スペイン語 I	兼担	教授	杓谷 茂樹 (56) <平成30年4月> 修士 (文学) 文化人類学 スペイン語 I スペイン語 I	兼担	教授	杓谷 茂樹 (57) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 文化人類学 スペイン語 I スペイン語 I
兼担	教授	刘 酒华 (55) 《平成30年4月》 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I	兼担	教授	刘 迺华 (55) 〈平成30年4月〉 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I	兼担	教授	刘 適华 (56) <平成30年4月> 文学硕士 (中国) 中国語 I 中国語 I	兼担	教授	刘 迺华 (57) (平成30年4月> 文学硕士 (中国) 中国語 I
兼担	准教 授	塩谷 サルフィ マクスタ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国) 英語 I a 英語 II a	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国) 英語 I a 英語 II a 英語 II a	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国) 英語 I a 英語 II a	兼担	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国) 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市) アカデミック・スキルズ	兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) 〈平成30年4月〉 博士 (創造都市) アカデミック・スキルズ	兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) 〈平成30年4月〉 博士 (創造都市) アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	中子(佐藤) 富貴子 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (創造都市) アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士 英語 I a 英語 II a	兼担	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士 英語 I a 英語 II a	兼担	准教授	小原 文衛 (50) 《平成30年4月》 文学修士 英語 I a 英語 II a	兼担	准教授	小原 文衛 (51) (平成30年4月) 博士 (文学) 英語 I a 英語 II a
兼担	准教 授	ーノ渡 忠之 (43) <平成30年4月> 博士 (商学) 経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 I	兼担	准教 授	- ノ渡 忠之 (43) < 平成30年4月 > 博士(商学) 経済学 ※ ロシア語 I	兼担	准教 授	ーノ渡 忠之 (44) <平成30年4月> 博士 (商学) 経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ	兼担	准教 授	ーノ渡 忠之 (45) 〈平成30年4月〉 博士 (商学) 経済学 ※ ロシア語 I
兼担	准教 授	本村 誠 (38) <平成31年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼担	准教 授	木村 誠 (37) <平成31年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼担	准教 授	本村 誠 (38) <平成31年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼担	准教 授	本村 誠 (39) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	本村 誠 (37) <平成30年4月 > 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼任	講師	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士 (学術) アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼任	講師	本村 議 -(39)- <平成30年4月> 博士 (学術)- アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼任	講師	本村 譲 (39)- <平成30年4月> 博士 (学術)- アカデミッケ・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼担	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士 (政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教授	木場 紗綾 (37) 〈平成30年4月〉 博士(政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	木場 紗綾 (38) 《平成30年4月》 博士(政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	木場 秒綾 (39) 〈平成30年4月〉 博士(政治学) アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	准教 授	千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士 (地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士 (地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教授	千葉 悠志 (33) <平成30年4月> 博士(地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※	兼担	准教 授	千葉 悠志 (34) 〈平成30年4月〉 博士 (地域研究) アカデミック・スキルズ 政治学 ※

職名	氏名 (年齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・兼担・		氏 名 (年 齢)
	In the street in the		職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 師) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士 (文学) 英語 I a	兼担	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士 (文学) 英語 I a	兼担	助教	長辻 幸 (36) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語 I a	兼担	助教	長辻 幸 (37) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)
				英語Ⅱa			英語 II a			英語Ⅱa
					兼担	助教	史 金星 (38) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	助教	史 金星 (39) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎
					兼担	助教	朴 亨原 (36) 〈平成31年4月〉 博士 (工学)	兼担	助教	・ 本 字原 (37) (37) (マ成31年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎
							1 育報处理書館			1有報处理基礎
溝師・	破 陽子 (41) 〈平成30年4月〉 博士 (学術)	兼担	教授	横川 善正 (69) <平成30年4月> 文学修士	兼担	教授	横川 善正 (70) <平成30年4月> 文学修士	兼担	教授	横川 善正 (71) <平成30年4月> 文学修士
	起源と入口			匹派と入口			英語 I a			英語 I a
										島内 俊彦 (50) <令和2年4月> 博士 (学術)
								兼担	授	英語 工 英文会話 I 実用英語 I 実用英語 I 実用英語 I
	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)			島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)			島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士 (外国研究)			島内 俊彦 -(50)- - (50)- (平成30年4月> 博士 (学術)-
再即	英会話I 英会話I 実用英語I 実用英語I 実用英語II	兼任	講師	英語 工 英英会話 I 英央開英語 I 実用英語 I 実用英語 I 実用英語 II 実用 英語 IV	兼任		英会話Ⅱ 実用英語 I	兼任	講師	英語 英文芸語 I 実用英語 I 実用英語 I 実用英語 I 実用英語 I 実用英語 I
溝師	三浦 要 (59) 〈平成30年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	三浦 要 (59) 《平成30年4月》 博士 (文学)	兼任	講師	三浦 要 (60) 〈平成30年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	三浦 要 (61) (平成30年4月) 博士 (文学)
				哲学 クリティカルシンキング			哲学 クリティカルシンキング			哲学 クリティカルシンキング
講師・	宇根 義己 (38) <平成30年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	宇根 義己 (38) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	宇根 義己 (39) <平成30年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	宇根 義己 (40) 〈平成30年4月〉 博士 (文学)
	人文地理学			人文地理学			人文地理学			人文地理学
溝師	溝部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (69) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (70) <平成30年4月> 文学修士
	社会学			社会学			社会学			社会学
講師・	木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師	木村 高宏 (43) 《平成30年4月》 博士(政策科学)	兼任	講師	木村 高宏 (44) <平成30年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師	木村 高宏 (45) <平成30年4月> 博士(政策科学)
	公共政策論			公共政策論			公共政策論			公共政策論
	· 有	英語 I a	英語 I a	英語 I a	東語 I a 東京 (69)	東部	大田 本日 本日 本日 本日 本日 本日 本日 本			英語 京

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	#上 英夫 (70) 《平成30年4月》 法学修士 社会福祉論	兼任	講師	#上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士 社会福祉論	兼任	講師	#上 英夫 (71) <平成30年4月> 法学修士 社会福祉論	兼任	講師	井上 英夫 (72) 〈平成30年4月〉 法学修士
兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士(法学) 日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (46) 〈平成30年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (47) 《平成30年4月》 修士(法学)
兼任	講師	榊原 千秋 (56) 《平成30年4月》 博士 (保健学) 健康と体の科学 ※	兼任	講師	榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士 (保健学) 健康と体の科学 ※	兼任	講師	榊原 千秋 (57) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学) 健康と体の科学 ※	兼任	講師	榊原 千秋 (58) 〈平成30年4月〉 博士(保健学) 健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) 〈平成30年4月〉 休育学士 スポーツ演習 (パレーボール) スポーツ演習 (受式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (フット スポーツ演習 (フット	兼任	講師	松下 裕子 (58) 〈平成30年4月〉 体育学士 スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (戸ストサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (卓球)	兼任	講師	松下 裕子 (59) 〈平成30年4月〉 体育学士 スポーツ演習 (パレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (ファントナル) スポーツ演習 (ファントナル) スポーツ演習 (ファントナル)	兼任	: 講師	松下 裕子 (60) 〈平成30年4月〉 体育学士 スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士 (文学)	兼任	講師	川畠 嘉美 (47) (令和2年4月> 修士 (文学) 英語 I a	兼任	講師	川畠 嘉美 (48) (令和2年4月> 修士 (文学) 英語 I a	兼任	辨師	川 <u>畠</u> - 高美 - (49) (令和2年4月> 修士 (文学)-
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) 《令和2年4月》 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (53) 〈令和2年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (54) 《令和2年4月》 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) 〈令和2年4月〉 博士(学術)
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) 《平成30年4月》 B.A. (Psychology) (米国) 英語 Ib	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) < 平成30年4月 > B. A. (Psychology) (米国) 英語 I b 英語 II b	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) 《平成30年4月》 B. A. (Psychology) (米国) 英語 I b 英語 I b	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (51) 〈平成30年4月〉 B. A. (Psychology) (米国) 英語 I b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) 〈平成30年4月〉 PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (44) 《平成30年4月> PhD Culturel Anthropology (米國)	兼任	· 講師	ERTL_JOHN_JOSEF -(45) -(45) -(平成30年4月> PhD-Cultural Anthropology -(米国) -(米国)
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) 〈平成30年4月〉 PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) 〈平成30年4月〉 PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) 《平成30年4月> PhD in International Relations (英国) 美語 I b 英語 I b	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (44) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国) 英語 Ib 英語 Ib
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparé e) (仏国) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Litterature comparé e) (仏国) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	大竹口 麻里 (55) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語教授法) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国) フランス語 I フランス語 I

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 衆田 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (49) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (49) (平成30年4月> 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (50) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (51) (7030年4月> 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I
兼任	講師	南保 英孝 (46) 《平成30年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (46) 《平成30年4月》 博士(工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (47) 《平成30年4月》 博士(工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (48) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎
兼任	講師	相内 信 (68) 〈平成30年4月〉 法学修士 医療関係法規	兼任	講師	相内 信 (合 (年成30年4月) 法学修士 医療関係法規	兼任	講師	相内 信 (69) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	相内信 (70) <平成30年4月> 法学修士 医療関係法規
兼任	講師	川井 惠一 (59) 〈平成30年4月〉 薬学博士 薬理学	兼任	講師	川井 惠一 (59) 〈平成30年4月〉 薬学博士 薬理学	兼任	講師	川井 惠一 (60) 〈平成30年4月〉 薬学博士 薬理学	兼任	講師	川井 惠一 (61) 〈平成30年4月〉 薬学博士 薬理学
兼任	講師	模井 勝 (47) ⟨平成31年4月⟩ 博士 (医学) 公衆衛生学	兼任	講師	模井 勝 (46) ⟨平成31年4月⟩ 博士(医学) 公衆衛生学	兼任	講師	櫻井 勝 (47)⟨平成31年4月⟩博士 (医学) 公衆衛生学	兼任	講師	櫻井 勝 (48) <平成31年4月 > 博士 (医学) 公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (52) <平成31年4月> 博士 (歯学) 感染免疫学	兼任	講師	岡本 成史 (51) 《平成31年4月》 博士(歯学) 感染免疫学	兼任	講師	岡本 成史 (52) 〈平成31年4月〉 博士 (歯学) 感染免疫学	兼任	講師	岡本 成史 (53) 《平成31年4月》 博士 (歯学) 感染免疫学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太宇の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成30年度】

(平成30年4月教員審査済)

・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部の専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加。 ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加(平成31年1月教員審査済)。 ・共通教育科目「英語1b」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。 ・共通教育科目「ブランス語Ⅰ」「ブランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語 I」「フランス語 I」の担当教員を、兼任教員の大竹口 麻里講師から兼任教員の岩津 航講師に変更。
 兼任教員の川畠 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語 I a」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
 兼任教員の周内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から兼担教員に変更。保有学位を学士(外国研究)から博士(学術)に変更。
 兼任教員の日下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。
 兼任教員の 「下 純子推教授の保有学位を文学修士から博士(文学)に変更。
 ・ 推教教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士(文学)に変更。
 ・ 佐藤 宜伯准教授を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「代謝機能代行装置学」「代謝機能代行装置学実習」「臨床医学Ⅱ(代謝、血液)」「看護技術の科学的検証」「臨床実習」「卒業研究 I」「卒業研究 I」の担当教員に追加。令和 2 年度第1回 A C 教員審査に提出(5月1日時点で審査中)。
 鈴木 侑斗助教を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「電子学実習」「医用システム工学実習」「医用治療機器学実習」「生体計測装置実習」「卒業研究 I」「卒業研究 I」「卒業研究 II」の担当教員に追加。令和 2 年度第1回 A C 教員審査に提出(5月1日時点で審査中)。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。 AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) ② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況								
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')			
7	3	2	0	12	0	7	3	2	1	13	0			
(4)	(3)	(2)	(0)	(9)	0									
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画								
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')			
7	3	2	0	12	0	7	3	2	0	12	0			
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]			

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入</u>するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成										
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数									
65	6	6									
嵌	名	名									

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 6 現在(報告時)の状況(B) 46.15

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 0 = #DIV/0! % 設置時の計画(A') = 0 = #DIV/0! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任	補充状	況	勍	任辞退	(未	就任)の理	由		
							必修	テーマ別基礎1	žE	1								
							選択	情報処理応用	В	1								
							必修	情報処理工具	Ź	1								
	1	准教	授	辻村	真一	H29. 12	必修	プログラミング	寅習	1		H30.1健康	東上の理	曲の	ため就任辞	褪((30)	
							必修	臨床実習		1								
							必修	卒業研究 I		1								
							必修	卒業研究Ⅱ		1								
					合計	(D)					後	任補充状況	の集計	(E))			
	勍	忧任を	辞:	退した教	員数	担当科目	目数の合計((a) + (b) + (c)	①の合詞	†数(a)	1	②の合計	十数 (b)		③の合計	数((c)	
						必	修	6 科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科	目
						選	択	1 科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科	目
			ı		人	自	由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科	4 目
	計		7 科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科	18					

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退 (未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	10 N	担当予定科目	1	後任	補充状	況	辞任等の理由					
				該当なし														
	合計(後	任補充状況	の集計	(G)		
		辞	任l	した教員数	担当科目	目数の合計	(a)	+ (p) + (c)	10	の合計	数 (a))	②の合計	l数(b))	③の合計	数(c	;)
					必	修	0	科目	必任	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			_		選	択	0	科目	選打	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自日	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					į	†	0	科目	計	t	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・(3) -② の合計

	合計(D	後任補充状況の集計 (E) + (G)											
辞任等し	た教員数	担当科目数の合語	t† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	ł数(b)	†数(c	;)	
		必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
1	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = -

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	番 号 職 位 専任教員氏名 💩 🕸 · 選択 · 自由の別 担当予定科目					予定科目	後任補充状況辞任等の理由									
				該当なし												
合計							後任補充状況の集計									
		辞	任し	た教員数	担当科目数の合計	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	ŀ数(b))	③の合計	数(c)
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			_		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部における専任教員就任辞退者は、開学年度の前期に担当授業科目を有しておらず、学生の履修等への影響は出ていない。 後任については、候補者選を速やかに行い、平成30年4月のAC教員審査で審査を受けている。なお、当該後任については、授業を 持たない専任教員として平成30年4月から採用し、授業の準備等に十分な準備期間を与えることで適切な履修につなげるよう対応を 行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
設置時(29年8月)	・設置のさをできます。またでは、大学では、大学では、できないできまり、できないできまり、できないできまり、できないできまり、できないできまり、できないできないできます。	留意事項	・ネ計な・に部組い ・向員長もすた・づで始水施・基をにう(・度つるお行理ジ画大教向教みる 設け会のとる。授くの動準し中づ計、体令 引計のといっ事メを学育け授を。 置、をトにた 業授プな向て期き画定制和 き画事とてた長ン確運研、会行(計各組ッ大め 評業口ど上い計、的期を元 続に項も定のと行っ水員制を の	履行中	・るを画・委員委画学い ・がえをマ捗がか(・ネ議でてて・定課報間(
設置時(29年8月)	・運動場及び体育館が別地に支にといい、教育にあるではも活動では、うには、大きなのでは、できますが、できますが、できますが、できますが、できません。	留意事項	・てのもに対・ン拠が支る ・をでてを (・のツ活よ (・のツ活よ) やいくと行う ャの物を	履行済	・よ努も図(・と教い善く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

設置時(29年8月)	・完成年度前に、東京の大学を表現を表現を表現では、、東京の大学を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	留意事項	・中長期的な観点から、 ・中長期的な観点から計画 育成のための計で 育成のたい沿下で 一段では、 一段では、 一段では、 一段では、 一段では、 一段では、 一段には、 一段には、 一段には、 一段には、 一段には、 一段には、 一段には、 一段には、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ののでは、 一ので	履行中	・今年は公も諮度 ・計画とにて のといる のとに 年間後員とを のの定に 対して がいまれる ののでで、 多年ののでで、 でのでで、 多年ののでで、 多年ののでで、 多年ののでで、 多年ののでで、 多年ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 で、
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	・定年規程に定める退職年記録を申して、 職年を超える専任との事にを開きを記される。 をでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	指摘事項 (改善)	・引き続き教員組織の在り 方について検討を行っている。 ・教員採用計画に基づき、 教員の公募を開始している。(令和2年度)	履行中	・今年度中に、教員採用・ 育成計画のもとに、教員の 公募・育成を行い、適宜A C教員審査に諮っていく。 (令和2年度)

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

〈保健医療学部 臨床工学科〉

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定(30年4月)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成31年3月 開催

c 委員会の審議事項等

FD·SDの推進計画の策定、実施に関すること

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 財務システム研修会
 - 公立大学の役割を学ぶ研修会
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会
 - 労働安全衛生に係る研修会
 - 競争的研究資金獲得に向けた研修会
 - ・ 研究倫理研修会 (e-ラーニング)
 - ・ 新任事務職員のための研修会
 - 授業方法に係る研修会
 - 研究計画調書の作成に係る研修会
 - 救命講習会

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。 全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 財務システム研修会(30年4月、31年4月) 教員・事務職員対象 全員受講
 - ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会(30年7月、元年7月) 教員・事務職員対象 89人参加
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会(30年8月、元年8月)教員・入試関連事務職員対象 62人参加
 - ・ 労働安全衛生に係る研修会(31年2月) 教員・事務職員対象 66人参加
 - ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会(31年3月) 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
 - ・ 研究倫理研修会(e-ラーニング) 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
 - ・ 新任事務職員のための研修会(30年4月~10月、31年4月~10月) 新任事務職員対象 11人参加
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月)
 - 授業方法に係る研修会(元年7月) 教員対象 74人参加
 - ・ 研究計画調書の作成に係る研修会(元年9月) 教員対象 60人参加
 - · 救命講習会(元年9月) 教員·事務職員対象 全員受講
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
 - ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月、元年12月)
 - ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している (前期・後期終了後)
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。 該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる 法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受ける こととなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

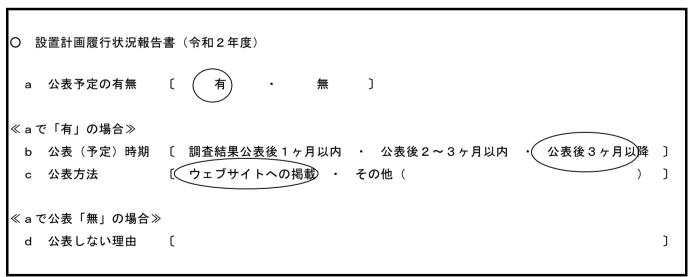
職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく 環境を引き続き整えていきたい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和2年6月 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和2年6月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - 学内で検討を行っている。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項



※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

- (2) 大 学 名 公立小松大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921 石川県小松市土居原町10-10

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(イシダ ヒロト)		
理 事 長	石田 寛人		
	(現職就任30年4月)		
	(ヤマモト ヒロシ)		
学 長	山本 博		
	(現職就任30年4月)		
	(イワタ レイ)		
学 部 長	岩田 礼		
	(現職就任30年4月)		
	(イワタ レイ)		
学科長等	岩田 礼		
	(現職就任30年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元) 令和2年度に報告する内容 → (2)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 <u>を追加してく</u>ださい。
 - 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
国際文化交流学部 国際文化交流学科 学士(国際文化学)	文学関係	4年	80人	年次 一	320人	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

	対象年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和元	亡年度	令和 2	2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	1/H	75
		_	_	_	_	80人	一人	80人	一人	80人	一人				
Α	入学定員	(–	-)	(–	-)	(–	-)	(–	-)	(–	-)				
						427	_ ,	674	_ ,	426					
	志願者数	(-)	(—)	(-)	(–)	(–)	(-)	(–)	(-)	(-)	(-)				
		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]				
	= FA + W	. —			_	330		436		238	l				
	受験者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1. 02倍	— 倍		
		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	145	L — J	114	L — J	104	<u> </u>				
	合格者数	(-)	(—)	(—)	(—)	(_)	(-)	(–)	(—)	(-)	(-)				
		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]				
		_	_	_	_	83		83		80					
В	入学者数	(-)	(-)	(—)	(—)	(-)	(-)	(—)	(-)	(-)	(-)				
入与	学定員超過率 B/A	<u> </u>	- -	- -	<u>. — J</u>	1.	03	1.	03	L — J	<u> </u>				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ())内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
 - <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 <u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期										
		_	_	_	_	83	_	83	_	80	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(—)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
					_	-	-	82	_	82	_		
	2 年次			[—]	[-]	[—]	[-]	[—]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						_	_	_	_	82	_		
	3年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
						(-)	(—)	(-)	(-)	(—)	(-)		
								_	_	_	_		
	4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]		
								(-)	(-)	(—)	; — ;		
						8	3	10	65	24	44		
	計	[]	[]	[-	-]	[-	-]	[-	-]		
		()	()	(-	_)	(-	_)	(-	_)		

- ・令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i}}$ 当がない年には「-」を記入
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	者数	主な退学理由
対象年度			入学した年度	返于	うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
平成28年度	— 人	一 人	平成28年度	一人	一 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	一 人	一 人	
十成29千皮			平成29年度	一 人	一 人	
			平成28年度	一人	一人	
平成30年度	83 人	1 人	平成29年度	一人	一人	
			平成30年度	1 人	0 人	・その他(就職活動を行うため)(1人)
			平成28年度	一 人	一 人	
令和元年度	165 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	・その他(一身上の都合)(1人)
			平成28年度	一人	一 人	
			平成29年度	一人	一人	
令和2年度	244 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・ 就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 永6
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	- = _	=	#VALUE! %
【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	- = _	=	#VALUE! %
【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- =	<u>1</u> =	1.2 %
【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	- =	<u>1</u> =	0.6
【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	- =	0 =	0 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

単位数 専任教員等の配置 配当年 任 科目 区分 授業科目の名称 選 教 講 助 必 自 准 · 兼 担 キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論Ⅲ 1前 2 1 1 アカテ゛ミック・スキルス゛ 1前 入 テーマ別基礎セミ 1後 2 8 8 11 情報処理基礎 1前 2 南加賀の歴史と文化 1後 2 6 小計(5科目) 8 0 0 8 8 0 1 0 16 哲学 1前 2 心理学 1前 2 人間の発達と心 1前 2 1 日本の伝統芸能 1前 2 目 人文地理学 1後 2 1 文化人類学 1後 2 1 医療と文化 1後 2 1 文章表現法 1後 2 1 言葉と文化 1後 2 2 小計(9科目) 0 18 0 4 1 0 0 0 3 1前 日本産業史 2 自然資源と環境問題 1前 2 般 経済学 1前 2 共通教育科目 政治学 1後 2 2 目 社会学 1後 2 1 社 公共政策論 1後 2 1 カ 社会福祉論 1後 2 1 日本国憲法 1前 小計(8科目) 0 16 0 2 3 0 0 0 8 1前 データ化学と社会 2 3 情報処理応用A 1後 2 2 情報処理応用B 1後 2 クリティカルシンキング 1後 2 1 統計学 1前 2 2 教養としての物理 2 1前 2 教養としての数学 1後 2 2 現代科学技術論 1前 2 5 0 0 0 0 0 小計(8科目) 0 16 0 14 健康と体の科学 1前 2 2 スポーツ演習(バ レーボール) 1 1 スポーツ演習(硬式テニス) 1前 1 1 スポーツ演習(フット 1前・ 健 1 1 サル) 康 スポーツ演習(卓 球) 1後 1 1 体 スポーツ演習(バド ミントン) 1前 力 小計(6科目) 0 7 0 0 0 0 0 3

【令和2年度】

1 .1			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 III	1前	1			2	1				
	導	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								
	入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11
	科目	情報処理基礎	1前	2								8
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1					
		小計(5科目)	_	8	0	0	8	8	0	1	0	19
		哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2			1				
	般	人間の発達と心	1前		2			1				
	科	日本の伝統芸能	1前		2		1					
	目	人文地理学	1後		2							1
	人	文化人類学	1後		2		1					
	間力	医療と文化	1後		2		1					
	~	文章表現法	1後		2		1					
		言葉と文化	1後		2		2					
		小計(9科目)	_	0	18	0	5	1	0	0	0	2
		日本産業史	1前		2							4
	_	自然資源と環境問題	1前		2		1					
#	般科	経済学	1前		2		1	1				
共通	目	政治学	1後		2			2				
教	<u></u>	社会学	1後		2							1
育科	社会	公共政策論	1後		2							1
目	カ	社会福祉論	1後		2							1
	$\overline{}$	日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	_	0	16	0	2	3	0	0	0	8
		データ化学と社会	1後		2							3
	般	情報処理応用A	1後		2							2
	科	情報処理応用B	1後		2							1
	目	クリティカルシンキング 統計学	1後 1後		2							1 2
	科	教養としての物理	1前		2							2
	学	教養としての数学	1前		2							2
	カ	現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	_	0	16	0	0	0	0	0	0	14
		健康と体の科学	1前		2							2
	般	スポーツ演習(バ	1前・		1							1
	科	レーボール) スポーツ演習(硬	後									
	目	式テニス)	1前		1							1
	健	スポーツ演習(フット サル)	1前・ 後		1							1
	康と	スポーツ演習(卓	1後		1							1
	体	球) スポーツ演習(バド	1版 1前·									
	カ	ミントン)	後		1							1
		小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	3

	_		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼担
		英語Ia	1前	修 2	択	由	授	授	師	教 1	手	2
		英語 I b	1前	2			1					2
		英語Ⅱa	1後	2			1	1		1		
		英語Ⅱb	1後	2			1	1				2
	英	英語皿	1後	2								1
	語科	実用英語 I	1前・ 後			2						1
	目	実用英語Ⅱ	1前・ 後			2						1
		実用英語皿	1前・			2						1
共		実用英語Ⅳ	後 1前・			2						1
通			後	-10	•		_	•	_	_	_	-
教育		小計(9科目) 中国語 I		10	0	8	2	2	0	1	0	6
科		中国語工	1前 1後		2		1					
目		フランス語 I	1前		2		'					1
	その	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	の他	ドイツ語 I	1前		2							1
	外	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	国語	ロシア語 I	1前		2			1				
	科	ロシア語 II	1後		2			1				
	目	スペイン語 I	1前		2		1					
		スペイン語 Ⅱ	1後		2		1					
		小計(10科目)		0	20	0	2	1	0	0	0	2
		国際交流論	1前	2			1	3				
		観光学概論	2前		2		1	1				
卓	草	地域政策概論	2前		2		2					
P	刂	ク゛ローハ゛ルヒストリー	2前		2			1				1
基础		アジア社会論	2前		2			3				
乖	4	日本文化論	2前		2		1					
E	1	言語学概論	2前		2		3					
		異文化コミュニケーション論	2前	2				2				
		小計(8科目)		4	12	0	7	8	0	0	0	1
		English comprehension I	2前	2			1					1
		English expression I	2前	2								
										1		1
		Tourism English I	2後	_	2			1		1		1
		English comprehension		_				1		1		1
		English comprehension	2前	_	2			1		1		1
	Ħ	English comprehension II a English comprehension II b	2前 2後	_	2					1		1
	基礎	English comprehension II a English comprehension II b English expression II	2前 2後 2後		2 2 2			1		1		1
	礎外	English comprehension II a English comprehension II b English expression II English expression II	2前 2後 2後 2後		2			1		1		
	一礎外国	English comprehension II a English comprehension II b English expression II English expression II Complete English expression II b 中国語 I a	2前 2後 2後 2後 1前	2	2 2 2		1	1		1		1
	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II Ênglish expression II b 中国語 I a 中国語 I b	2前 2後 2後 1前 1前	2 2	2 2 2		1	1		1		1
	一礎外国語	English comprehension II a English comprehension II b English expression II a English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 I b	2前 2後 2後 前 前後	2 2 2	2 2 2		1	1		1		1
	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II a English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II a	2前 2後 2後 前 前 後 後	2 2	2 2 2		1 1 1	1		1		1
	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 II b	2前 後 後後前前後後前 11 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2	2 2 2 2		1 1 1 1	1		1		1
外	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II a English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II a	2前 後 後後 前前後後前前	2 2 2	2 2 2		1 1 1	1		1		1
玉	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 II a 中国語 II a 中国語 II b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 II b 中国語 II b	2前 後 後後前前後後前前後 201 1 1 1 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2	2 2 2 2		1 1 1 1 1	1		1		1
国 語 科	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b P和語 II a 中国語 II b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 II a 中国語 II b	2前 後 後後 前前後後前前	2 2 2	2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1	1	0	1	0	1
国語	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 II a 中国語 II b	2前 後 後後前前後後前前後後	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 18	0	1 1 1 1 1 1	1	0		0	1 1
国 語 科	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 II a 中国語 II b	2前 後後後前前後後前前後後 21 1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 18	0	1 1 1 1 1 1 1 4	1	0		0	1 1
国 語 科	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b II courism English II Tourism English II	2前後後後前前後後前前後後 - 3·前 3·4 前	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 18	0	1 1 1 1 1 1	1	0		0	1 1
国 語 科	一礎外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b II courism English II English	2前後後後前前後後前前後後 - 3·4 3·4	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 18	0	1 1 1 1 1 1 1 4	1	0		0	1 1
国 語 科	礎外国語科目	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b	2前後後後前前後後前前後後 - 3 ¹ ·4 3 ¹ ·4 3 ¹ ·4	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 4	1	0	1	0	1 1
国 語 科	一礎外国語科目 専門	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b english expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 IV a 中国語 IV a 中国語 IV b 中国語 IV a 中国語 IV b 中国語	2前後後後前前後後前前後後 - 3·4前3·4前3·43·43·4	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 4	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一礎外国語科目 専門外	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b english expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 IV a 中国語 IV b 中国語 IV a 中国語 IV b 中国語	2前後後前前後後前前後後 1 3 ¹ / ₁ 3	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一礎外国語科目 専門外国語	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b P国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b English comprehension II English expression III English presentation II english engl	2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 1 1 1 1 2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 4	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一一 専門外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b english expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b 中国語 IV a 中国語 IV b 中国語 IV a 中国語 IV b 中国語	2 1 1 1 1 2 2 2 2 - -3 + 1 3 + 1 4 + 1 4 3 + 4 4 3 + 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一礎外国語科目 専門外国語	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b P国語 I a 中国語 I b 中国語 II a 中国語 II b English comprehension II English expression III English presentation II english engl	2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 3 1 3 1 3 1 3 1	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 4	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一一 専門外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b Pusia I a Pusia I a Pusia II b Pusia II II comprehension II English expression III English presentation II English presentation II Pusia II p II	2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一一 専門外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II a Anglish expression II b 中国語 I a 中国語 I b 中国語 II b 中国語 Pesentation II English presentation II English presentation II 中国語 理解 I 中国語 理解 I 中国語表現法 中国語会話	2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 4	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	1	0	1 1 1
国 語 科	一一 専門外国語科	English comprehension II a English comprehension II b English expression II b English expression II b Pusia I a Pusia I a Pusia II b Pusia II II comprehension II English expression III English presentation II English presentation II Pusia II p II	2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	1	0	1 1 1

			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		英語 I a	1前	2			2	2		1		1
		英語 I b	1前	2			1					2
		英語 II a	1後	2			1	2		1		
		英語Ⅱb	1後	2			2	1				2
	英	英語皿	1後	2				1				
	語科	実用英語 [1前· 後			2		1				
	目	実用英語Ⅱ	1前・ 後			2		1				
		実用英語Ⅲ	版 1前·			2		1				
			後 1前・					•				
共通		実用英語Ⅳ	後			2		1				
教		小計(9科目)	_	10	0	8	3	3	0	1	0	4
育科		中国語 I	1前		2		1					
目		中国語Ⅱ	1後		2		1					
	そ	フランス語 I	1前		2							1
	の	フランス語 Ⅱ	1後		2							1
	他外	ドイツ語 I	1前		2							1
	国	ドイツ語 Ⅱ	1後		2							1
	語	ロシア語 I	1前		2			1				
	科目	ロシア語 Ⅱ	1後		2			1				
		スペイン語 I	1前		2		1					
		スペイン語 Ⅱ	1後		2		1					
		小計(10科目)	_	0	20	0	2	1	0	0	0	2
		国際交流論	1前	2			1	3				
		観光学概論	2前		2		1	1				
車	卓	地域政策概論	2前		2		2					
P	İ	グローバルヒストリー	2前		2			1				1
基础		アジア社会論	2前		2			3				
15		日本文化論	2前		2		1					
Ē		言語学概論	2前		2		3					
		異文化コミュニケーション論	2前	2	_			2				
		小計(8科目)	-100	4	12	0	7	8	0	0	0	1
	l	English	2前	2			2			Ů		0
		comprehension I					_					
		English expression I	2前	2				١.		1		0
		Tourism English I English	2後		2			1				
		comprehension I a	2前		2			1				
		English comprehension II b	2後		2			1				
	基	English expression II	2後		2							1
	礎	a English expression II	2後		2							1
	外国	b 中国語 I a	1前	2			1					
	語	中国語 I b	1前	2			1					
	科目	中国語IIa	1後	2			1					
		中国語IIb	1後	2			1					
		中国語Ⅲa	2前	-	2		1					
		中国語皿b	2前		2		1					
外		中国語IVa	2後		2		1					
国語		中国語IVb	2後		2		1					
科		小計(15科目)		12	18	0	5	3	0	1	0	1
目		Tourism English II	3-4	<u> </u>	2		Ť	1	<u> </u>	Ė		H
		English	前 3·4					'				
		comprehension III	前		2		1					
		English expressionⅢ	3·4 前		2					1		
	_	English presentation	3-4		2							1
	専門	I English presentation	後 3·4									
	外	II	後		2		1					
	国	中国語理解 I	3·4 前		2		1					
	語科	中国語理解Ⅱ	3-4		2		1					
	目		後 3·4									
		中国語表現法	前		2		1					
		中国語会話	3·4 前		2		1					
		ビジネス中国語	3-4		2		1					
		小計(10科目)	後	0	20	0	3	4	0	1	0	4
1	i	いっしいりかけ	I — I	U	20	U	ა	1	0	1	0	1

			配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	. 7]		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		サスティナフ゛ルツーリス゛ム論	2後		2		2	1				
		観光産業概論	2後		2		1					
		世界遺産を学ぶ	2後		2		1					
		地域再生マネジメント論	2後		2		1					
		観光社会学	2後		2							1
		観光資源論	3·4 前		2		1					
		マーケティング調査論	3·4 前		2							1
		インハ゛ウント゛観光論	3·4 前		2							1
		ホスピ゚タリティマネシ゛メント	3·4 前		2			1				1
		観光人材育成論	3·4 後		2			1				
		ハ゛リアフリーツーリス゛ム論	3·4 後		2			1				
		ク゛リーンツーリス゛ム論	3-4		2		1					
		観光人類学	後 3·4		2		1					
	観光		後 3·4									
1	科 ##	観光地理学	後 3·4		2		1					
	目群創	多文化共生社会論	後		2		1	1				
	生系	地域ブランディング論	3·4 前		2		1					
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	地域産業論	3·4 後		2		1					
		フードシステム論	3·4 前		2		1					
		農村地域振興論	3·4 後		2		1					
		財政学	3-4		2		1					
		社会調査法	前 3•4		2			1				
		地理情報学概説	後 3·4		2			·				1
		観光学演習A	前 3前		2		1					'
専		観光学演習B	3前		2		'	1				
門科		観光学演習C	3前		2		1	ľ				
目		地域創生演習	3前		2		1					
		多文化共生社会 演習	3前		2			1				
		課題研究A	3後		2		3	1				
		小計(28科目)	_	0	56	0	4	2	0	0	0	5
		国際政治論	2後		2			2				
		国際貿易論	2後		2			1				
		中国語圏社会 文化論	2後		2			1				
		アジア現代史概論	2後		2							1
		東南アジア地域 社会論	3·4 前		2							
		NGO論	3·4 後		2			1				
		国際協力論	3-4		2			1				
		イスラーム社会論	前 3·4		2			1				
	政治	中東政治論	前 3·4		2			1				
	経	資源エネルギー・	後 3・4		2			1				
	済計	環境論 新興国経済論	前 3·4		2							
	科		後 3·4		_			1				
	目群	グローカル論	前 3·4		2			1				
1		サブカルチャー論	後 3·4		2			1				
1		メディア情報論	が 前 3・4		2			1				
1		現代メディア史	後		2			1				
1		国際政治論演習A	3前		2			1				
1		国際政治論演習B 国際経済論演習	3前		2			1				
1		国際社会論演習	3前 3前		2			1				
1		課題研究B	3後		2			4				
1		小計(20科目)		0	40	0	0	4	0	0	0	1

			配	ì	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	. 7]		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		サスティナフ・ルツーリス・ム論	2後		2		2	1				
		観光産業概論	2後		2		1					
		世界遺産を学ぶ	2後		2		1					
		地域再生マネジメント論	2後		2		1					
		観光社会学	2後 3·4		2							1
		観光資源論	前 3·4		2		1					
		マーケティング調査論	前		2							1
		インバウント、観光論	3·4 前		2							1
		ホスピタリティマネシブメント	3·4 前		2			1				1
		観光人材育成論	3·4 後		2			1				
		ハ゛リアフリーツーリス゛ム論	3·4 後		2			1				
		グリーンツーリズム論	3·4 後		2		1					
	* 0	観光人類学	3-4		2		1					
	観光	観光地理学	後 3·4		2		1					
	科地目域	多文化共生社会論	後 3·4		2		1	1				
	群創		後 3·4					'				
	生系	地域ブランディング論	前 3•4		2		1					
		地域産業論	後		2		1					
		フードシステム論	3·4 前		2		1					
		農村地域振興論	3·4 後		2		1					
		財政学	3·4 前		2		1					
		社会調査法	3·4 後		2			1				
		地理情報学概説	3·4 前		2							1
		観光学演習A	3前		2		1					
専門		観光学演習B	3前		2			1				
科		観光学演習C	3前		2		1					
目		地域創生演習	3前		2		1					
		多文化共生社会 演習	3前		2			1				
		課題研究A	3後		2		3	2				
		小計(28科目)	_	0	56	0	4	2	0	0	0	5
		国際政治論国際貿易論	2後 2後		2			2				
		中国語圏社会	2後		2			1				
		文化論						'				
		アジア現代史概論 東南アジア地域	2後 3·4		2							1
		社会論	前 3·4		2							
		NGO論	後		2			1				
		国際協力論	3·4 前		2			1				
	政	イスラーム社会論	3·4 前		2			1				
	治	中東政治論	3·4 後		2			1				
	経済	資源エネルギー・ 環境論	3·4 前		2			1				
	計科	新興国経済論	3·4 後		2			1				
	目	グローカル論	3·4 前		2			1				
	群	サブカルチャー論	3·4 後		2			1				
		メディア情報論	3·4 前		2			1				
		現代メディア史	3·4 後		2			1				
		国際政治論演習A	3前		2			1				
		国際政治論演習B	3前		2			1				
		国際経済論演習	3前		2			1				
		国際社会論演習	3前		2			1				
		課題研究B	3後	^	2	0	0	4	0	0	0	1
Щ		小計(20科目)		0	40	0	0	4	0	0	0	1

			配	1	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・
SI .	//		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		英語圏言語文化論	2後		2		1					
		中国言語文化論	2後		2		1					
		英語圏文芸論	2後		2			1				
		英語研究A	3·4 前		2		1					
		英語研究B	3·4 後		2		1					
		中国語研究A	3·4 後		2		1					
		中国語研究B	3·4 前		2		1					
	_	社会言語学	3·4 前		2		1					
	言語	日本語の歴史	3·4 前		2		1					
	文科	語用論	3·4 前		2					1		
	系	日英対照言語 表現論	3·4 後		2					1		
	科目	比較文学論	3·4 後		2		1					3
	群	日本古典読解	3·4 前		2		1					
専		相互理解の 心理学	3·4 後		2			1				
門		言語学演習	3後		2		1					
科目		社会言語学演習	3前		2		1					
		日本語学演習	3前		2		1					
		英語学演習	3前		2					1		
		中国語学演習	3後		2		1					
		日本文化論演習	3後		2		1					
		小計(20科目)	_	0	40	0	5	2	0	1	0	3
		卒業論文	4通	8			8	7		1		
		インターンシップ゜I	3前		2		3	2				
	学	インターンシップ [°] Ⅱ	3前・ 後		2		3	2				
	子部共通科	異文化体験実習	2·3 前 2·3 後		4		3	2		1		
	科目	海外語学研修	2·3 前 2·3 後		4		4	1		1		
		地域実習	3·4 通		2		5	2				
		小計(6科目)	-	8	14	0	9	8	0	1	0	0
	合	計(162科目)	-	42	277	8	9	8	0	1	0	52

			配	1	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	任・
	ח		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		英語圏言語文化論	2後		2		1					
		中国言語文化論	2後		2		1					
		英語圏文芸論	2後		2			1				
		英語研究A	3·4 前		2		1					
		英語研究B	3·4 後		2		1					
		中国語研究A	3·4 後		2		1					
		中国語研究B	3·4 前		2		1					
	_	社会言語学	3·4 前		2		1					
	言語	日本語の歴史	3·4 前		2		1					
	文科	語用論	3·4 前		2					1		
	系	日英対照言語 表現論	3·4 後		2					1		
	科目	比較文学論	3·4 後		2		1					3
	群	日本古典読解	3·4 前		2		1					
=		相互理解の 心理学	3·4 後		2			1				
専門		言語学演習	3後		2		1					
科		社会言語学演習	3前		2		1					
目		日本語学演習	3前		2		1					
		英語学演習	3前		2					1		
		中国語学演習	3後		2		1					
		日本文化論演習	3後		2		1					
		小計(20科目)		0	40	0	5	2	0	1	0	3
		卒業論文	4通	8			8	7		1		
		インターンシップ゜I	3前		2		3	2				
	224	インターンシップ [°] Ⅱ	3前· 後		2		3	2				
	学部共通	異文化体験実習	2·3 前 2·3 後		4		3	2		1		
	科目	海外語学研修	2·3 前 2·3 後		4		4	1		1		
		地域実習	3·4 通		2		5	2				
		小計(6科目)	_	8	14	0	9	8	0	1	0	0
	合	計(162科目)	-	42	277	8	9	8	0	1	0	52

卒業要件及び履修方法

- (1) 導入科目 必修8単位 (2) 一般科目
- (2) 一版件目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3) 英語科目 必修10単位 (4) (1) ~ (3) で履修した科目以外から2単位以上

- 専門基礎科目(計12単位以上)
- 選択8単位以上
- 3 外国語科目(計24単位又は28単位以上)

(1) 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上 (2) 専門外国語科目

【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上

4 専門科目(計54単位又は50単位以上) 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 (1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択和	4目
観光・地域創生系科目群	_	30単位以上 コース必修 選択	12単位 ^{※1} 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	_	4 単位以上	
言語文化系科目群			

- ※1 「観光社会学」、「サスティナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、 「地域再生演習」、「観光学演習B」、「20 学校サ連科目

- 「地味再生演習」、「多文化共生社会演習」 (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

【グローバルスタディーズコース】50単位以上 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	-	4 単位以上
政治経済系科目群	1	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}

- 「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」
- ※1「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、 「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」

- (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択4単位以上
- 上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり
- 【国際観光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

- 【グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上
- 履修科目の登録の上限

卒業要件及び履修方法

- 単位以上
- (1) 導入科目 必修8単位 (2) 一般科目
- $\frac{1}{2}$ 一版件目 人間力6 単位以上、社会力6 単位以上、科学力4 単位以上、健康と体力1 単位以上 (3) 英語科目 必修1 0 単位 (4) (1) \sim (3) で履修した科目以外から2 単位以上

- 専門基礎科目(計12単位以上)
- 選択8単位以上
- 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
- (1) 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上 (2) 専門外国語科目

【国際観光・地域創生コース】 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上

4 専門科目(計54単位又は50単位以上) 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 (1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択和	14目
観光・地域創生系科目群	-	30単位以上	
		コース必修	1 2 単位※1
		選択	18単位*2
政治経済系科目群	-	4 単位以上	
言語文化系科目群			

- ※1 「観光社会学」、「サスティナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」
 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む
 「観光学演習A」、「観光学演習C」、
 「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1) (2) で履修した科目を除いた科目
 選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

【グローバルスタディーズコース】50単位以上

(1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	-	4 単位以上
政治経済系科目群	1	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}

- 「英語圈言語文化論」、「中国言語文化論」 ※1 「国際政治論」
- ※1「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」

- (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択4単位以上
- 各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり

- 【国際観光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

- グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上
- 履修科目の登録の上限

【平成30年度】

【令和元年度】

£.i	科目 区分 授業科目の名称		配业	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		b. 11==*11* A	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 III	1前	1			2	1				
	導	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								
	入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11
	科目	情報処理基礎	1前	2								
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1					6
		小計(5科目)	_	8	0	0	8	8	0	1	0	16
		哲学	1前		2							1
	_	心理学	1前		2			1		1		
	般	人間の発達と心	1前		2			1				
	科目	日本の伝統芸能	1前		2		1					_
	$\overline{}$	人文地理学 文化人類学	1後		2							1
	人間	医療と文化	1後 1後		2		1					
	カ	文章表現法	1後		2		1					
)	言葉と文化	1後		2		2					
		小計(9科目)		0	18	0	5	1	0	0	0	2
		日本産業史	1前		2							4
	_	目然資源と 環境問題	1前		2		1					
	般	経済学	1前		2		1	1				
	科目	政治学	1後		2			2				
	<u>.</u>	社会学	1後		2							1
	社会	公共政策論	1後		2							1
共	Ъ	社会福祉論	1後		2							1
通教)	日本国憲法	1後		2							1
育		小計(8科目)	_	0	16	0	2	3	0	0	0	8
科目	_	データ化学と社会 情報処理応用A	1後		2							3
	般	情報処理応用A 情報処理応用B	1後 1後		2							2
	科目	クリティカルシンキング	1後		2							1
	1 (統計学	1後		2							2
	科学	教養としての物理	1前		2							2
	カ	教養としての数学	1前		2							2
)	現代科学技術論 小計(8科目)	1前	_	2	_	_	_	_	•	•	5
		小計(8科日) 健康と体の科学	一 1前	0	16 2	0	0	0	0	0	0	14 2
	般	スポーツ演習	· 刖 前•		1							1
	科目	(バレーボール) スポーツ演習	144									
	_	(硬式テニス) スポーツ演習	1前		1							1
	健康	(フットサル)	前。		1							1
	と体	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1
	カ	スポーツ演習 (バドミントン)	· 前•		1							1
)	小計(6科目)		0	7	0	0	0	0	0	0	3
		英語 I a 英語 I b	1前 1前	2			1	2		1		2 2
		英語Ⅱa	1後	2			1	1		1		
	英	英語Ⅱb 英語Ⅲ	1後 1後	2			1	1				2
	語	実用英語 I	1前・後			2						1
	科目	実用英語 Ⅱ	1前・			2						1
	П	実用英語皿	後 1前・			2						1
		実用英語Ⅳ	後 1前・			2						
		小計(9科目)	後	10	0	8	2	2	0	1	0	6
		[- HI (*17 H/		10		J					J	v

1 .1				<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		キャリアテ゛サ゛イン・ チーム論 III	1前	1			2	1				
	導	アカテ゛ミック・スキルス゛	1前	1								
	入	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11
	科目	情報処理基礎	1前	2								8
	Г	南加賀の歴史と文化	1後	2			1					6
		小計(5科目)	_	8	0	0	8	8	0	1	0	24
		哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2			1				
	般	人間の発達と心	1前		2			1				
	科	日本の伝統芸能	1前		2		1					
	目	人文地理学	1後		2							1
	入	文化人類学	1後		2		1					
	間力	医療と文化	1後		2		1					
) [文章表現法	1後		2		1					
		言葉と文化	1後		2		2					
		小計(9科目)		0	18	0	5	1	0	0	0	2
		日本産業史	1前		2							4
	_	自然資源と 環境問題	1前		2		1					
	般科	経済学	1前		2		1	1				
	目	政治学	1後		2			2				
	社	社会学	1後		2							1
	会	公共政策論	1後		2							1
共	力	社会福祉論	1後		2							1
通教)	日本国憲法	1後		2							1
育		小計(8科目)	_	0	16	0	2	3	0	0	0	8
科目	_	データ化学と社会	1後		2							3
П	般	情報処理応用A 情報処理応用B	1後 1後		2							2
	科目	クリティカルシンキング	1後		2							1
	п (統計学	1後		2							2
	科	教養としての物理	1前		2							2
	学力	教養としての数学	1前		2							2
)	現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)		0	16	0	0	0	0	0	0	14
	_	健康と体の科学	1前		2							2
	般科	スポーツ演習 (バレーボール <u>)</u>	1前・ 後		1							1
	目	スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1							1
	健	スポーツ演習	1前・		1							1
	康と	(フットサル) スポーツ演習(卓	後									
	体	球) スポーツ演習	1後		1							1
	カ)	(パート・ミントン)	1前・ 後		1							1
		小計(6科目) 英語 I a	— 1前	2	7	0	0	2	0	1	0	2
		英語 I b	1前	2			1					2
		英語 Ⅱ a 英語 Ⅱ b	1後 1後	2			1	1		1		2
	英	英語皿	1後	2			l .					1
	語	実用英語 I	1前・ 後			2						1
	科目	実用英語Ⅱ	1前・ 後			2						1
	_	実用英語皿	1前・			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・			2						1
		小計(9科目)	後	10	0	8	3	2	0	1	0	6

			配		单位数	_			員等	_		兼	ĺ				配	L
科 区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・		科 区	日分	授業科目の名称	当年	
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担					次	ŀ
共通教育科目	その他外国語科目	中国語 I 中国語 I フランス語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ロシア語 I ロシア語語 I スペイン スペイン スペイン (10科目)	前後前後前後前後前後一	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 2	1 1	0	0	0	1 1 1 1		共通教育科目	その他外国語科目	中国語 I 中国語 I フランス語 I ドイツ語 I ドイツ語語 I ロシア語 語 I ロシア語 語語 I スペイイン ハ計(10科目)	前後前後前後前後前後一	
P 基 配	事門 基楚 斗目	国際交流論 観光学概議論 が収入がにより アジア社会論 日本語学概論 言異文化 小計(8科目)	1前前前前 2前前前前 2前前前	2 4	2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 2 1 3	3 1 1 3 2 8	0	0	0	1		码	· 号 き	国際交流論 観光学概論 地域ウェーバルストリー アジア社会論 日本主学概論 異文化 小計(8科目)	1前前前前 2前前前前 2前前前	
外	基礎外国語科目	English English I Tourism English I English English English English English I English I English I English English English 中国語 I a 中国語 II a 中国語 II a 中国語 II b 中国语 II b 中国 I	2 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1	0	1	0	1 1 1		外	基礎外国語科目	English English I Tourism English I English English English English English I English I English I English English English English 中国語 I a 中国語 II a 中国語 II a 中国語 II a 中国語 II b 中国语 II b 由 II	2 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	
国語科目	専門外国語科目	Tourism English II English comprehensionIII English expressionIII English presentation II 中国語理解 I 中国語理解 I 中国語表現法中国語会話 ビジネス中国語	3·4 前 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1 1 3	0	0	1	0	1 1		国語科目	専門外国語科目	Tourism English II English comprehensionIII English expressionIII English presentation I English presentation II 中国語理解 I 中国語理解 I 中国語表現法中国語会話	3·4 前 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4 3·4	
専門科目	観光・地域創生系科目群	サスティナブルツーリス 'ム論 観光産業概論 世界遺産を学ぶ 軸域再生マネジメント論 観光社資源論 マーケティンク '調査論 インハ'ウント'観光論 ホスヒ'タリティマネジメント	2後後後後3·前3·前3·前3·前3·4		2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 1 1 1 1	1				1 1 1		専門科目	観光・地域創生系科目群	サスティナブルツーリス ム論 観光産業概論 世界遺産をやジ 地域再生ネジメント論 観光社会学 観光資源論 マーケティンク 調査論 インハ・ウント・観光論 ホスヒ・タリティマネジメント	2後後後後3·前3·前3·前3·前3·4	

			悪 コ	Ì	单位数	友	車	任教	員等	の配	置	兼
科	目	担 学利 日 の 夕 在	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区		授業科目の名称	年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		中国語 I	1前		2	Щ	1	汉	וום	狄	T	担
	そ	中国語Ⅱ	1後		2		1					
共	o o	フランス語 [1前		2							1
通	他	フランス語Ⅱ	1後		2							1
教	外	ドイツ語 I ドイツ語 II	1前 1後		2							1
育	国	ロシア語 I	1前		2			1				'
科目	語科	ロシア語 Ⅱ	1後		2			1				
	目	スペイン語 I	1前		2		1					
		スペイン語 Ⅱ 小計(10科目)	1後	0	20	0	2	1	0	0	0	2
		国際交流論	1前	2		Ů	1	3		Ť	Ť	_
車	卓	観光学概論	2前		2		1	1				
	刂	地域政策概論 グローバルヒストリー	2前		2		2	4				4
	Ė	アジア社会論	2前 2前		2			1				1
码		日本文化論	2前		2		1					
1 A	화 3	言語学概論	2前		2		3					
	-	異文化	2前	2	10	_	_	2	_	_	_	-
		小計(8科目) English	<u></u>	2	12	0	7	8	0	0	0	0
		English expression I	2前	2			-			1		ŏ
		Tourism English I	2後		2			1				
		English	2前		2			1				
	基	English English	2後 2後		2			1				1
	礎外	English	2後		2							1
	国	中国語Ia	1前	2			1					
	語	中国語 I b 中国語 II a	1前	2			1					
	科	中国語IIb	1後 1後	2			1					
	目	中国語Ⅲa	2前	_	2		1					
		中国語皿b	2前		2		1					
		中国語IVa 中国語IVb	2後 2後		2		1					
外		小計(15科目)	21久	12	18	0	5	3	0	1	0	1
国語		Tourism English II	3•4		2			1				
科		English	前 3•4									
目		comprehension III	前		2		1					
		English expression Ⅲ	3·4 前		2					1		
	車	English	3 • 4		2							1
	門	presentation I English	後 3·4									, i
	外	presentation II	後		2		1					
	国	中国語理解 I	3·4 前		2		1					
	語科	中国語理解Ⅱ	3-4		2		1					
	目	l	後 3·4									
		中国語表現法	前		2		1					
		中国語会話	3·4 前		2		1					
		ビジネス中国語	3 • 4		2		1					
		小計(10科目)	後	0	20	0	3	1	0	1	0	1
	#0	サスティナフ゛ルツーリス゛ム論	2後		2		2	1				
	観光	観光産業概論	2後		2		1					
		世界遺産を学ぶ 地域再生マネジメント論	2後 2後		2		1					
専	地	観光社会学	2後		2		Ι΄.					1
門	域創	観光資源論	3-4		2		1					
科目	生	マーケティング調査論	前 3•4				•					4
l ¤	系刻	マーソナインソ 調宜論	前		2							1
	科目	インバウンド観光論	3·4 前		2							1
	群	ホスピタリティマネシ・メント	3·4 前		2			1				1

			配	1	单位数	友	専	任教	員等	の配	置	兼
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	任・
	. ח		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		観光人材育成論	3·4 後		2			1				
		ハ゛リアフリーツーリス゛ム論	3·4 後		2			1				
		グリーンツーリズム論	3-4		2		1					
		観光人類学	後 3·4		2		1					
		観光地理学	後 3·4		2		1					
	観	多文化共生	後 3・4		2		1	1				
	光	社会論	後 3·4		_			'				
	地	地域ブランディング論	前 3·4		2		1					
	域	地域産業論	後 3·4		2		1					
	創生	フードシステム論	前		2		1					
	系	農村地域振興論	3·4 後		2		1					
	科目	財政学	3·4 前		2		1					
	群	社会調査法	3·4 後		2			1				
		地理情報学概説	3·4 前		2							1
		観光学演習A 観光学演習B	3前 3前		2		1	1				
		観光学演習C	3前		2		1	'				
		地域創生演習 多文化共生社会	3前 3前		2		1	1				
		課題研究A	3後	_	2	•	3	1	_	_	_	_
		小計(28科目) 国際政治論	2後	0	56 2	0	4	2	0	0	0	5
		国際貿易論 中国語圏社会	2後 2後		2			1				
		アジア現代史概論	2後		2			'				1
		東南アジア地域 社会論	3·4 前		2							
専		NGO論	3·4 後		2			1				
門		国際協力論	3·4 前		2			1				
科目	Th-	イスラーム社会論	3·4 前		2			1				
	政治	中東政治論	3·4 後		2			1				
	経済	資源エネルギー・ 環境論	3·4 前		2			1				
	系	^{環境調} 新興国経済論	3-4		2			1				
	科目	グローカル論	後 3·4		2			1				
	群	サブカルチャー論	前 3•4		2			1				
		メディア情報論	後 3·4		2			1				
			前 3•4									
		現代メディア史 国際政治論演習A	後 3前		2			1				
		国際政治論演習B	3前		2			1				
		国際経済論演習 国際社会論演習	3前 3前		2			1				
		課題研究B 小計(20科目)	3後	0	2 40	0	0	4	0	0	0	1
		英語圏言語文化論	2後	٦	2	U	1	7	J		U	
		中国言語文化論 英語圏文芸論	2後 2後		2		1	1				
		英語研究A	3·4 前		2		1					
	言	英語研究B	3・4		2		1					
	語文	中国語研究A	3·4 後		2		1					
	科	中国語研究B	3·4 前		2		1					
	系科	社会言語学	3-4		2		1					
	目	日本語の歴史	前 3·4		2		1					
	群	語用論	前 3·4		2		Ĭ .			1		
		日英対照言語	前 3·4		2					1		
		表現論	後 3·4							'		^
1	ĺ	比較文学論	後		2		1			l		3

			配	È	单位数	友	専	任教	員等	の配	置	兼
科	目	授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区	分	技术行口の石が	年次					教				兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		観光人材育成論	3·4 後		2			1				
		ハ゛リアフリーツーリス゛ム論	3-4		2			1				
			後 3·4					'				
		グリーンツーリズム論	後		2		1					
		観光人類学	3.4		2		1					
			後 3·4									
		観光地理学	後		2		1					
	観	多文化共生 社会論	3•4		2		1	1				
	光	地域ブランディング論	後 3·4									
		地域ノフノナイング調	前		2		1					
	地域	地域産業論	3·4 後		2		1					
	創	フードシステム論	3-4		2		1					
	生		前 3•4									
	系	農村地域振興論	後		2		1					
	科	財政学	3•4		2		1					
	目	↓ △刪本汁	前 3•4		_							
1	群	社会調査法	後		2			1				
		地理情報学概説	3·4 前		2							1
1		観光学演習A	3前		2		1					
1		観光学演習B	3前		2			1				
		観光学演習C	3前		2		1					
		地域創生演習 多文化共生社会	3前 3前		2		1	1				
		課題研究A	3後		2		3	1				
1	L	小計(28科目)		0	56	0	4	2	0	0	0	5
		国際政治論	2後		2			2				
		国際貿易論 中国語圏社会	2後 2後		2			1				
		アジア現代史概論	2後 2後		2			'				1
		東南アジア地域	3.4		2							·
		社会論	前		_							
l _		NGO論	3·4 後		2			1				
専門		国際協力論	3-4		2			1				
科			前 3•4					'				
目	政	イスラーム社会論	前		2			1				
	治	中東政治論	3.4		2			1				
	経	資源エネルギー・	後 3・4		_							
	済	環境論	前		2			1				
1	系	新興国経済論	3·4 後		2			1				
	科日	ガローカッ 鈴	发 3·4									
	目群	グローカル論 	前		2			1				
1	ΉT	サブカルチャー論	3·4 後		2			1				
1		メディア情報論	3-4		2			1				
1		Z / T / IH TX	前 3•4					'				
1		現代メディア史	後		2			1				
		国際政治論演習A	3前		2			1				
		国際政治論演習B	3前		2			1				
1		国際経済論演習 国際社会論演習	3前 3前		2			1				
		課題研究B	3後		2			4				
		小計(20科目)		0	40	0	0	4	0	0	0	1
		英語圏言語文化論	2後		2		1					
		中国言語文化論 英語圏文芸論	2後 2後		2		1	1				
1			21友 3·4					'				
1		英語研究A	前		2		1					
1	言	英語研究B	3·4 後		2		1					
	語	中国語研究A	3-4		2		1					
1	文		後 3·4		_		l '					
1	科系	中国語研究B	3・4		2		1					
1	科	社会言語学	3•4		2		1					
1	目		前 3•4									
	群	日本語の歴史	前		2		1					
1		語用論	3·4 前		2					1		
1		日英対照言語	∄ij 3•4		_					4		
1		表現論	後		2					1		
1		比較文学論	3·4 後		2		1					3
		1	収		_	_						

			配	Ĭ	单位数	攵	専	任教			置	兼
科区	日分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・
	71		次	修	択	由	授	契 授	師	教	手	兼担
		日本古典読解	3·4 前		2		1					
	言語	相互理解の 心理学	3·4 後		2			1				
	文	言語学演習	3後		2		1					
	科	社会言語学演習 日本語学演習	3前 3前		2		1					
	系科	英語学演習	3前		2		'			1		
	目	中国語学演習	3後		2		1					
	群	日本文化論演習	3後		2		1					
_		小計(20科目)		0	40	0	5	2	0	1	0	3
専門		卒業論文	4通	8			8	7		1		
科		インターンシップ゜I	3前		2		3	2				
目		インターンシップ [°] Ⅱ	3前· 後		2		3	2				
	学部共通	異文化体験実習	2·3 前 2·3 後		4		3	2		1		
	科目	海外語学研修	2·3 前 2·3 後		4		4	1		1		
		地域実習	3·4 通		2		5	2				
		小計(6科目)	_	8	14	0	9	8	0	1	0	0
	슴	計(162科目)	_	42	277	8	9	8	0	1	0	51

			配	Ì	单位数	攵	専	任教	員等	の配	置	兼
	目	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
×	分	12×11107:010	年次		١			教			_	兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		日本古典読解	3·4 前		2		1					
	言語	相互理解の 心理学	3·4 後		2			1				
	文	心理子 言語学演習	3後		2		1					
	科	社会言語学演習	3前		2		1					
	系	日本語学演習	3前		2		1					
	科	英語学演習	3前		2					1		
	目	中国語学演習	3後		2		1					
	群	日本文化論演習	3後		2		1					
		小計(20科目)	_	0	40	0	5	2	0	1	0	3
専門		卒業論文	4通	8			8	7		1		
科目		インターンシップ゜I	3前		2		3	2				
目		インターンシップ [°] Ⅱ	3前· 後		2		3	2				
	学部共通	異文化体験実習	2·3 前 2·3 後		4		3	2		1		
	科目	海外語学研修	2·3 前 2·3 後		4		4	1		1		
		地域実習	3·4 通		2		5	2				
		小計(6科目)	_	8	14	0	9	8	0	1	0	0
	合	計(162科目)	-	42	277	8	10	8	0	1	0	57

卒業要件及び履修方法

- (1) 導入科目 必修8単位 (2) 一般科目
- 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3) 英語科目 必修10単位 (4) (1) ~ (3) で履修した科目以外から2単位以上

- 専門基礎科目(計12単位以上)
- 3 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
- (1) 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上 (2) 専門外国語科目

【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上

- 4 専門科目(計54単位又は50単位以上) 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 (1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択和	科目
観光・地域創生系科目群	_	30単位以上 コース必修 選択	12単位 ^{※1} 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	_	4 単位以上	
言語文化系科目群			

- ※1 「観光社会学」、「サスティナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、 「地域再生演習」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、

- 「地域円生(Rei」、「タスルス上は、 (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修 (2) で履修した科目を除いた科目

卒業要件及び履修方法

【グローバルスタディーズコース】50単位以上 (1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	-	4 単位以上
政治経済系科目群	-	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}

- 「英語圈言語文化論」、「中国言語文化論」
- 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論 2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「異断政治論演習B」、「国際経済論演習C」、 「国際社会論演習」、「課断死B」、「異文化コミュニケーション演習」、 「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「外語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」、」

- 以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり

- 送上、谷一へ(14日) 6年来会計単位数は、以下のとおり 【国際観光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上
- 【グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上
- - 履修科目の登録の上限 46単位(年間)

卒業要件及び履修方法

- (1) 導入科目 必修8単位 (2) 一般科目
- 、 脱行日 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上)英語科目 必修10単位)(1)~(3)で履修した科目以外から2単位以上 (3) 英語科目

- 専門基礎科目(計12単位以上)
- 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
- (1) 基礎外国語科目 必修12単位 (2) 専門外国語科目

【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上

- 4 専門科目(計54単位又は50単位以上) 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 (1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択和	計目
観光・地域創生系科目群	_	30単位以上 コース必修 選択	1 2 単位 ^{※1} 1 8 単位 ^{※2}
政治経済系科目群	_	4 単位以上	
言語文化系科目群			

- ※1 「観光社会学」 「サスティナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、
- ※1 「観光社会学」、「サスティナブルツーリズム論」、「観光産業概論 「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、 「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」 ②2 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3)専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

-バルスタディーズコース】50単位以上

(1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	Ī	4 単位以上
政治経済系科目群	-	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{*1} 選択 22単位 ^{*2}

- 「英語圈言語文化論」、「中国言語文化論」
- ※1「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課野社会論演習」、「課野研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」
- 「中国哲子(順首)、「中本文化画(順首) (シ 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3)専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択4単位以上
- 各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり
- ダエ、行って入れる年来委许単位数は、以下のとおり 【国際報光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

- グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上
- 履修科目の登録の上限
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「専任教員」に変更(AC教員審査に提出し審査中。審査により認められれば、授業科目表記載のとおり実施する)。_____
- り認められれば、授業科目表記載のとおり実施する)。
 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「千日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 (30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当)
 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目(一般科目(科学力))における学生の授業履修の調整を行うため、
 「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加。 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加。
- ・専門科目「English comprehension I」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加。 ・専門科目「Tourism EnglishII」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から専任教員の塩谷 サルフィ マクスーダ准教授に変更。

【令和2年度】

- ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から専任教員に変更。
- ・専門科目「課題研究A」の担当教員として、専任教員の塩谷 サルフィ マクスーダ准教授を追加。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画		変更状況								備考
必修	必修 選択 自由 計(A)					選択		自由		計		湘石
19 科目	139 科目	4 科目	162 科目	19 科目		139 [科目	4	科目	162 [科目	

未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を (注) • 記入してください。(記入例:1科目減の場合 $\overline{:\Delta 1}$)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	スポーツ演習(硬式テ ニス)	1	1	一般	選択	前期のみ開講の科目であり、新型コロナウイルス感染症対策のため。代替措置は無し。
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						_

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「スポーツ演習(硬式テニス)」そのものの代替措置は無いものの,同科目の属する科目区分『一般科目(健康と体力)』の卒業要件(1単位以上)については,前期に開講する「健康と体の科学」のほか,後期に開講する「スポーツ演習(バレーボール)」「スポーツ演習(フットサル)」等でも満たすことが出来るため学生の履修への影響は少ないものと考えられる。

学生へは,「スポーツ演習(硬式テニス)」が本年度不開講となる旨,学内掲示板および本学ポータ ルサイト『ユニバーサルパスポート』において周知した。

今後の新型コロナウイルスの収束状況によっては上記の科目も不開講とする可能性はあり得るものの、原則として上記の科目を履修することにより学生が卒業要件を満たすことを想定している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 162 = 0.61 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内				容				備考
(1)		区	分		専	用	共	用		キ用する 学校等の				計	
		校翁	き 敷 均	<u>h</u>		18, 962. 05 m²			mi			ń		18, 962. 05 m²	
校		運動	場用地	ļ		14, 271. 00 m²			mi		n	ก๋		14, 271. 00 m²	末広キャンパス 借用面積:3,676 ㎡
地		小	計			33, 233. 05 m ²			m²		n	ก้		33, 233. 05 m²	借用期間:25年
等		そ	の他	ļ		8, 251. 28 m ²		m [®]		m²		n 8, 251. 28 m			
þ	合 計 41,484.				41, 484. 33 m ²			m [*]		n	n [†]		41, 484. 33 m²		
				専	用	共	用		も用する 学校等の				計	中央キャンパス賃貸借部	
(2) 校	2) 校 舎				16, 395. 39 m ²	(3 64	(14.67 m²)	m [*]	4, 926. 4				16, 395. 39㎡ 27. 09㎡)	分増加 (1階) に伴う校 舎面積の増加(2) 末広キャンパス 借用面積: 930㎡ 借用期間: 25年 中央キャンパス	
					(1, 00	,	(0, 0			.,	,		, .	_,,	借用面積:4, 107㎡ 借用期間:25年
				講	義 室	演	図 室	実験実	習室	情報外	処理学習 加	 色設	語字	学習施設	
(3) 教		室	等		2	?安	12室		18室			0室		0室	大学全体
	23室 12室					12.		10=		助職員 0	人) (補助]職員 0人)		
(4) 専	任教	女員研究	室			新設学部	等の名称				室		数		
					国際	文化交流学部	国際文化	交流学科		1	17			室	
	3	新設学	如生		図 書	学術	雑誌			- 視聴す	前資料 :	機械・器	具	標本	
(5)	,	の名		(う	ち外国書〕		小国書〕	電子ジャ							
	国	際文化:	交流学	10	000 (510)	 	種	〔うちタ					点	点 0	
書・		部際文化			000 (513) 1 <mark>44 (1245)</mark>		4 (20) (812)		(20) (804)				0 0		
設備		科			800 [1662 000 [513]		(0 [925]) (4 [20]		[916]) (20)	200	345		0	0	
NHS		計			144 (1245)		(812]		(804)	2:	33	0	v	0	
				. ,	面	積		閲覧座			<u> </u> 	納可	能	冊数	大学全体
(6) 図		書	館		909). 83 m 876. 4	1 m²			118席				80, 000 m	末広キャンパス建築 に伴う図書館面積の 減少(2)
					面	積			体育館以	外のスポ	ピーツ施計	ひ 概要			大学全体
(7) 体		育	館		960㎡ — —										
		区 分 開設年度 完成年度 区 経費					分	開設前	前年度	開設年	叓	完成年度			
(8)			教員 1	人当り	研究費等	300千円	300₹	千円 図書	購入費	15, 9	68千円 55千円	6, 668=	千円	3, 753千円	
経費の積り及	なび	行見り	共 同	研 3	究 費 等	2,000千円	2, 000 ₹	-円 設備	購入費		00千円 56千円	98, 000=	千円	3,000千円	
維持方の 概		学生 ⁻	人当 J		1年次	第2年次	第	3 年次	第4年	F次	第 5	年次		第6年次	
		納作		市内	学生918千 円	636∃	-円	636千円	6	36千円	_	千円		一 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要 大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等														

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	公	立 小	松大	学							備	考	,
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度			
			人										
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	-	平成30	-			
生産システム科学科	4	80	-	320	学士	1. 01	1.00	_	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1番地3			
<u>保健医療学部</u>	4	80	_	320	ī	-	-	-	平成30	-			
<u>看護学科</u>	4	50	-	200	学士	1. 02	1. 02	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番 地1			
<u>臨床工学科</u>	4	30	-	120	学士	1. 07	1. 03	-	平成30	同上			
					41								
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	-	-	-	平成30	-			
国際文化交流学科	4	80	_	320	学士(国際文化学)	1. 02	1.00	_	平成30	石川県小松市土居原町10-10			
大学全体	4	240	-	960	-	1. 02	1. 00	-	平成30	-			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【平	年度】	【令和	11元年	度】	【令和2年度】				
専任・	1		専任・	1		専任・		1	専任	•		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (末 齡) (京 宗之) 年月> (宋 宗之) 年月> (宋 宋 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担 兼日 の別		体有子证等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
		岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士			岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士			岩田 礼 (66) 〈平成30年4月〉 文学修士			岩田 礼 (67) 〈平成30年4月〉 文学修士	
専	教授	キーム論Ⅲ ・チーム論Ⅲ ・デースを ・デーと ・デースを ・デースを ・デースを ・デースを ・デースを ・デースを ・デースを ・デースを ・デースを	専	教授	キーム論 III	専	教授	キⅢ フ・チーム 論	草	数	・チーム ・・チース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		碇 陽子 (41) <平成30年4月> 博士 (学術)			機川 善正 (69) <平成30年7月> 文学修士			横川 善正 (70) <平成30年7月> 文学修士			横川 善正 (71) 〈平成30年7月〉 文学修士	
兼任	講師	医療と文化	專	教授	医療と文化	*	教授	医療と文化 英語Ia English comprehension I Tourism EnglishⅡ	*	教	受 医療と文化 英語 I a English comprehension I Tourism English II	
		宮崎 猛 (67) <平成30年4年> 農学博士			宮崎 猛 (67) <平成30年4年> 農学博士			宮崎 猛 (68) <平成30年4年> 農学博士			宮崎 猛 (69) <平成30年4年> 農学博士	
専	教授	テーマ別基礎ゼミ自然資源と環論と現論と現論 ※ サスティナナ (制理)	専	教授	テーマ別基礎ゼミ自然資強機関題 地域政策・ サスティナルツーリズム論 ※ 戦光産・業概論 グリ域ブ・実概論 グリ域ブ・シー 年 は 東 第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策 ** サスティナ ** ・	Į.	教	テータリ基礎ゼミ自然をはいる。 自然をはいる。 自然をはいる。 一文資政・大学、 一文資政・大学、大学、 一文学、大学、大学、大学、 一文学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学	
		VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph.D., linguistics (米国)			VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph.D., linguistics (米国)			VANCE, Timothy John (67) <平成30年4月> Ph.D., linguistics (米国)			VANCE, Timothy John (68) <平成30年4月> Ph.D., linguistics (米国)	
毒	教授	テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ib 英語Ib 美語語学概論 ※ 日本語学の歴史 日本語学演習 中華	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 I b 声響をある 英語 B 世 声響を 日本語学 の歴史 日本語学 演習 卒業論文	専	教授	テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ib 英語Ib 英語語学概論 ※ 日本語学源留 日本語学演習 卒業論文	Ė	教	受 デコスタ (1) を デコスタ (1) では デコスタ (1) では デコスタ (1) では デスタ (1) では	
専	教授	盛田 清秀 (65) 《平成30年4月> 博士 (農野) キャリア別基とでは、 (場別) キャリア別基をでは、 (場別) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	教授	盛田 (清秀 (65) (4下 (4下 (65) (4下	專	教授	盛田 (66) 《平成30年4月》 博士 (8億) キャリアデザイン・チーム論 『テーマ別基 礎ゼミ 地域政・大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100	1 教	盛田 清秀 (67) 《平成30年4月〉 博士 (農学) キャリアデザイン・チーム論 アテ湾学 (大学) では、 ※ *** 地域東生マステル論 関政政事とステル論 関政政事と、 ※ ** プー村地学創生で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任	旦 · 壬	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	西村 聡 (65) (65) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70	唐守	教授	西村 聡 (63) (63) (4年) (63) (4年) (63) (4年) (7年) (7年) (7年) (7年) (7年) (7年) (7年) (7	par	事	教授	西付 (64) (64) (64) (64) (64) (64) (74) (專	教授	西村 聡 (85) (85) マ令士 (4月 > 情 1 (2年 4 月 > 情 1 (2年 4 月 > 情 1 (2年 4 月 >
兼任	講師	西村 聡 (637) (637) <平成30年4月> 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼任	講師	西村 聡 (637) (737年年 (747年 (747	兼任	Ħ	講師	西村 聡 (64) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼任	- 講師	西村 製 (-(65)- (-(65)- (-(75)- マ (773)0年4月- 博士 (文学)- 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
專	教授	SANDERS, Robert Martin (62) 〈平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米国) テーマ別基礎ゼミ 中国語研究 社会言語学演習 中国語Ⅱ a 中国語Ⅲ a 中国語Ⅲ a 中国語Ⅲ a 中国語Ⅲ a 中国語Ⅲ a 東文化体験実習 海外語学の体験実習	争	教授	SANDERS, Robert Martin (62) 〈平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米国) テーマ別基。A 社会言語学文 A 社会言語学 文 社会言語学 東晋中国語 I a 中国語 II a 中国語 II a 中国語 II a 中国語 II a 早里文化体験 変習 海外語学研修 卒業論文	THE P	事 守	教授	SANDERS, Robert Martin (63) 《平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米国) テーマ別まな A 社会言語学 A 社会言語学 演習 中国語記 I a 早年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	專	教授	SANDERS, Robert Martin (64) 《平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米国) テーマ別基礎ゼミ中国語研究A 社社会言語学演習中国語 I a 中国語記 A 異文化体験実習海外語学研修
専	教授	岡村 徹 (56) 〈平成30年4月〉博士(比較社会文化) デーマ別基礎ゼミ英語II a 英語II a 英語 II a 英語 II a 英語 II a 英語 II b 参 大き語 II b 参 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	専	教授	岡村 徹 (56) (マ平成30年4月> 博士(比較社会文化) テーマ別基礎ゼミ 英語II a 英語野地 編 ※ 英語語II b 英言語学概論 ※ 英語國子文化論 英語研究名 【隔年】 言語学のでのでは、 英語研究のでは、 「隔年】 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 言語学は、 「原本」 「所本」 「所本」 「所本」 「所本」 「所本」 「所本」 「所本」 「所	sur .	事	教授	岡村 撤 (57) 〈平成30年4月〉 博士(比較社会文化) テーマ別基礎ゼミ 英語II a 英語野田 a 英語野概論 ※ 多文性共生社会論 英語研究A 【隔年】 言語学研究習 [隔年] 言語学のの即字ehension I English comprehension I English presentation II English 呼称	専	教授	岡村 徹 (58) 〈下成30年4月〉 博士(比較社会文化) テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅱa 英語Ⅲa 英語Ⅲa 英語紹治 英語語中語 「基本 英語語中語 「基本 英語語中語 「基本 英語語中語 「基本 英語語中語 「表語・ 「表語・ 「表語・ 「表語・ 「表語・ 「表語・ 「表語・ 「表語
専	教授	村谷 (55)	専	教授	村谷 (55) 年4月 大阪樹 (55) 年4月 大阪樹 (55) 年4月 大阪30 文文 下文 (55) 年4月 大阪30 文文 下文 (55) 年4月 大阪30 文文 下文 (55) 年4月 大阪30 文文 (55) 年4月 大阪40 文文 (55) 年4月 大阪40 文文 (55) 年4月 大阪村 (55) 年4月 大阪40 文文 (55) 年4月 大阪40 大阪40 文文 (55) 年4月 大阪40 大阪4	ne e	事で	教授	村谷 茂樹 (550) 年4月 大阪村 (550)	専	教授	村谷 (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57)

専任・			専任・			専任・			車	任・		
兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	担・ 任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		刘 迺华 (55) <平成30年4月> 文学硕士 (中国)			刘 適华 (55) <平成30年4月> 文学硕士 (中国)			刘 適华 (56) <平成30年4月> 文学硕士 (中国)				刘 迺华 (57) <平成30年4月> 文学硕士 (中国)
専	教授	中国語語II中国語語IIb中国語語IIb中国語語IIb中国国語語Wb中国国語語表现的中国国語語表现於中国国語語表文本談話 国語語人本談話 国語語人本談修	専	教授	中国国語II 中中国語語II b 中国国語II b 中国国語II b 中国国語表記Vb 中国国語表表記 国国語表表記 ロー国語表表記 国語語表スな いない で ジャルを学研修	専	教授	中国国語II 中国国語II b 中国国語語II b 中国国語語II b 中国国語語II b 中国国語語表 i i i i i i i i i i i i i i i i i i		専	教授	中国語語II 中国国語II b 中国国語語II b 中国国語語語Wb 中国国語語表对形 b 中国国語語表文本 中国文化 中中国文化 中中 東 次
		塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)			塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)			塩谷 サルフィ マクス-ダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)				塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
由于	准教授	テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 東京語IIb 国際交流論 ※ 異文化記にケーション論 ※ Tourism English I 多文化共生社会論。 多文化共生社会論。 多文化は解学研修 卒業論文	専	准教授	テーロリスを 英語 I a 英語 II b 異文化記論 ※ 異文化記記から 多文化共生社会論 習 異文化語学研修 子楽論文	専	准教授	テーマ 別基礎 英語 I a 英語 II a 英語 II b 英語 II b 英語 II b 英語 II b 英国際交流論 ※ 異文化式ミュケーション論 ※ Tour ism English II Tour ism English II 多文化共生社会論 ※ 多文化共生社会資 異文化体験会資 異文化体験等 本質 海外語学研修 卒業論文		専	准教授	テーマ別基礎ゼミ 英英語II a 英英語II b 国際交流論 ※ 異UTUTIST English I Tourism English I Tourism English I FM 研究生社会論 ※ 多文化共生社会 要文化体学研究等 海外語 音
		酒井 亨 (52) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)			酒井 亨 (52) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)			酒井 亨 (53) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)				酒井 亨 (54) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)
専	准教授	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ アウリアが破論を文化論 アウ国語圏社会論を文化論 グープルチャ報論 リースを発表を表した。 リースを発表を表した。 リースを発表を表した。 リースを発表を表した。 リースを表した。 リーな。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リースを表した。 リーな。 リースを表した。 リーな。 リーな。 リーな。 リーな。 リーな。 リーな。 リーな。 リーな	専	准教授	キャリスト A Manual A Ma	専	准教授	キャリア デ を		専	授	キャリアデーム論 アデントチーム マットを では、
		中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)			中子(佐藤) 富貴子 (50) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市)			中子(佐藤) 富貴子 (51) 《平成30年4月》 博士(創造都市)				中子(佐藤) 富貴子 (52) 〈平成30年4月〉 博士(創造都市)
専	准教授	テーツ基礎ゼミ観光学研論 ※ サスティフルツーリズム論 ※ ボスピタリティマネジメント ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	唐守	准教授	テーツ基礎ゼミ 観光学スティタリンスム論 がスティタリアインス が、スペークを が、リアイタリアインス で、リアインス で、リアインス で、リアイン で、リアイン で、リアイン で、リアイン で、リアイン で、リアイン で、ア・ア で、ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	専	准教授	テーマ別基礎ゼミ 観光学研論・ブルツーリズム論 ※ルンーリズム がスティママネジメント が、ボスピタリカ (専	准教授	テーマ別基礎ゼミ 観光学スティン・ 製光学スティマネジメント With April
		小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士			小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士			小原 文衛 (50) 〈平成30年4月〉 文学修士				小原 文衛 (51) 〈平成30年4月〉 博士 (文学)
専		テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 英国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文	専		テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 英語 II a 国際交流論 ※ 異文化記ュケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 英語 II a 国際交流論 ※ 異文化記:エケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文		専		テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 国際交流論 ※ 異文化マミュケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任_(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
05///4	494-11	保有学位等 ————————————————————————————————————	07//1	496-1	保有学位等 ————担当授業科目名	37/14	49% 1	保有学位等 ————————————————————————————————————	05/34	494-12	保有学位等 ————————————————————————————————————
		- ノ渡 忠之 (43) 〈平成30年4月〉 博士(商学) テーマ別基礎ゼミ			ーノ渡 忠之 (43) <平成30年4月> 博士 (商学) テーマ別基礎ゼミ			- / 渡 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学) テーマ別基礎ゼミ			ーノ渡 忠之 (45) 〈平成30年4月〉 博士(商学) テーマ別基礎ゼミ
専	准教授	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 I グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究 B English comprehension II b 卒業論文	専	准教 授	経済学》 ロシア語I ロシア語I グローバルヒストリー ※ 国際国際国際国際国際国際国際国際国際国際国際国際国際国際国際国际の国际国际国际国际	専	准教 授	経済学 ※ ロシア語I ロシア語I グローバルヒストリー ※ 国際アポート環境論 新興国経済論演習 課題研究B English comprehension II b 卒業論文	専	准教授	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 I グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究 B English comprehension II b 卒業論文
		木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士 (学術)			木村 誠 (37) < 平成31年4月> 博士 (学術)			木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士 (学術)			木村 誠 (39) <平成31年4月> 博士 (学術)
専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論※ 相互理解の心理学 異文化体験実習	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 心理学 発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習
兼任	講師	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	本村 誠 (37) < 平成30年4月 > 博士 (学術)	兼任	講師	木村 - 韓 - (38)- < 平成30年4月 > 博士 (学術)	兼任	講師	本村 課 -(39)- <平成30年4月→ 博士 (学術)-
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心			テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心			テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心			テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心
		木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)			木場 秒綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)			木場 紗綾 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)			木場 紗綾 (39) <平成30年4月> 博士 (政治学)
専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ 国際アジア社会論 ※ 国際アジア地域社会論 N国際協力論 国際協力論演習A 課題研究日 卒業論 文	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NIOI論 国際協力論 国際協力論 国際題研治 民業類研究 英集論文	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 政治学※ 国際政治会論※ 国際政治論が 東京ジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際協力論 国際超光路 課題研究 B 東東論 東東論 東東	専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 取カ学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南G協 国際協力論 国際協力論 海習 A 課題研究日 学年 学年 第
		千葉 悠志 (32) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究)			千葉 悠志 (32) 《平成30年4月》 博士(地域研究)			千葉 悠志 (33) <平成30年4月> 博士(地域研究)			千葉 悠志 (34) 〈平成30年4月〉 博士(地域研究)
専	准教 授	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ ロイ東政治論 ※ ロイ東政治論 で 国関際政治にア史 国関際政治院B 野野研究 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連	専	准教 授	テーツ 基礎ゼミ 政治学 ※会論 ※ アジア社論論 ※ イステント ※会論 ※ イステント ※ イステント ※ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	准教授	テーツ 基礎 ゼミ 政治学 ※ 会論 ※ 会論 ※ 会論 ※ 自 不 東 光 会論 ※ 自 不 東 代 会論 ※ 自 不 東 代 会論 在 東 代 よ 会論 在 東 代 よ 治 会	専	准教 授	テーマ別基 砂治学 ※ アリア社会論 ※ イスラーム 注 イスラーム 注 イ東代メート 東京 で 東京 で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま
		長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)			長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)			長辻 幸 (36) <平成30年4月> 修士 (文学)			長辻 幸 (37) <平成30年4月> 修士 (文学)
専	助教	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅱa 語用論 時期 時期 日英語学演習 English expressionⅡ English expressionⅢ 異文化体映実習 海外語学研修 卒業論文	専	助教	テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 英語 I a 話用論 日英対照言語表現論 英語 i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	専	助教	テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 英語 I a 英語用論 中英 対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression I English expression I 要文化体映響 海外語学研修 卒業論文	専	助教	テーマ別基礎ゼミ 英語 I a 琵語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression I English expression I 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
兼担	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼挂	型 教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼担	教授	木村 繁男 (68) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	兼担	教授	木村 繁男 (69) 〈平成30年4月〉 Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※			現代科学技術論 ※

まけ			# /r		1	= /*		1	また		1
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	兼担	教授	山田 外史 (69) <平成30年4月> エ学博士 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 外史 (70) <平成30年4月> 工学博士
兼担	教授	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 良穂 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼担	教授	山田 良穂 (69) ⟨平成30年4月⟩ 工学博士 アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼担	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼担	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 現代科学技術論 ※	兼担	教授	安達 正明 (67) <平成30年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼担	教授	安達 正明 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士 アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼担	教授	木村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	木村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	木村 春彦 (67) (平成30年4月) 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	本村 春彦 (68) 〈平成30年4月〉 工学博士 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端 信義 (65) 〈平成30年4月〉 工学博士 現代科学技術論 ※	兼担	教授	川端 信義 (65) 〈平成30年4月〉 工学博士 現代科学技術論 ※	兼担	教授	川端 信義 (66) 〈平成30年4月〉 工学博士 現代科学技術論 ※	兼担	教授	川端 信義 (67) 〈平成30年4月〉 工学博士 現代科学技術論 ※
兼担	教授	田村 博志 (65) <平成31年4月> 理学博士 教養としての数学 統計学	兼担	教授	田村 博志 (64) <平成31年4月> 理学博士 教養としての数学 統計学	兼担	教授	田村 博志 (66) (705) (7031年4月) 理学博士 教養としての数学 統計学	兼担	教授	田村 博志 (66) (マ平成31年4月> 理学博士 教養としての数学 統計学
兼任	講師	現代科学技術論 ※ 田村 博志 (64) 《平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	現代科学技術論 ※ 田村 博志 (664) 《平成30年4月> 理学博士	禁任	講師	現代科学技術論 ※ 田村 博志 (-(65)- 《平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	現代科学技術論 ※ 田村 博志 -(66) -(平成30年4月> - 理学博士
兼担	教授	現代科学技術論 ※ 岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	現代科学技術論 ※ 岩田 佳雄 (64) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	現代科学技術論 ※ 岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士	兼担	教授	現代科学技術論 ※ 岩田 佳雄 (66) <平成31年4月> 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※ 岩田 佳雄			アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※ 岩田 佳雄			アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※ 着田 佳雄			アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※ 岩田 佳雄
兼任	講師	(64) 〈平成30年4月〉 工学博士	兼任	講師	(64) 《平成30年4月》 工学博士 日本産業史 ※	兼任	講師		兼任	講師	-(66)- <平成30年4月> 工学博士 日本産業史-※
兼担	教授	新田 雅道 (60) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	新田 雅道 (59) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	新田 雅道 (60) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	新田 雅道 (61) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) アカデミック・スキルズ
兼任	教授	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学) アカデミック・スキルズ	兼任	教授	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士 (工学) アカデミック・スキルズ	兼任	教授	新田 雅道 (60) 《平成30年4月》 博士 (エ学) アカデミック・スキルズ	兼任	教授	新田 雅達 -(61)- - (41)- - (41)-

事 /1.			専任・		T	専任・		T 1	本/1		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	幸任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	富澤 淳 (59) 〈平成30年4月〉 博士(工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	富澤 淳 (59) 《平成30年4月》 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	富澤 淳 (60) 《平成30年4月》 博士 (工学) 日本産業史 ※	兼担	教授	富澤 淳 (61) <平成30年4月> 博士 (工学) 日本産業史 ※
兼担	教授	上田 芳弘 (60) (令和3年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	上田 芳弘 (57) (57) (令和3年4月) 博士 (工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	上田 芳弘 (58) (58) (令和3年4月) 博士 (工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼担	教授	上田 芳弘 (59) 〈令和3年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教 授	石若 裕子 (51) (令和3年4月) 博士(工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A	兼担	准教授	石若 裕子 (48) (令和3年4月> 博士(工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A	兼担	准教授	石若 裕子 (49) <令和3年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 情報処理成用 A	兼担	准教授	石若 裕子 (50) <令和3年4月> 博士(工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A
兼担	准教授		兼担	准教 授		兼担	准教授		兼担	准教 授	定津 正利 (49) (平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎
兼担	准教授	程原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A	兼担	准教授	程原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A	兼担	准教授	梶原 祐輔 (33) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A	兼担	准教授	梶原 祐輔 (34) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎 情報処理応用 A
兼担	教授	北岡 和代 (64) <平成30年4月> 博士 (医学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	北岡 和代 (64) <平成30年4月> 博士 (医学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	北岡 和代 (65) 〈平成30年4月〉 博士 (医学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	北岡 和代 (66) 〈平成30年4月〉 博士 (医学) アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中島 素子 (65) <平成30年4月> 博士(医学) 健康と体の科学 ※	兼担	教授	中島 素子 (65) <平成30年4月> 博士 (医学) 健康と体の科学 ※	兼担	教授	中島 素子 (66) 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 健康と体の科学 ※	兼担	教授	中島 素子 (67) (平成30年4月) 博士 (医学) 健康と体の科学 ※
兼担	教授	松井 優子 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	松井 優子 (52) <平成30年4月> 博士 (保健学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	松井 優子 (53) 〈平成30年4月〉 博士(保健学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	松井 優子 (54) 〈平成30年4月〉 博士(保健学) アカデミック・スキルズ
兼担	教授	徳田 真由美 (52) 〈平成30年4月〉 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	教授	徳田 真由美 (52)(マ成30年4月> 博士 (看護学)アカデミック・スキルズ	兼担	教授	徳田 真由美 (53)〈平成30年4月〉 博士 (看護学)アカデミック・スキルズ	兼担	教授	徳田 真由美 (54)(54)(平成30年4月> 博士(看護学)アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士 (看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	准教授	佐藤 大介 (39) 〈平成30年4月〉 博士(看護学) アカデミック・スキルズ	兼担	准教 授	佐藤 大介 (40) 〈平成30年4月〉 博士(看護学) アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼担	教授	中山 謙二 (71) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼担	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学	兼担	教授	中山 謙二 (73) <平成31年4月> 工学博士 アカデミック・スキルズ 統計学

専任・			専任・	ı		専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中山 謙二 (71) 〈平成30年4月〉 工学博士 健康と体の科学 ※	兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士 健康と体の科学 ※	禁任	講師	中山 株二 (72) 《平成30年4月》 工学博士 健康と体の科学 ※	兼任	耕師	中山 謙二 -(73)- - (平成30年4月> 工学博士 健康と体の科学-※
兼担	教授	井関 尚一 (66) 〈平成30年4月〉 医学博士 アカデミック・スキルズ	- 兼担	教授	井関 尚一 (66) <平成30年4月> 医学博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	#関 尚一 (67) 〈平成30年4月〉 医学博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	井関 尚一 (68) 〈平成30年4月〉 医学博士 アカデミック・スキルズ
兼担	教授	八賀 正司 (64) <平成30年4月> 学術博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	八賀 正司 (64) <平成30年4月> 学術博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	八賀 正司 (65) 〈平成30年4月〉 学術博士 アカデミック・スキルズ	兼担	教授	八賀 正司 (66) 〈平成30年4月〉 学術博士 アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	李 鍾昊 (44) 〈平成30年4月〉 博士 (学術) 教養としての物理	兼担	准教授	李 鍾昊 (44) <平成30年4月> 博士 (学術) 教養としての物理	兼担	准教授	李 鍾昊 (45) 〈平成30年4月〉 博士 (学術) 教養としての物理	兼担	准教授	李 鍾昊 (46) (平成30年4月) 博士 (学術) 教養としての物理
兼担	准教授	辻村 真一 (39) <平成30年4月> 博士 (工学) 情報処理応用B	兼担	准教授	#田 一寿 (39) <平成30年7月> 博士 (工学) 情報処理応用B	兼担	准教授	藤田 一寿 (40) <平成30年7月> 博士 (工学) 情報処理応用日	兼担	准教授	第田 一寿 (41)(41)(平成30年7月)博士 (工学)情報処理応用B
兼担	講師	井澤 純子 (48) (平成30年4月> 博士 (情報科学) 情報処理基礎 教養としての数学	- 兼担	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士 (情報科学) 情報処理基礎 教養としての数学	兼担	講師	井澤 純子 (49) <平成30年4月> 博士 (情報科学) 情報処理基礎 教養としての数学	兼担	講師	井澤 純子 (50) 〈平成30年4月〉 博士 (情報科学) 情報処理基礎 教養としての数学
						兼担	助教	史 金星 (38) 《平成31年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	助教	史 金星 (39) 《平成31年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎
						兼担	助教	↑ 字原 (36) <平成31年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎	兼担	助教	朴 字原 (37) <平成31年4月> 博士 (工学) 情報処理基礎
兼任	講師	南保 英孝 (46) 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (46) 《平成30年4月》 博士(工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (47) 《平成30年4月》 博士 (工学) 情報処理基礎	兼任	講師	南保 英孝 (48) 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 情報処理基礎
兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	三浦 要 (60) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	三浦 要 (61) 〈平成30年4月〉 博士 (文学) 哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	字根 義己 (38) 《平成30年4月》 博士 (文学) 人文地理学 地理情報学概説	兼任	講師	宇根 義己 (38) 《平成30年4月》 博士 (文学) 人文地理学 地理情報学概説	兼任	講師	宇根 義己 (39) 《平成30年4月》 博士 (文学) 人文地理学 地理情報学概說	兼任	講師	宇根 義己 (40) 《平成30年4月》 博士 (文学) 人文地理学 地理情報学概説

専任・			専任・			専任・			専任・	1	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	溝部 明男 (68) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (68) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (69) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	講師	溝部 明男 (70) <平成30年4月> 文学修士
		社会学			社会学			社会学			社会学
兼任	講師	本村 高宏 (43) 《平成30年4月》 博士(政策科学) 公共政策論	兼任	講師	本村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	兼任	講師	木村 高宏 (44) 《平成30年4月》 博士(政策科学) 公共政策論	兼任	講師	木村 高宏 (45) 〈平成30年4月〉 博士(政策科学) 公共政策論
兼任	講師	#上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士 社会福祉論	兼任	講師	井上 英夫 (70) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	井上 英夫 (71) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	#上 英夫 (72) <平成30年4月> 法学修士
兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士(法学) 日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (45) 〈平成30年4月〉 修士(法学) 日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (46) 〈平成30年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (47) 〈平成30年4月〉 修士(法学) 日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学) 健康と体の科学 ※	兼任	講師	榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士 (保健学) 健康と体の科学 ※	兼任	講師	榊原 千秋 (57) 〈平成30年4月〉 博士 (保健学) 健康と体の科学 ※	兼任	講師	榊原 千秋 (58) 〈平成30年4月〉 博士(保健学) 健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) 〈平成30年4月〉 〈育学士 スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (更式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (卓球)	兼任	講師	松下 裕子 (58) 〈平成30年4月〉 体育学士 スポーツ演習 (グレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (マナナル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)	兼任	講師	松下 裕子 (59) 〈平成30年4月〉 体育学士 スポーツ演習 (パレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (パドミントン)	兼任	講師	松下 裕子 (60) 〈平成30年4月〉 体育学士 スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (マットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミント
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学) 英語 I a	兼任	講師	川畠 嘉美 (47) 〈令和2年4月〉 修士 (文学) 英語 I a	兼任	講師	川畠 嘉美 (48) <令和2年4月> 修士 (文学) 英語 I a	兼任	講師	川島 事美 -(49)- -(令和2年4月> 修士 (文学)- 英語 I e
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) 〈令和2年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (53) 〈令和2年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (54) 《令和2年4月》 博士(学術)	兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) 《平成30年4月》 B. A. (Psychology) (米国) 英語 I b	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) < 平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国) 英語 I b 英語 I b	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) 《平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国) 英語 Ib 英語 Ib	兼任	講師	Raker Vincent ERIC (51) < 平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国) 英語 I b 英語 I b
兼任	講師	English presentation I ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	English presentation I ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	兼任	講師	English presentation I ERTL_JOHN_JOSEF _(44)- <平成30年4月> PhD_Gultural Anthropology _(米圖)-	兼任	講師	English presentation I ERTL_JOHN_JOSEF _(45) < 平成30年4月> PhD_Cultural Anthropology _(米国)_
		英語 I b Tourism EnglishⅡ			英語 I b Tourism EnglishⅡ			英語 I b			英語 I b

専任・			専任・	ı	T	専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations(英国) 英語 Ib 英語 Ib English expression IIa	兼任	講師	FOX SENAN JAMES (44) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国) 英語 Ib 英語 Ib English expression II a
		島内 俊彦 (48) 〈平成30年4月〉 学士(外国研究)			島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)			English expression II b 島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士 (外国研究)			English expression II b 島内 俊彦 (50) <平成30年4月> 学士(外国研究)
兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ	兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語 I 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ	兼任	講師	英語Ⅲ 英男用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ	兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Litterature compar ée) (仏国)	兼任	講師	岩津 航 (42) マ平成30年4月> Doctorat (Littérature compar ée) (仏国)	兼任	講師	岩津 航 (43) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	兼任	講師	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語I フランス語I 比較文学論 ※			フランス語Ⅱ フランス語Ⅱ 比較文学論 ※			プランス語 L 比較文学論 ※ 大竹口 麻里			フランス語I フランス語I 比較文学論 ※ 大竹口 麻里
						兼任	講師	(55) <平成31年4月> 修士(フランス語教授法) フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	(56) 《平成31年4月》 修士(フランス語教授法) フランス語 I フランス語 I
兼任	講師	名執 純子 (49) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (50) 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I	兼任	講師	名執 純子 (51) (不成30年4月> 修士 (文学) ドイツ語 I ドイツ語 I
		田邊 文彦 (64) <令和2年4月>			田邊 文彦 (62) <令和2年4月>			田邊 文彦 (63) <令和2年4月>			田邊 文彦 (64) <令和2年4月>
兼任	講師	修士 (経済学) マーケティング調査論	兼任	講師	修士 (経済学) マーケティング調査論	兼任	講師	修士 (経済学)	兼任	講師	修士 (経済学)
兼任	講師	小野田 金司 (60) <平成30年4月> 経済学修士	兼任	講師	小野田 金司 (60) <平成30年4月> 経済学修士	兼任	講師	小野田 金司 (61) <平成30年4月> 経済学修士	兼任	講師	小野田 金司 (62) 〈平成30年4月〉 経済学修士
		インバウンド観光論			インバウンド観光論			インバウンド観光論			インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) <令和2年4月> Ph.D. in Hospitality Management (英国)	兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (42) 〈令和2年4月〉 Ph.D. in Hospitality Management (英国)	兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (43) 〈令和2年4月> Ph.D. in Hospitality Management (英国)	兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) 〈令和2年4月〉 Ph.D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※			ホスピタリティマネジメント ※			ホスピタリティマネジメント ※			ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	古泉 達矢 (38) <平成31年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	古泉 達矢 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	古泉 達矢 (40) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論			グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論			グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論			グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	上田 望 (52) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	上田 望 (53) 〈令和2年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	上田 望 (54) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※			比較文学論 ※			比較文学論 ※			比較文学論 ※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	未	専任・ 乗担・ 東任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 暁世 (42) < ◆和2年4月 > 博士 (文学) 比較文学論 ※	兼任	E 講師	鈴木 暁世 (40) (今和2年4月> 博士 (文学) 比較文学論 ※		兼任	講師	鈴木 暁世 (41) (令和2年4月> 博士(文学) 比較文学論 ※	兼任	講師	杉山 欣也 (51) 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 比較文学論 ※
兼任	講師	結城 正美 (50) (平成30) (平成30年4月> Ph.D in English (米国) English comprehension I English expression I	兼任	E 講師	結城 正美 (49) <平成31年4月> Ph.D in English (米国) English comprehension I English expression I		兼任	講師	精練 正美 (50)— 《平成31年4月》 Ph.D in English (米圖) English comprehension I English expression I	兼任	講師	新練 正美 (51) 《平成31年4月》 Ph.D in English (米圖) English comprehension I English expression I
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) 〈平成31年4月> Master of Education (英国) English expressionⅡa English expressionⅡb	兼任	E 講師	LYNCH Gavin Leigh (41) <平成31年4月> Master of Education (英国) English expressionⅡa English expressionⅡb		兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) 《平成31年4月> Wester of Education (英國) English expression I a English expression I b	兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (43) 《平成31年4月〉 Master of Education (英國) English expression II a English expression II b
兼任	講師	遠藤 英樹 (57) 〈平成31年4月〉 社会学修士 観光社会学	兼任	E 講師	遠藤 英樹 (56) (766) (平成31年4月> 社会学修士 観光社会学		兼任	講師	遠藤 英樹 (57) 《平成31年4月》 社会学修士 観光社会学	兼任	講師	遠藤 英樹 (58) 〈平成31年4月〉 社会学修士 観光社会学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選生輸**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成30年度】

・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から専任教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部の専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提 (平成30年4月教員審査済)

辻村 真一准教授就任辞退。代わりに兼担教員の藤田 一寿准教授を共通教育科目「情報処理応用B」の担当とする。

【令和元年度】

- 共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加(平成31年1月教員審査済)。 共通教育科目「英語Ib」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。 共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加。 共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加。

- 共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、乗担教員の朴 亨原助教を追加。 兼任教員の結城 正美講師の所属大学の移籍にともない専門科目「English comprehension I」,English expression I」の担当が困難になったため担当教員表から削除。 専門科目「English comprehension I」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加(平成31年1月教員審査済)。 専門科目「Tourism English II」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から専任教員の塩谷 サルフィ マクスーダ准教授に変更。 専門科目「English expression II a」「English expression II b」の担当教員を、兼任教員のLYNCH Gavin Leigh講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。 共通教育科目「フランス語 I」「フランス語 II」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語 I 」「フランス語 I 」の担当教員を、兼任教員の大竹口 麻里講師から兼任教員の岩津 航講師に変更。 ・兼任教員の川畠 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語 I a 」の担当が困難になったため担当教員表から削除。 ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から専任教員に変更。令和元年度第 4 回 A C 教員審査に提出(令和 2 年 1 月教員審査済)。保有学位を学士 (外国研究) から博士(学術)に変更。

- (外国研究)から博工(子判)に変更。 専任教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士(文学)に変更。 兼任教員の鈴木 暁世講師の所属大学の移籍にともない専門科目「比較文学論」の担当が困難になったため担当教員表から削除。 専門科目「比較文学論」の担当教員として、兼任教員の杉山 欣也講師を追加。 専門科目「課題研究A」の担当教員として、専任教員の塩谷 サルフィ マクスーダ准教授を追加。令和2年度第2回AC教員審査に提出予定。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) ② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')		
9	8	0	1	18	0	9	9	0	1	19	0		
(8)	(7)	(0)	(1)	(16)	0								
	現在(報告時)の	宁武任庶时	о 11 70		現在(報告時)の完成年度時の計画							
		和口时/02	元队干及时	が状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画			
教 授	准教授	講師	助教	が 計 (C)	助手 (C ')	教 授	現在(i	報告時)の:	完成年度時 助 教	の計画 計 (D)	助手 (D')		
教 授 				計		教 授 10				計			

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入</u>するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	6	8
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 19 105.55 % 105

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 6 19 31.57 31.57

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専仟教員辞仟等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	D 90	担当予定科目		任神	甫充状	況	就	任辞退	【(未	就任)の理	由	
				該当なし														
				合計	(D)							後	任補充状況	の集計	(E)		
	就	任る	を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) +	+ (b) + (c)	①の ₁	合計	数(a)		②の合計	十数 (b)	③の合計	数(c)
					必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	, ,	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					110	†	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -2 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期 ※※・選択・自由の別			担当予定科目	後任補充状況			辞任等の理由					
				該当なし													
				合計	(F)				後任補充状況の集計 (G)								
		辞	任l	ンた教員数	担当科目	目数の合計	† (a)	+ (b) + (c)	①の合詞	計数 (a	1)	②の合計	十数 (b)		③の合計	数(c)
					必	修	(0 科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	(0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0 人		自	由	(0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					į	†	(0 科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員	担当科目数の合調	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	十数(b)	③の合計	├数 (c)			
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
0	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	骨職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞日	等の	理由		
			t												
			該当なし												
			É	計			後任補充状況の集計								
	話	辛任し	ンた教員数	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)								
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	λ	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
設置時(29年8月)	・が置るかわ行そせ・おのでは、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学究と層のに、学のとののより、行設ふ動り上とのできません。	留意事項	・ネ計な・に部組い(・向員長もすた・づで始水施・基をにう(・度つるお行(理ジ画大教向教みる平 設け会のとる。授くの動準し中づ計、体令 引計のといっ令事メを学育け授を。成 置、をトにた 業授プな向て期き画定制和 き画事とてた和長ン確運研、会行 3 計各組ッ大め 評業口ど上い計、的期を元 続に項も定。と行っ水員制を 0 画種織プ学の 価改ジ、のる画一に的構年 き基をに期 年りのにを活学両こ 年 の審しマを体 ア善ェ教た。及つ推な築度 中づ計、的 度長も履行動委体と 度 的議、ネ組制 ン活ク育め びひ進進し) 期き画各な トにして準会か予 なや事メ的構 一や型究活 度つる管。 画一に委渉 ト学研活動 計のと理 及つ推員管 で設める向び取し 行学・ト運し に部究動を 画事とを びひ進会理 フ設的る向び取し 行学・ト運し に部究動を 画事とを びひ進会理 マ置確。上学りて に委学の営 基内のの実 に項も行 年とすにを で置確。上学りて	履行中	・る画度・委員委画学い ・がえをマ捗がかく ・ネ議ででで・定課報間(目前の後、全国連動動っ) 活踏のッう計る プ種いさ証 会織て組御するま教・的々とり が目て長と認れく のと会に続 価、にも。では、全国連動動っ) 活踏のッう計る プ種いさ証 会織て組織・つ学も確さい) 長も員切き 評し況とる) が目で長と認れく のと会に続 価、にも。 りんの が目で長と認れく のと会に続 価、にも。 りんの が目で長と認れく のと会に続 価、にも。 りんの が目で表して。 りんのでは、全国連動動の が目で長と認れく のと会に続 価、にも。 りんして。 りんして。 りんの が目で長と認れく のと会に続 価、にも。 りんの が目で長と認れく のと会に続 価、にも。 りんの が目で表している りんの でき でき がった でにして。 りんの でき でき がった でにして。 りんの でき でき がった でにして。 りんの でき
設置時(29年8月)	・プのかにが事難える及や設当保に対すにいる。のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	留意事項		履行済	・期にう援聴い ・シし指(・リ面生行(・リの学を コンテン・ リー・ リー・ リー・ リー・ リー・ リー・ リー・ リー・ リー・ リー

設置時(29年8月)	・「観光社会学」に基分学」に基の学生の表記では、観光社会学」に基めるのでは、観光といるのでは、できます。 おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は		・本学社会を度 ・なり準(・の連開る) はままな ととる ととる ととる が出まる はままの が出まる が出まる がいます はままな がいます はままな がいます はままが はままが はままが はままが はままが はままが はままが はま		 ・ら到とをけ保年 ・効るをる ・効教の ・ウンる謝育き員の ・プ観を、れ時よい ・プリスにでする対域で数。 ・プリスにである ・プリスには、できる ・プリスにはは、できる ・プリスにはは、できる ・プリスにはは、できる ・プリスにはは、できる ・
設置時(29年8月)	関地に支障の は、 対象では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	留意事項	てのもに対・ン拠が支る ・をでてを(・のツ活よ(なは体に対・ン拠が支る・シ行はも組令 引追演動うでい、育、りし松スと置る(・いてのもによ応いパ点設え。・シ行はも組令 引追演動うにスるのい 央話る活て) ルス、でい年 き入けい表によんが(くと行う ・やの物を 追演動う ト、く用で元 続導だお行と運よ キ動建動い 導だお行 バポ課きる度 、をでてを度いても増いに近てれ境成 ルス、でい年 き入けい表をのっ度 追演動う ト、く用で元 によんがくと行う やの物を 入けい表 のツ活よ ・かいな利んのもに対・ン拠が支る。 シ行はも組令 いくと行う やの物を 入けい表 スー外る。	履行済	よ努も図(・と教い善く・施善ズ学にえ(い)がある。年 き二課るき元 トの動こ高パ向度が上れて成 生に活す引(ン、課捉意キ環和のののの を一外よ取年 を共にとめス上()があとっ平 学も育やに。 アし、を修、る令がない。年 き二課るき元 トの動こ高パ向度 を一外よ取年 を共にとめス上()がより度 定有関でるうを に業二生もを。 ににのを と、行改い 実改一の 支にのを と、行改い 実改一の 支

設置時(29年8月)	・完成年的のと自用教想にある。 ・完成年度の事が見れている。 ・完成を書いては、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、		・員を員予 (・てたたり (・方る・教る (・ 大のののののののののののののののののののののののののののののののののの	履行中	・で策は公も諮(・計もス学う(・育公C(今の定、募につ平 教画にや的。令 今成募負別のすのま計を関係、・るとをC 度 育推科をの にもをC 度 育推科をの にもをC 度 育推科をの にもをに度 育推科をの にもをに度 育推科をの にもをに度 育性科をの にもをに度 では、それにいってを学説で 度 にもをに度 のよいえも 採教適いて 度 のといく とうた行 用員宜く かとうた
------------	---	--	--	-----	--

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							
(32)							

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

公立小松大学FD·SD推進委員会規則を制定(30年4月)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成31年3月 開催

c 委員会の審議事項等

FD·SDの推進計画の策定、実施に関すること

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 財務システム研修会
 - 公立大学の役割を学ぶ研修会
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会
 - 労働安全衛生に係る研修会
 - 競争的研究資金獲得に向けた研修会
 - ・ 研究倫理研修会 (e-ラーニング)
 - ・ 新任事務職員のための研修会
 - 授業方法に係る研修会
 - 研究計画調書の作成に係る研修会
 - 救命講習会

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。 全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 財務システム研修会(30年4月、31年4月) 教員・事務職員対象 全員受講
 - ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会(30年7月、元年7月) 教員・事務職員対象 89人参加
 - 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会(30年8月、元年8月)教員・入試関連事務職員対象 62人参加
 - ・ 労働安全衛生に係る研修会(31年2月) 教員・事務職員対象 66人参加
 - ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会(31年3月) 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
 - ・ 研究倫理研修会(e-ラーニング) 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
 - ・ 新任事務職員のための研修会(30年4月~10月、31年4月~10月) 新任事務職員対象 11人参加
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月)
 - ・ 授業方法に係る研修会(元年7月) 教員対象 74人参加
 - ・ 研究計画調書の作成に係る研修会(元年9月) 教員対象 60人参加
 - · 救命講習会(元年9月) 教員·事務職員対象 全員受講
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
 - ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示 学科ごとに対応を実施(30年12月)
 - ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している (前期・後期終了後)
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。 該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる 法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受ける こととなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

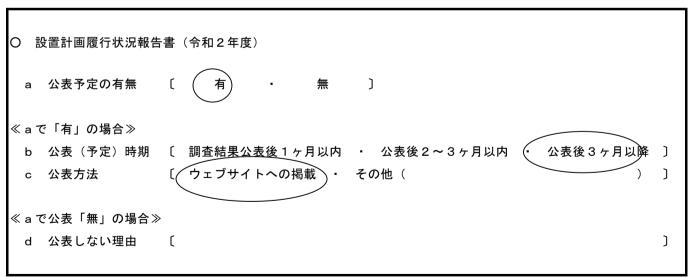
職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく 環境を引き続き整えていきたい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和2年6月 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和2年6月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - 学内で検討を行っている。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項



※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。